

# 小松川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

小松川小学校長 末松 睦士  
コーディネーター 松田 守弘

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	45人
	学生ボランティア	3人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全安心・旗振り	毎日	毎日2名ずつ
安全安心・交通安全教室	年1回	16
学校図書・読み聞かせ隊	月2回	25
学校行事支援	不定期	20
学習支援隊	週2回程度	3
環境整備隊	不定期	10



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 保護者による毎朝2名の旗振り当番の協力により、登校中の交差点での接触事故を今年度も0件にすることができた。
- 安全安心・交通安全教室の活動として、自転車教室での子どもたちの自転車の運転実技の際の見守りに協力いただいた。活動中の補助として手助けいただいたおかげで安全に実技を行うことができた。
- 読み聞かせ隊（学校図書館応援団）の活動は新型コロナウイルスの影響で読み聞かせ活動が休止となる期間が出てしまったが、実施できた4～7月、10～12月については月2回の頻度で実施できた。子どもたちは真剣な眼差しでお話を聞いており、読書活動の推進という点で成果を上げることができた。また、学校図書館の本の修繕や飾りつけなどの読書環境の充実を図書担当教員と連携を取りながら計画的に進めることができた。
- 学校行事支援については行事の中止や公開の中止などが相次いでしまい活動の機会が減ったが、感謝を伝えるカードと引き換えにサンタクロースに扮したPTA役員さんが子どもたちにプレゼントを配るなど、心のたがやしに向けた活動を展開した。
- 学習支援隊では教室での学習が難しい子どもたちの個別支援を行ってきた。自己有用感や自己肯定感が高まるような働きかけを行い、学校での居場所をつくっていった。

### <課 題>

- 学校応援団の人材については保護者に頼る割合が高い。地域の方による潜在的なサポート力の開拓を進め、応援団の充実を図っていく必要がある。
- 新型コロナウイルスの影響でボランティアさんが来校する機会が少なくなってしまった。環境整備などは継続的な支援ができず、十分に機能させることができなかった。
- 学校応援の内容について現場のニーズを検証してさらに充実が図れるようにしていきたい。

## 5 コーディネーターより

今年度の小松川小学校学校応援団は安全安心に関する部門、図書に関する部門、行事での支援を行う部門、環境整備に関する部門、学習支援に関する部門の5つの部門が活動を行いました。保護者が中心となっている状況ですが、学年学級の枠を越えた関係が作れる他、子どもたちの普段の学校での様子がわかるなどメリットの多い活動であると考えています。今年は新型コロナウイルスの影響で活動にもだいぶ制限がありましたが、子どもたちがより活動しやすい環境を整えることで学校に協力していけるようにしてまいりました。今後は学習面をサポートする活動が十分にできていないという現状がありますので人材を集め、協力できるようにしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

今年度も新型コロナウイルスの影響で学校応援団の活動にもだいぶ制約がかかってしまいましたが、そんな中でも様々な方にお力添えいただくことができました。おかげさまで子どもたちにとって安全で実りの多い学習の場としていくことができましたことを深く感謝いたします。

先が見通せない不確実なことの多い昨今ですが、今後も保護者や地域の方と力を合わせて子どもたちのためによりよい環境を整え、充実した教育実践を行ってまいります。皆様におかれましては小松川小学校に通う「こまっ子」たちのためにご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# 小松川第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川区立小松川第二小学校長  
コーディネーター

五十嵐 一嘉  
松本 樹也



## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	80人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	毎週木曜日午前	12人
飼育ボランティア	週末・長期休業中	20人
読み語りボランティア	不定期（年間10回程度）	60人

### 図書ボランティアの方の作品



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

季節ごとに変わる図書室や2階の掲示板の飾りを見て、児童が来室することを楽しみにするようになり、本に興味をもつことができた。掲示板には、四季折々の本も展示されており、日本の四季を実感していた。

読み語りボランティアの方の読み語りを聞くことで、読書に関心がなかった児童も自分で読んでみたいという気持ちになり、学校全体の読書量が増えた。

2階の絵本コーナーも五十音順でわかりやすく整備されており、子供たちが日常的に絵本などを手にとって読んでいる。図書ボランティアの方のお部屋に、学級応援団の予算で作った棚が設置され、図書の整備が行い易くなった。

### <課 題>

今年度は、例年行っていた読書週間を行うことができるようになった。読み語りも全て実施できた。しかし、今まであった学習ボランティアについては、募集を行わなかった。来年度は、図書ボランティア、読み語りボランティア、飼育ボランティア以外の活動も実施できるようにしていく。

## 5 コーディネーターより

小松川第二小学校は読書活動が活発です。本好きの児童を育てるためにも教職員の方と保護者、地域が協力して活動していきたいと思います。毎年、行っていたACAPの方による消費者教育はできませんでしたが、東京税理士江戸川北支部の皆さんのご協力により6年生に租税教室を実施することができました。税金の必要性、大切さを考える良い機会となりました。

## 6 学校長より

今後の活動について、予測しにくい状況もありましたが、感染症対策を講じて、少人数で分散して図書ボランティアの方には図書室の整備や掲示、校内掲示板の装飾をしていただきました。

また、読み語りボランティアの方には、1年生から6年生までの児童への読み語りをしていただきました。児童の発達段階や季節に合った本を選んでくださったこと感謝申し上げます。児童一人一人がPTAから寄贈していただいている図書バックを持って嬉しそうに図書室に通っています。本が好きですすんで本に親しむ児童の姿が多くみられました。来年度も、ボランティアの方のお力を借りて読書活動の充実に努めてまいります。たくさんの方々に参加していただけるよう工夫を重ねてまいります。これからも地域の方々と共に、よりよい教育活動に励んで参ります。よろしく願いいたします。

# 平井小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井小学校長                    山下 靖雄  
 コーディネーター            笠松 志保

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	78人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
スクールガード	・登下校時の安全見守り、旗振り（毎日）	4人
読み聞かせボランティア	・各学級での本の読み聞かせ（月2回）	15人
図書整備ボランティア	・図書整理、本の修理（不定期）	4人
おやじの会	・学校行事、PTA 行事の支援（不定期）	40人
学生ボランティア	・学習支援（週1回程度） ※今年度は1・2学期を主に活動	2人
平井6丁目東寿会	・花笠音頭の指導、運動会参加（年2回） ※今年度は運動会短縮プログラム開催のため、実施せず。	15人

### 平井小学校学校応援団



自転車運転教室



読み聞かせ



町探検出発式



荒川環境学習



登下校時の見守り

#### すくすくスクール

- ・工作教室
- ・折り紙教室
- ・フラダンス教室
- ・将棋教室
- ・日舞教室
- ・お箏教室

#### PTA・保護者

- ・読み聞かせ    ・図書整備
- ・登下校時の交通安全指導（旗振り）
- ・親子安全見守り隊活動
- ・交通安全教室・自転車教室
- ・環境学習等校外学習の安全見守り
- ・地域パトロール

#### 地域・学生

- ・登下校時の交通安全見守り
- ・荒川環境学習
- ・ふれあい給食での交流学习
- ・学習支援    ・凧作り指導
- ・地域行事の準備、運営
- ・花笠音頭の指導

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 3年生の自転車運転免許教室では、今年も多く保護者ボランティアの方々にご協力をいただき、自転車の実技指導を行いました。全員が自転車運転免許の交付を受け、安全に自転車を運転することができています。2年生の町探検でも同様に大勢の方のサポートを受けました。
- 今年度は昨年度実施できなかった読み聞かせボランティアによる読み聞かせを実施することができました。感染状況により、一時休止した時期もありましたが、10月から再開することができました。図書館ボランティアによる図書館の本の修理・図書整理等を不定期で行いました。
- 4年生の荒川環境学習では、下平井水辺の楽校の方の指導のもと、多くの保護者ボランティアの方々にご協力をいただき、全2回のフィールドワークを行うなど充実した活動になりました。荒川という地域の特色を活かしたもので、本校4年生の総合的な学習の時間の柱となっています。
- PTA・おやじの会が連携し、2学期終業式の12月24日にコロナ禍で学校生活を頑張っている子供たちに向けて、サプライズイベントを実施しました。校庭でビックリして、教室に戻ったらサンタさんからプレゼントが届いていました。
- すくすくスクールでは、保護者ボランティアを招いてペットボトルロケット教室やミニ運動会などを企画して実施する予定でしたが、予定していた時期と感染拡大状況が重なってしまい、実施を見送りました。次年度に備え企画を検討中です。

### <課 題>

- スクールガードの方々に通学路に立って交通安全の見守りをしてくださっていますが、登下校時に出られる方は限定されるので、参加人数が減少傾向にあります。少しずつ組織の再編成をしていく必要があります。
- 感染症感染拡大防止の為、ボランティアの方々の校舎内での活動は読み聞かせなど少人数での活動に制限しているため、より多くのボランティアの方々の協力を得る機会が減少してしまっています。校外学習の見守りや校庭での活動補助といった限定的な活動になってしまっています。

## 5 コーディネーターより

地域の皆様、保護者の皆様に支えられ、学校応援団としての活動が行われました。今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために、自粛せざるを得なかった活動がありましたが、読み聞かせボランティアによる活動を再開できたことが大きな喜びです。PTA・おやじの会をはじめ多くのスタッフがコロナ禍で安全を第一に、何ができるか、また、どのように実施するかを話し合ったことにより、昨年度よりできる活動が増えたことが成果と感じています。

来年度こそは、今年度よりも幅広く充実した活動となるように尽力していきたいと考えております。今後も多くの皆様のご支援をよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

地域と共に歩む学校を目指して、学校応援団の皆様には様々な教育活動にご理解・ご協力をいただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。一昨年から続く新型コロナウイルス感染症への対応は学校にとっても、社会全体にとっても正に試練の連続でした。今後も、最善の方法を見付ける努力を重ねていきます。そして、学校が地域・保護者・子供たちと社会をつなぐ場となるよう尽力して参ります。今後とも学校応援団の皆様のご理解・ご協力をよろしく願いいたします。

# 平井西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井西小学校長           春日 静子  
コーディネーター       前澤 勝三

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	19人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
下校安全指導	週5回	3人
花壇の環境整備	不定期	1人
昔遊び	不定期（感染防止のため未実施）	8人
蚕の繭とり	不定期（感染防止のため未実施）	1人
読み聞かせ	毎週水曜（感染防止のため未実施） →3学期より再開予定	9人
朝遊び補助	毎日（感染防止のため未実施）	0人

学校応援団による下校時の安全指導（毎日）



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・学校応援団による下校時の見守りにより、下校時の安全が守られると共に、地域の方々へ進んであいさつをする児童の増加につながっている。
- ・三者協議会等の開催で、学校応援団と PTA 本部役員、ならびに生活指導主任をはじめとする学校の教職員が、下校時や地域での児童の様子について意見を交わすことができた。
- ・地域と保護者、学校の三者の連携が強固となった。
- ・学校応援団の方々との交流を通し、教職員の地域に対する感謝の気持ちが深まった。

### <課 題>

- ・学校応援団メンバーに高齢の方が多く、新しい人材の参加が課題である。
- ・活動の活性化を図るため、学校のホームページ等を活用し、学校応援団の活動の様子や団員募集の情報等を告知する。
- ・今年度も昨年度同様に新型コロナウイルス感染防止対策のため、朝遊びや図書の読み聞かせ活動が全面中止となった。(読み聞かせ活動は、3 学期より再開予定)

## 5 コーディネーターより

私たち学校応援団は、朝遊びの見守りや、ときには児童の遊び相手となるなど、平井西小学校の児童と大変深くかかわらせていただけてきました。また、下校時の安全見守りを通し、挨拶をすることの大切さなどを児童に伝えてもいます。平井西小学校の児童は、自分から進んで私たちに挨拶を返してくれる児童が多く、これからもこの活動を続けてまいります。しかしながら、今年度も昨年同様に新型コロナウイルス感染防止対策のため、朝遊びや図書の読み聞かせの活動ができませんでした。来年度は、これらの活動ができるようになることを祈っております。

今後、学校、PTA、地域の方々と連携し、子供たちが健やかに成長して欲しいと思います。これからもがんばります。

## 6 学校長より

雨の日も風の日も、本校の児童のために下校時の見守りをしていただき、感謝しております。

本校では、就業前の時間帯を使った朝遊びを設定し、学校応援団の方々に来ていただき、朝遊びの見守りをお願いしてまいりました。朝遊びは、体力向上にも通じていて、毎年新体力テストでとてもよい結果を残してきました。しかし、今年度も昨年同様に新型コロナウイルス感染予防対策のため、朝遊びを実施することができませんでした。また、児童が楽しみにしている週1回の図書の読み聞かせも実施することができませんでした。来年度こそ、これらの活動を学校応援団の皆様のご協力をいただき、再開できればと思っております。

# 平井東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井東小学校長 宮本 知司  
 コーディネーター 大木 一裕



## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	65人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ応援団	月2回	15
図書整備応援団	月4回	15
学習補助応援団	不定期	15



### 平井東小学校学校応援団

#### 地域

- ・荒川環境学習のゲストティーチャー
- ・地域お招き会での交流学習
- ・学習支援
- ・鼓笛隊パレード
- ・ナイトウォーク
- ・マラソン大会 等

#### PTA・保護者

- ・読み聞かせボランティア
- ・荒川環境学習での安全見守り活動
- ・地域パトロール
- ・運動会の準備、片付けなど学校行事の支援
- ・PTAやパパスクラブ(父親の会)による行事
- ・学習支援

#### すくすくスクール

- ・指導の一貫性  
(学校との情報交換)
- ・子供の活動の場の拡大  
(親子で遊ぼう会・工作教室・ひらこまはらっぱなど)



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・図書整備応援団と学校が連携した図書活動を充実させることができた。今年度の前半は、感染症防止対策における工夫の中での取り組みとして、例年に比べ、発足もゆっくりめではあったが、図書整備応援団のメンバーが確定されるや否や、例年通りの活動にすぐに戻った感があり、学校としては、大変ありがたいことであった。活動内容はというと、学校図書館の環境整備や本の修理を定期的に継続して行うことであった。またこの活動により、子供たちが「本を読みたい」「調べ学習をしたい」と、意欲をもって来室し、学習できる場となった。本の消毒作業にも力添えを頂いた。さらに、毎月定期的に行われる「朝の読み聞かせ活動」では、第1学年から第6学年で、1組の日、2組の日というように活動の日を分け実施するなど、応援団の方にも無理がないようにしながら、工夫ある活動をしていただいた。その成果もあり、どの学年の教室でも子供たちが目を輝かせて「読み聞かせ」に聞き入り、確実に本好きな子供たちが育ってきている。
- ・本校の大きな特色の一つである「荒川環境学習」には、応援団の協力が欠かせない。「子供たちとともに考え、楽しむ」という姿勢で、活動を続けたい。実際に現地に行き体験的な学習活動が充実した。
- ・例年、運動会や学芸会の後片付け作業に、パパスクラブをはじめとするたくさんの保護者・地域・卒業生の協力があり、「学校を応援したい」という気持ちをもつ方が多いことが分かる。

### <課 題>

- ・組織編制上の課題として、子供の卒業とともに抜けてしまうメンバーの方もいる。無理なく多くの保護者や地域の方（卒業生の保護者含め）が学校応援団として参加できるよう、少しずつ組織を再編成していく必要がある。
- ・図書室の環境整備や読み聞かせ活動を授業や図書委員会の活動とリンクさせ、児童と応援団とがお互いに関わり合いをもてるような工夫をさらに模索していきたい。
- ・応援団の活動の様子をホームページ等で紹介し、その活動を広く周知していきたい。

## 5 コーディネーターより

本校PTAと学校応援団が連携し、運動会等の学校行事にも取り組みました。小松川・平井地区には「地域で子供を育てる」という風土が強くあります。これからも、ひがしっ子の健やかな成長のために、私たち大人が協力し合いながら、「出来ること」を「少しずつ着実に」行っていきたいと思えます。日頃より、学校応援団の諸活動にご理解とご協力をくださる皆様に感謝いたします。

## 6 学校長より

平井東小学校は、多くの場面で子供たちの生活や学習活動を支援して下さる「学校応援団」の皆様によって、支えられています。読書活動の充実に向け、週2回以上設けている朝読書の時間には「読み聞かせ応援団」の皆さんが参加して下さる日があります。「図書整備応援団」の皆さんは、毎週1回図書室に集まり、図書の整備等、子供たちが、活用しやすい図書室を目指し、環境作りを工夫してくださっています。また、学校に隣接する荒川を題材に、身近な自然の営みや、環境について主体的に関わる学習である『荒川環境学習』では地域の方が講師となって、荒川について教えてください。荒川に出かけて活動するので、安全の確保は重要な課題ですので、大勢の保護者の方々が見守りに来てくれています。

このように、平井東小学校を愛する保護者・地域の方々が、学校応援団として活躍して下さることを大変ありがたく思っております。今後も、どうぞよろしくお願いいたします。

# 平井南小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井南小学校 校長 岡田 盛雄  
コーディネーター 阿部 美代子

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	36人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校安全見守り隊	登校日毎日 登校時の安全見守り	24人
クリーン作戦世話人	年2回(感染症予防のため休止中)	2人
読み語りの会	月1回 学級に入って読み語り	12人
学校図書館整備支援	月1回 学校図書館整備	12人
盆踊り指導	年1回 運動会の「東京音頭」指導	2人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度は、感染症対応をさらに講じながら学校応援団の活動を引き続き行うことができました。

まず、「安全見守り隊」の活動です。24人にのぼる地域の皆様に、毎朝所定の交差点に立っていただき、児童の安全を見守っていただいています。昨年度新調した横断旗を活用して、登校時刻に往来する車や自転車に合図を送り子どもたちの通学を助けていただくことができました。また、登校する子どもたちに見守り隊の方々から必ず「おはようございます。」と声をかけて、継続的にあいさつ指導を行っていただきました。子どもたちは感染症対策によってマスクをして大きな声でおしゃべりしない生活をしていますが、見守り隊の方々とは、あいさつをかわすことができるようになってきました。

次に「読み語りの会」の活動です。12人を超す地域の皆様に月1回、十分に感染症対策をして、各学級で本の読み語りをしていただいています。毎回、読み語りをする本が重ならないように連絡を取りながら様々な本に触れられるようにしていただいています。子どもたちの読書をする意欲が高まっています。

最期に運動会に際して、地域の方から1年生に「東京音頭」を教えていただきました。地域の盆踊りサークルの方に協力していただきました。初めて東京音頭を踊った1年生もすぐ踊りを覚えることができました。運動会では全校で東京音頭を楽しく踊ることができました。

### <課 題>

今年度も感染症予防の観点から学校応援団と子どもたちが協力して行うクリーン作戦（地域清掃）を中止しました。感染症の状況の改善の様子を見てクリーン作戦を再開します。地域の方と共に地域の清掃をすることで、地域を愛する心を醸成することができます。また地域伝統の「灯ろう流し」「昔遊び」についても同様に感染症の状況を見て再開を図ります。

「読み語りの会」は協力者を募集していますが、新規協力者がなかなか集まらないので引き続き方法を工夫して勧誘をしていきます。

学校応援団の皆様に気軽に活動していただける環境を整え、協力者をさらに増やしていくことが必要です。そのために幅広く学校応援団の活動を検討していくことが課題となっています。

## 5 コーディネーターより

今年度も感染症の対応によって制限のある中で、学校応援団員によって子どもたちの活動を支援することができました。学校応援団の皆様の協力に感謝いたします。また感染症の状況を見ながら学校応援団員同士のつながりも大切にしていきます。感染症の状況が改善したら学校応援団員同士が交流できる機会もつくっていきます。

## 6 学校長より

平井南小学校の学校応援団は地域の皆様に多大な支援をいただき成り立っています。地域の皆様と学校が共に歩んで児童の健全育成に努めています。地域の方々を中心とした学校応援団の皆様に多大な支援をいただき心から感謝いたします。温かい地域の皆様と共に歩んできたのが、平井南小学校です。安全見守り隊や読み語りの会などの方々をはじめ、多くの応援団員の皆様から応援をいただきまいりました。児童のよりよい成長のため、職員一同、精一杯努力してまいります。何卒ご協力よろしく願いいたします。

# 松江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

松江小学校長 木村 紀朗  
コーディネーター 八武崎 秀紀

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	486人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校見守り(旗振り)	週5日	451人
図書館ボランティア	感染拡大防止のため中止	0人
花壇ボランティア	感染拡大防止のため中止	0人
踊りボランティア	感染拡大防止のため中止	0人
昔遊びボランティア	感染拡大防止のため中止	0人
ベルマークボランティア	不定期	40人
漢字検定ボランティア	年3回	12人
学校行事ボランティア	不定期	60人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・集団登校では、多くの保護者の方々や地域の方々に見守られ、児童が安全に登校することができている。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、多くの地域ボランティアが中止となってしまった。しかし、来年度に向けてオンラインで踊りや昔遊びを教えていただける準備を進めることができた。
- ・学校行事ボランティアでは、運動会や学校公開などで学校周辺での駐輪の見回り、校外学習での交通整理などで活躍していただいた。
- ・漢字検定ボランティアでは、受検者の申し込みをまとめ、当日の受付もボランティアの方々をお願いしている。年々、児童の受検者が増えているのも、ボランティアの方々の計画的な活動のお陰である。

### <課 題>

- ・人材把握、人材確保が難しい。特に、昔遊びや踊りを教えていただける方々の人数把握が難しくなっている。
- ・登校見守りボランティアでは、通学路の課題点（ガードレールがない、登校班の人数が多い等）を学校と一緒に見出すことができたが解決には至らなかった。保護者や地域の方々の声を今後も大切に、児童の安全を確保していく。
- ・日中、児童がいる中で活動を進めていただきたいところだが、感染拡大防止の観点から来校を控えていただいた。今後、オンラインでの活動も計画していく。

## 5 コーディネーターより

松江小学校サポーターズクラブ（MSC）は、「学校」「PTA」「地域」「子供会」が一体となり、子供たちの登下校や学校生活を安全で楽しく送れるようにするための支援活動をしています。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、児童と対面して支援することは中止となりましたが、支援の輪をなくさないよう保護者や地域が連携していくことが大切なことと考えています。

今後も、今できることを模索しながら、子供たちの安全な学校生活を支援する活動を進めてまいります。

## 6 学校長より

子供たちの安全を第一に考え、保護者、地域の方々が連携して学校を応援していただいていることに感謝申し上げます。

本来ならば、学校の中での活動を通して、子供たちへの教育にもつなげていきたいところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により対面での活動は中止とさせていただきました。しかし、毎日行っていただいている登校見守りは継続して活動していただきました。本校に在籍する全てのご家庭、地域の方々に支援していただいていることを誇りと思うとともに、雨の日も風の日も休まず活動していただいていることに感謝申し上げます。今後ともご理解とご支援をよろしく願いいたします。

# 西一之江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西一之江小学校長      大辻 隆夫  
 コーディネーター      小祿 智次

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	150人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア 「本はともだち隊」	図書整備：毎日休み時間 及び 夏休み期間の2日間	21人
	読み聞かせ：各学期1回(6月10月1月)	46人
父親ボランティア 「イクメンジャー」	校内外パトロール：学校公開などイベント時の不定期 昆虫飼育など教育活動支援：不定期	20人
安全指導	登下校見守り：不定期	100人
行事支援	学校行事・PTA行事支援：不定期	40人

図書ボランティア「本はともだち隊」  
本の読み聞かせ



カブトムシ小屋の整備



登下校の見守り

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

図書ボランティア「本はともだち隊」は図書室整備と読み聞かせの活動を、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底しながら、ソーシャルディスタンスを図って行ってきた。読み聞かせは、6月・10月・1月に企画し、実際に本を使うところと、大型テレビを使うところがあり、工夫しながら実施することができた。

父親ボランティア「イクメンジャー」の活動としては、昆虫飼育小屋の整備、行事での見守り活動、ミニ運動会企画があげられる。

本校の昆虫飼育小屋では700匹以上のカブトムシの飼育を行っており、父親ボランティア「イクメンジャー」が毎年春から初夏にかけて幼虫を掘り起こし、土の入れ替えと幼虫の数を数えている。昨年は緊急事態宣言中だったため教職員で整備を行ったが、今年度は実施することができ、731匹の幼虫を掘り起こすことができた。この幼虫は、3年生には自然観察用に一人一匹配布し、飼育委員会で他の幼虫を飼育した。行事での見守りでは、運動会や音楽学習発表会実施時に、学校の敷地回りでの安全確保などの校外パトロールとして見守りも行った。1月29日には学校応援団主催の「ミニ運動会」を企画した。

登下校時の保護者、地域の方の見守りの強化では、保護者・地域の方の協力を得ることができ、事故を減らすことにつながっている。また、登校時だけでなく下校時や放課後も危険であることを再認識し、交通安全を中心に呼び掛けることができた。

### <課 題>

人材確保が毎年の課題である。今年度も行事やイベントが中止となり、父親ボランティアの活動する場が少なく宣伝する機会が少なかったので人材確保が難しかった。学校管理職やコーディネーターが変わっても継続して行うことができること、世の中の情勢にも柔軟に対応できるように確実なものにしていくことが課題である。

また、登校時のみでなく下校時や放課後の見守りを学校応援団の方々の力を借りて充実させていくこと、児童の学力向上や体力向上につながる活動の充実を図ることも視野に入れていきたい。

## 5 コーディネーターより

西一之江小学校では学校応援団としての活動がスタートしてから11年になる。新型コロナウイルス感染症拡大による影響で活動が限られてしまった。そのような中、5月の昆虫小屋整備、6月の運動会への協力、11月の音楽学習発表会への協力を行うことができた。今後も応援団の活動を広く周知しながら「西一応援団」の輪を広げていくことに努めていきたい。多くの方々のご協力をいただき、児童の安心・安全、笑顔のために、全力投球で学校、地域、保護者と力を合わせて取り組んでいきたい。

## 6 学校長より

本校は、「明るい学校」「楽しい学校」「魅力ある学校」を教育方針の柱とし、例年、保護者や地域の皆さまと協働して教育活動を進めてきた。具体的には、「各教室での読み聞かせ」「昆虫飼育支援」「俳句指導」「地域の昔のお話」「鼓笛隊の地域行事でのパレード参加」等多岐にわたる教育活動でご支援いただき、学習支援や環境整備、健全育成等、様々な面でご活躍いただき教育効果を上げてきた。

今年度もコロナ禍での活動となり、残念ながらほとんどの活動が中止となった。その中で実施することができた行事の際には、受付等の対応や学校内外のパトロールに携わっていただいた。また、今年度は各学期ごとに各教室での読み聞かせをしていただいた。

管理職やPTA会長が代わっても、地域の皆様の学校に対する熱い思いは、開校当時から今日までしっかりと引き継がれ、息づいているので、今は仕方がないが、コロナが落ち着いた際には、また、三者が協働して、子供たちに郷土愛や愛校心を育む機会をつくり、「西一応援団」の更なる充実を目指していきたい。

# 第二松江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第二松江小学校長 和田 直樹

コーディネーター 石井 栄一

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	74人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校見守り・くすのき五葉会	毎朝	30人
図書ボランティア	週1日	20人
食育パートナー	不定期	15人
地域ボランティア	不定期	4人
花いっぱい活動	不定期	5人

### (1) 安全・安心に関わる応援団

・「くすのき五葉会」による登下校の見守り活動。PTAによる登校班での登校支援、旗振り当番での交通安全の見守りと協力しながら実施。取組が評価され、テレビ・新聞でも取り上げられた。



くすのき五葉会登校見守りに感謝する会

### (2) 学習活動に関わる応援団

・5年生（和食）、6年生（洋食）のテーブルマナー教室や、各学年のバイキング給食、えだまめやとうもろこしの皮むきで栄養士のサブティーチャーとしてご活躍いただいた。



食育パートナー

### (3) 読書科に関わる応援団

・①読み聞かせグループ②補修グループ③図書室装飾グループに分かれて計画的、継続的に活動した。感染症の拡大状況をみながらも、2学期からは読み聞かせも実施できた。

### (4) すくすくスクールにかかわる応援団（地域ボランティア）

・折り紙教室、卓球教室などをすくすくスクールのサポートセンターの協力を得て活動を充実させている。

## (5) 花いっぱい活動

- ・環境美化のため、花や野菜の栽培の活動を行っている。



花いっぱい活動で花を植える

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・学校の長い歴史の中で培われた地域の諸団体や個々のボランティアによる協力体制が堅固であり、新型コロナウイルス感染症の蔓延中も各自が体調管理をしっかりとしながら活動を継続することができていた。特に、登校見守りのくすのき五葉会の皆様には、悪天候の日や感染症の拡大中も1日も欠かさず登校見守りに携わっていただくことができた。

### <課 題>

- ・新型コロナウイルス感染症のため、例年よりも規模や回数を縮小、あるいは時期を見直して行った活動もあった。だが、学校と連絡をとりあいながらできることをできる時期に行うことができた。

## 5 コーディネーターより

今まで本校で培ってきた児童の下校の見守り、図書ボランティア、食育パートナーなどの活動を行うにあたり、多くの方々にご協力いただきました。感染症対策も行いながらの活動には頭が下がります。来年度で百年を超える本校の歴史も終わることとなりますが、子どもたちが二松小最後の一年間を実り多いものとするよう、学校と密に連絡を取り合いながら、活動を行ってまいります。

## 6 学校長より

今年度も、学校応援団の方々に御協力と御支援をいただき、本校児童は明るく元気に学校へ通うことができました。本校と子供たちを愛し、惜しみなく協力していただけることに深く感謝申し上げます。

これまで培ってきた活動をしっかりと価値あるものにして、閉校する来年度まで地域の教育力を取り入れ、地域とともに歩む学校としてまいります。

今後は、PTA 本部の方と連携し、閉校準備活動をすすめてまいります。今後とも、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# 西小松川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西小松川小学校長      青山 美和子  
 コーディネーター      塚原 一希

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	224人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況（今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動なし）

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校見守りボランティア	毎朝、校門前で児童の交通安全の見守りをする。	5人
下校見守りボランティア	4月末まで、1年生の下校時の見守りをする。	26人
校外学習（行事）見守りボランティア	校外学習時に安全を確保し、指導の補助をする。	127人
清掃ボランティア	校内の廊下・階段の清掃をする。	3人
調理実習指導ボランティア	調理実習時の安全見守りと指導補助を行う。	12人
5年生学習支援ボランティア	毎週木曜日に5年生の外国語学習の支援を行う。	1人
店の仕事体験ボランティア	店の仕事の説明と、仕事の体験指導を行う。	20人
図書室整備ボランティア	週1回、本の整理や修理、壁面装飾などをする。	10人
読み聞かせボランティア	月1回、朝読書の時間に本の読み聞かせをする。	17人
学校環境ボランティア	季節ごとに花壇に花を植える。	3人

登校見守りボランティア



読み聞かせボランティア



図書室整備ボランティア



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度は活動なし。

### <課 題>

○学校ホームページや読書ボランティア通信などを通じて、ボランティアの活動を紹介し、ボランティアの人材発掘に引き続き、力をいれていきたい。

## 5 コーディネーターより

今年度から新しくコーディネーターになりました、PTA会長の塚原一希です。今年度は新型コロナウイルスの影響で主だった活動ができませんでしたが、例年、多くのボランティアの方々の活躍により、学校教育活動に協力できていると前任者から聞いております。

来年は今年度活動できなかった部分も含めて、例年以上に、学校と保護者、地域の方々を結び付けることに注力して、子供たちが、より充実した学校生活を送れるように活動をしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で活動がすべて中止となってしまいましたが、本校の教育活動が様々に展開できますのも、ボランティアの皆様のお力添えによるものです。例年、学校全体、または、各学年の活動や学習のめあてについて、ご理解いただきご協力いただくことで、子供たちは安心して学習に取り組むことができいております。

ボランティアの皆様の中には、お子様が既に本校を卒業して20年以上たっている元保護者の皆様が多くいてくださることも心強い限りです。地域に愛され大切にされている学校だからこそ思い、ボランティアの皆様、地域の皆様の期待に応えられますよう、さらに子供たちと共に頑張りたいと思っております。

今後も、子供たちの安全安心な学校生活のために、多くのお力をお貸しいただけますよう学校の教育活動の様子を学校HPや学校だより等で、保護者の皆様、地域の皆様に発信してまいります。

# 大杉小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

大杉小学校長 浅野 努  
コーディネーター 池田 政弘

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	33 人
	学生ボランティア	0 人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登下校見守り	週5回（土曜授業日も）	5 人
環境ボランティア	年4回の学校花壇の手入れ	6 人
読み聞かせボランティア	年8回、朝読書の時間の読み聞かせ	22 名



登校時の見守り活動



年8回の読み聞かせ活動

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

コロナ禍であっても、毎日子供たちにとって安全・安心な環境づくりのために、ご尽力いただいたことは、たいへんありがたく、心より感謝している。そのおかげで、明るく元気な顔で登校している子供たちの姿がある。子供たちは、毎回、挨拶や感謝の気持ちを伝えている。

環境ボランティアは、1年をとおして、玄関や校庭の課題を季節感のある花で満たしていただいた。情操教育の一助として、大いに役立っている。

読み聞かせボランティアが再開できたことは、とても喜ばしく、また、とてもありがたいことであった。子供たちも、読み聞かせの時間をとても楽しみにしていて、読書への興味・関心が深まった。

### <課 題>

図書室の整備や授業の補助、行事の支援の活動等については、制限等のためにできなくて残念だった。今後も、かかわり方や方法を模索し、工夫しながら子供たちにとって、よりよい教育環境づくりに努めていく。

また、子供たち自身のことばや手紙等で御礼をしっかりとさせたい。

## 5 コーディネーターより

きびしい状況下ではあったが、昨年度に比べると、子供たちのために活動する機会が増えたことはよかったと思う。学校公開等で、学校へ足を運べたこともとてもよかった。今後は、ボランティアをしていただける方の人員確保と新しい方への引継ぎについても考えていきたい。

## 6 学校長より

学校応援団の皆様には、本校の子供たちが日ごろからたいへんお世話になっております。本当にありがたく、ただただ感謝しかありません。

今年度も引き続きコロナ禍の下、活動制限等がある中においても、あれこれと本校の子供たちのためにお知恵やご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。

登校の見守りをはじめ、読み聞かせや環境整備等、子供たちにとっては、何よりも明るく元気になれるための大きなサポートだったと思っております。

今後とも、よりよい連携を図り、本校の教育活動ならびに子供たちの健やかな成長のために、御理解御協力をいただきますよう改めてお願い申し上げます。

# 大杉第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

大杉第二小学校長      奥澤 弘子  
コーディネーター      田崎 国男

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	216人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	月2～3回	28
登校班及び旗振り	常時	50
ふれあいウェンズデイ	毎月第3水曜日	20
読み聞かせボランティア	月1回(朝読書)	18
学校図書館ボランティア	年間(随時)	10
学校内外清掃環境整備	年間(随時)	40
杉ニサポーターズ (児童の安全等サポート)	年間(随時)	50

読み聞かせ  
ボランティア



1年生の下校見守り  
見守り隊



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 「見守り隊」の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響のために、定期的には実施できたのは緊急事態宣言が解除された10月からであった。「見守り隊」の皆様が、1年生の下校に付き添って見守っていただいたことで、安全だけでなく、安心に下校できたことはとてもありがたかった。本活動の歴史は古く、地域・保護者の認識も高い。「見守り隊」の皆様に全校児童が1年生の時に世話になっており、地域を含めて児童の成長を温かく見守っていただいている。
- 児童は1年間を通して、「登校班」で登校している。PTAの方が毎朝、旗振りを行うことで、安全・安心に登校することができた。
- 学校図書館ボランティアも10月から本格的に学校図書館の整備や児童への読み聞かせを行うことができた。児童の発達段階に応じて選書し、児童の楽しみな時間とすることができた。

### <課 題>

- 意欲的に活動を行ってくださっているが、ボランティア活動に取り組んでくださる方が固定化したり、高齢化したりしていく傾向がある。今後も新規加入者を増やし、活動を継続することや活動の幅を広げていくことが課題である。

## 5 コーディネーターより

大杉第二小学校学校応援団は、平成22年5月13日に始まり、今年で12年目となりました。13あるボランティア団体は、「できるときに」「できる人が」「できることを行う」ことをモットーに、自分の意志で積極的に、<sup>すぎに</sup>杉二（大杉二小）の子供の健やかな成長のために活動しています。この活動を通して、地域の人が互いのつながりを深め、児童にとって、地域にとって、よりよい環境づくりをめざして活動しています。

「見守り隊」は、五北町会、大杉町会、保護者の方など、常時30名ほどのボランティアの方々が、社会情勢を踏まえながら、学校の校庭に集まり、1年生の下校を見守り、自宅まで送っています。

「ふれあいウェンズディ」は、例年は子供たちと工作やゲーム、折り紙等を通じてふれあいを楽しんでいましたが、今年度は感染拡大防止の観点から活動を12月まで自粛しておりました。

これら「見守り隊」と「ふれあいウェンズディ」の活動は、子供たちの健全育成に貢献する活動であると、注目されていることも私たちの誇りとなっています。今後も、学校、家庭、地域が一体となったボランティア活動を推進することを通して人と人との絆を結んでいくためにも、協力を惜しまない応援団でありたいと思います。

(田崎 国男)

## 6 学校長より

大杉第二小学校は、昭和50年（1975年）に開校した学校です。開校より本年度まで常に町会、PTA、PTAのOB、地域近隣の皆様に厚く支えられてきました。様々な分野のボランティア団体の皆様から、大杉第二小学校応援団は組織されています。学校応援団代表田崎代表のお言葉にある通り、本校の学校応援団は「できるときに、できる人が、できることを」行ってくださっています。本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、応援団の活動が例年より縮小されましたが、本校の教育活動をあらゆる場面で支えていただきました。これからも、大杉第二小学校に通う子供たちが健やかに成長できますよう、ボランティアの方々のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

(奥澤 弘子)

# 第三松江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第三松江小学校長 武内 広明  
 コーディネーター 椎橋 治美

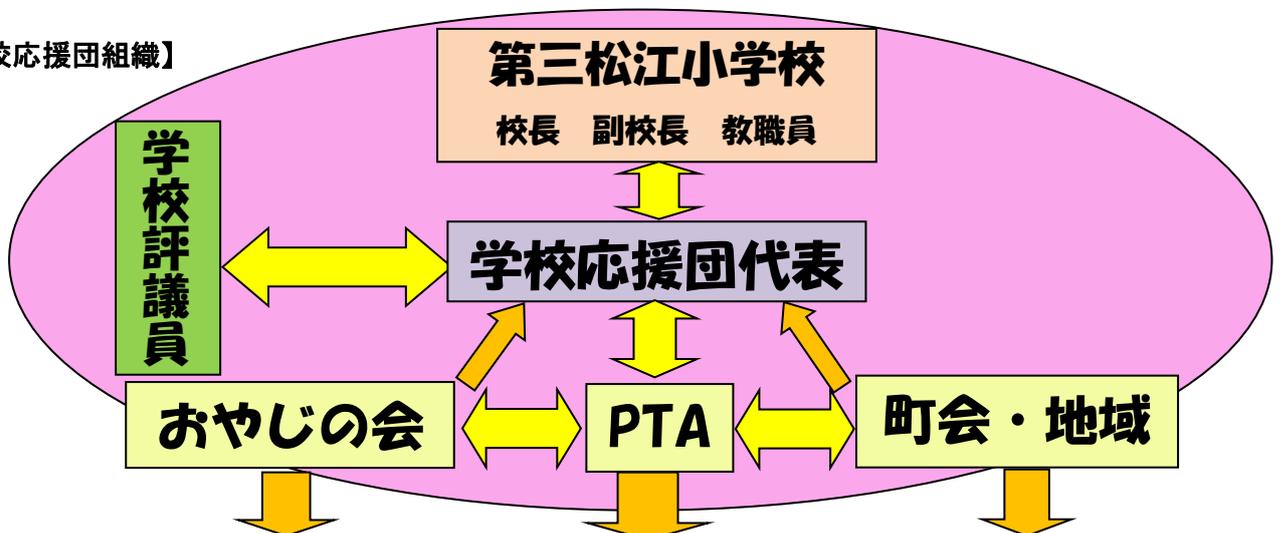
## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	208人
	学生ボランティア	3人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全見守りボランティア	毎日	35人
読み聞かせボランティア	月1回	52人
図書ボランティア	月3～4回	42人
イベントボランティア	不定期	70人
動物飼育ボランティア	不定期	5人
草花栽培ボランティア	不定期	4人
学習支援ボランティア	不定期	3人

【学校応援団組織】



A. 児童の安全確保にかかわる活動

B. 児童の生活にかかわる活動

C. 児童の学習にかかわる活動

D. イベント

E. 記録

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

#### (1) 常時活動の定着と充実

登下校時の見守り、読み聞かせ、学校図書館の環境整備等、常時行っている活動は今年度もしっかり行われた。読み聞かせは、多数のボランティアが登録し、全学級で月に1回は読み聞かせ活動を行うことができた。また、学校図書館の環境整備は、毎週1回行われ、年間を通して季節に合った壁面飾りが見られ、児童の読書活動の充実に貢献した。

#### (2) おやじの会のイベントの充実

本校のおやじの会は、例年は6月の「おやじんピック」、10月の「学校宿泊会」、2月の「おやじランド」、3月の「6年生を送る会」の4回のイベントを行っている。今年は、コロナ感染状況の影響で全ては行えなかったが、11月に「三松グランプリ」と、PTAとの合同イベント「秋のお楽しみ会」を行った。子供たちのために一生懸命準備をするおやじの会メンバーの熱意が感じられる活動であった。



図書室壁面



三松グランプリ



秋のお楽しみ会



秋のお楽しみ会

### <課 題>

今年度、本校の卒業生が学校行事や児童の教育活動に関わることができた。その輪は広がりつつある。今後、さらにネットワークを広げ、幅広い年齢層の応援団を組織したい。また、地域の方々にも学校応援団の存在や活動内容をさらに周知し、協力を依頼できる体制を整えたい。

## 5 コーディネーターより

今年度の活動を振り返り、応援団員である保護者、PTA、おやじの会、地域や町会の皆さまにお礼を申し上げます。昨年度に引き続き、コロナ感染予防対策をした上での実施は課題も多かったと思います。大きな事故や事件もなく、安全に子供たちが登校し、学習できたのも皆様のお力のおかげだと思っております。今後も、より「安心・安全な学校」になるよう、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

## 6 学校長より

今年度は、昨年度に引き続き、コロナ禍で計画していた取組ができない状況が続きましたが、三松小を見守る地域・町会の皆さん、そして、PTA・おやじの会の皆さんの「子供たちの笑顔のために」との強く温かい励ましの中で、『今できる最高のイベント』を安全に実施していただきました。まだまだ不安が続く中ですが、これからも常に希望をもって、三松小らしく前向きに教育活動を進めてまいります。どうぞこれからも、引き続きご支援、ご協力をよろしく願いいたします。

# 大杉東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

大杉東小学校長 高橋 真  
 コーディネーター 水越 晃

見守り隊  
 安全指導



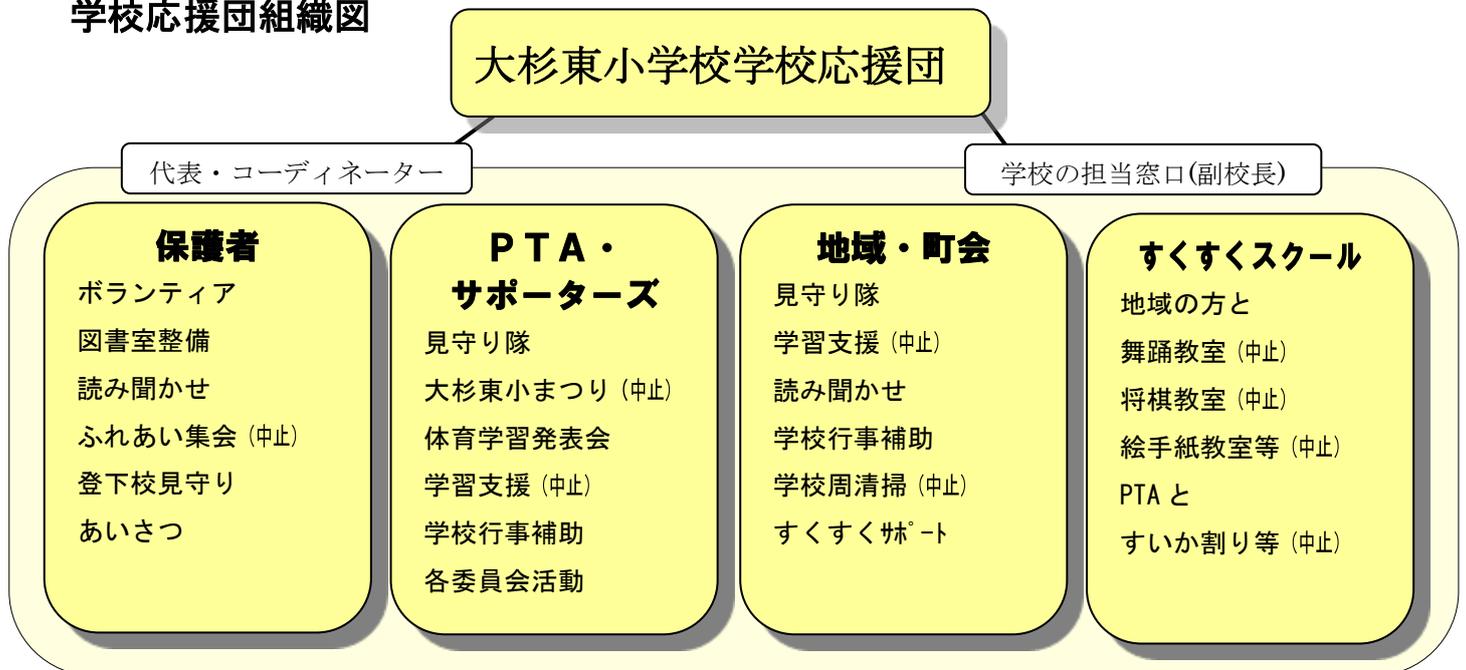
## 2 ボランティア数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	54人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数(実人数)
見守り隊	毎日	31人
図書整備	毎週木曜日	13人
読み聞かせ	毎週火曜日	12人

## 学校応援団組織図



読み聞かせ



図書整備

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・本格的に始動して3年目となりました。地域・保護者から児童の安全への心配と、安全対策への要望があったこともあり、今年度も保護者の皆様、地域の皆様と連携し「大杉東小学校見守り隊」を募集したところ、31名もの方々に賛同いただきました。また、昨年度から小松川警察署交通課交通総務課「通学路安全呼びかけ隊」とも兼ねて活動しております。自分のできる範囲で、配布された「見守り隊」のベストを着て、登下校の際に路上に立っていただいています。保護者のみでなく、地域の目もある中で、児童の安全な通学が守られております。
- ・PTAの方が毎朝、旗振りをを行い、安全・安心に登校することができています。
- ・毎週木曜日、図書室の本の修理や掲示物作成等の活動等を行っていただいています。季節が分かるような掲示物をたくさん作っていただいています。
- ・毎週火曜日、低・中学年に読み聞かせを行っていただいています。子供たちは、毎週火曜日を心待ちにしています。
- ・3年生の自転車運転免許教室では、多くの保護者ボランティアの方々にご協力をいただき、自転車の実技指導を行いました。全員が自転車運転免許の交付を受け、安全に自転車を運転することができています。

### <課 題>

- ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、十分な活動を行うことができなかった。「学校や地域、保護者がより連携しやすい活動は何か」という視点で活動内容を見直す。
- ・学校応援団の内容について現場のニーズを検証して、さらに充実が図れるようにしていく。

## 5 コーディネーターより

保護者や地域の皆様方には、登下校の見守りや様々な形で参加・参画などを通じて大杉東小学校の教育活動を支えていただいています。今年度は昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、なかなか活動が行えませんでした。少しでも大杉東小学校の教育活動のお手伝いできればと考えております。これからも継続して、学校と地域、家庭を結ぶお手伝いという応援を行っていきます。子供たち自身が地域の一員としての自覚がもてるよう協力して育てていきたいと思っています。皆様もご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

代表 水越 晃

## 6 学校長より

令和6年度の新校舎完成を目指し、今年度から学校改築が始まりました。それに伴い、登下校で使用する門や通学路の変更が必要となり、見守り隊の皆様や旗振り当番の保護者の皆様にはこれまで以上の配慮をいただいております。おかげさまで本校児童は事故に遭わずに元気に登下校ができています。また、昨年度に引き続き、感染防止対策のため、応援団の皆様にご活躍いただく機会を自粛しなければならない状況が続いておりますが、そのような中でも読み聞かせ等を工夫して行ってくださり感謝申し上げます。

今後も学校は、「地域とともに歩む学校」「児童・保護者・地域の信頼に応える学校」を目指し努力してまいります。ご理解並びにご協力をよろしくお願いいたします。

校長 高橋 真

# 東小松川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川区立東小松川小学校長 高木 伊織  
コーディネーター 池上 千恵子

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	53人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
蓮田栽培支援	4月(蓮植え)、10月(蓮堀) 不定期(蓮の世話)	15人
読み聞かせ	月5～6回	37人
図書室整備	毎週木曜日	
本の選定	各学期1回	
通学時の交通見守り	通年	1人

読み聞かせ



蓮の栽培活動



収穫した蓮



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

○今年度は、学校改築工事が始まり、校庭に仮校舎の建設工事が進められている。そのような中、蓮田への行き来が困難となり、通常の蓮田の取り組みができない状況となっている。本校の伝統を継承するため、蓮田を守る会の皆様と連携をとり、教育委員会、工事業者とも相談をしながらできる活動を模索し、今回は、蓮田を守る会の皆様のご協力で、児童の見学、蓮堀体験なしの蓮堀活動を実施した。その様子は映像にとり、児童が見る形をとった。新学校が新しく生まれ変わる中、長年続いている伝統行事を学校応援団の皆様の協力により継続できたことが成果である。栽培活動の協力もあり、昨年度よりも収穫量が増えた。

○コロナ禍での図書関係ボランティア活動の実施が難しい中、状況を見て活動を実施することができた。特に、感染症対策のため本校図書館の本を貸し出すことができない状況を踏まえ、ボランティアの方に松江図書館から学級用に本を借りる手配をしていただき、児童が学級で本を手取る活動を充実させることができています。また、読み聞かせでは書画カメラを活用して、児童との距離を確保しての実施をするなど工夫して取り組んでいただいた。

### <課 題>

○コロナ禍での学校応援団の活動を、特にご年配の方にこちらが依頼することが難しい。また、児童との接触をなるべく避ける意味で、同じ空間での活動を制限せざるを得ない。

協力いただける方の人数の減少もあり、活動の在り方を今後考える必要がある。

## 5 コーディネーターより

今年度は、感染症対策に加え、校舎改築のため活動に制限が加わった中での応援団の活動となりました。そのような中でも、蓮田の活動、図書ボランティアの活動をはじめ、学校応援団の皆様のご協力により、状況に応じた活動を展開することができましたことに深く感謝申し上げます。

これからもコーディネーターとして、地域の皆様、保護者の皆様にご協力をいただきながら、活動の幅を広げ、子供たちがより安全に楽しく学校生活を送れるよう協力させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

池上 千恵子

## 6 学校長より

本校の特色である蓮の取り組みでは、「蓮田を守る会」と学校応援団のご協力により、今年度は昨年度の土の入れ替え後、2回目の収穫となりました。心配された蓮の成長具合ですが、お陰様で以前のような立派な蓮に育ち、皆で安堵いたしました。今後も、本校の良き伝統が、地域の皆様と共に継承されていくよう、取り組んでまいります。

登校の見守り、本の読み聞かせや環境整備など図書館に関わる支援におきましては、感染症対策をしていただきながら熱心に活動していただきました。予定されていた行事等の中止や変更により、活動の見合わせなどが生じましたが、ご理解いただきましたことに感謝申し上げます。

# 船堀小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

船堀小学校長                    佐藤 美緒  
コーディネーター            田中 寿士

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	645人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館ボランティア	感染症拡大の状況を見極めながら、1学期末から月2回開催	24人
おはなしボランティア	感染症拡大の状況を見極めながら、1学期末から週1～2回開催	20人
安全見守り隊	週5回（月～金曜、および土曜授業）	3人
おたすけ隊	不定期	20人



今年度もコロナ感染症拡大により、多くの制限がかかる中での活動となりましたが、感染予防を第一に考えながらも、応援団の皆様のたくさんのお力と工夫のおかげで、できる限りの活動を行うことができました。



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・例年行っていた図書室の整備や、校舎2階の中心に位置する「絵本コーナー」の環境整備は、当初、週1回のペースで定期的実施する予定であったが、コロナ感染症拡大の影響で、1学期末から規模を縮小した形で実施した。児童の読書活動および読書環境の充実のため、少しでも活動ができたことはよかった。
- ・読み語り（おはなし）ボランティアについても、年度当初から、週1～2回のペースで定期的実施する予定であったが、コロナ感染症拡大の影響で、1学期末から規模を縮小した形で実施した。児童に読書の世界の楽しさを味わわせることができた。
- ・図書館の団体貸出しの選定が実施できたことで、児童が様々な種類の本に触れることができ、読書の世界を広げることができた。
- ・おたすけ隊の活動の一環として、昇降口の時計の飾り付けや絵本コーナーの装飾、各学年の掲示資料など、校内の掲示物を季節に合わせて作っていただいた。特に各学年の掲示資料については、ことわざを覚えられるような布製の掲示物や、算数のかけ算九九を覚えられるような掲示物を整備していただき、児童が日常的に楽しみながら学習することができた。
- ・今年度も引き続き、登校時は登校班による集団登校ではなく、各自での分散登校となったが、毎日の登校の見守りを継続的に実施し、児童の安全を守っていただいた。
- ・オリパラ学習の一環として、おたすけ隊に学年ごとにスポーツや文化についての指導をしていただき、様々な運動や文化に親しむと同時に、運動・文化への関心を高めることができた。
- ・例年行っていた、葛西地区の重要な産業であった海苔漉きの体験については、昨年度に引き続き今年度も中止となってしまったが、地域の昔の話を聞く学習を実施することができた。また、授業の中で地域について学んだことで、地域を愛する心情を育てることができた。
- ・例年実施していた船小まつりやおやじの会のイベントは、形を変えての開催となった。今後に向けての方向性や課題を改めて確認することができた。

### <課 題>

- ・コロナ感染症拡大のもと、学校応援団としての在り方も含め、どのような活動が可能か。
- ・学校応援団と教職員との連携をどのように図るか。
- ・活動の活性化を図るため、学校応援団の活動を学校だよりやホームページ等を活用して、さらに広めていく。

## 5 コーディネーターより

昨年度に引き続き、今年度の活動も、コロナ感染症拡大の影響で、活動が制限された形となりましたが、その中でも工夫をして、可能な限りの活動を行うことができました。保護者や地域による「多くの大人の目や手」は、子供たちにとっては貴重なものであり、それによって子供たちの安全が守られ、充実した学びの体験となるので、今後も継続して、子供たちの心身の成長を豊かにする取り組みを、学校とともに積極的に行っていきたいと思っております。

## 6 学校長より

様々な制限がある中でしたが、「地域を愛し、次の時代を担う意識」を育むために、地域の自然や施設、文化を地域教材として、それらを知り尽くしている学校応援団のお力を借りながら、子供たちの興味関心を高めることができました。学校応援団の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

# 船堀第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

船堀第二小学校長 則岡 小織  
コーディネーター 生井 敏昭

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	25人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	週1回（毎週月曜日）	5人
体験活動支援 親児の会 P T A	ウォークラリー、打ち上げ花火大会	10人
登校見守り	週5回	10人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

図書ボランティアの方々には、学校図書館の書架の整理や飾り付けをしていただいているおかげで、地域の図書館のようにとっても使いやすい環境となっています。学校図書館の中に入ると、楽しくなるような飾り付けや、探している本が見つけやすいような配架になっているので、すぐに本を手にすることができます。だから、子供たちは、学校図書館を使った時間が大好きになります。

P T Aや親児の会等が、子供たちのためにいろいろな企画を立案していただいておりますが、残念ながらコロナ禍でその多くが中止を余儀なくされました。今年度は、親児の会主催の新1年生対象のウォークラリーと花火大会を実施することができました。どちらも盛況の上、親子で参加をしていただきました。

登校見守りボランティアの方々には、児童の登校の様子等を見守っていただき、児童の安心・安全にご協力をいただいております。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、残念ながら読み聞かせボランティアの活動を送りました。例年のように読み聞かせボランティアの方々には、読み聞かせを通して読書のおもしろさや楽しさを児童に伝え広めていただける日を待ち望んでおります。

### <課 題>

学校応援団の活動にご賛同いただける方はたくさんいらっしゃるのですが、新しくお手伝いをしていただける方がなかなか増えていかないのが現状です。それに加えてコロナ禍で来校する機会が減少しているのも尚更です。しかし、このような社会だからこそ、子供たちに喜びや地域の一員であるという意識を育む機会が大切であると考え、どのような活動内容にすることで親子の参加者を増やしたり、企画・運営に関わらせながら子供たちの活躍の場を増やしたりして、人と関わる大切さや楽しさ等に気付かせたいと考えています。これからも新しい企画等に取り組んでいきたいと思っております。

## 5 コーディネーターより

船堀第二小学校の学校応援団としては、保護者や地域と協力して、子供たちが安心・安全に生活できる街づくり・環境づくり・人づくりを目指しております。ここ船堀地区は、古くからある歴史に加え、川・駅を中心に街が発展してきました。こここのところの発展と昔ながらの建物が混在する素晴らしい文化的な街です。ぜひ、この地域を愛する子供たちが増えてほしいと願っております。

## 6 学校長より

学校では、日々、子供たちの学校生活が充実したものになるように努めております。また、学校応援団の皆様から様々なご支援をいただき、子供たちへの教育活動が益々実り多くなるように推進しております。今後も保護者・地域の方々にご理解・ご協力いただけるように、学校の様子をお伝えしていくとともに、子供たちの良いところをさらに伸ばしていけるような取組を考えてまいります。今後ともご支援いただけますよう、よろしく願いいたします。

# 葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

葛西小学校長            内野 雅晶  
コーディネーター      石川 勝

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	約100人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み語り	週1回（毎週水曜日）	54人
学校図書館環境整備	週1回（毎週水曜日）	25人
登校見守り	週5回	8人
下校見守り	不定期（ほぼ、週2、3回）	3人
授業補助	不定期	10人
校外学習引率見守り	不定期	多数 (学年5～10人)

朝の「読み語り」



LAS図書館整備



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・併設型小中学校として3年目となった。学校図書館ボランティア(LAS)は、広い図書館における本の整備や修繕、図書館の整頓や掲示物の作成、そして読み語りの活動を今年度も継続して実施した。特に毎週水曜日に行っている読み語りは、担任や自分の親以外の大人たちから本を読んでもらうことで、児童は真剣に話を聴き、話の内容を理解しようとする姿が見られた。
- ・11月の「お話集会」では、屋内運動場のスクリーンに画像を映し、LASの方がただ話を読むだけでなく、声色を変えたり、音響を入れたりしながら児童に披露してくださった。発表後には児童から大きな拍手が贈られた。
- ・登校の見守りの方には、多数の目で子どもたちの安全を見守ってもらえ、児童は安心して登校することができた。下校の見守りボランティアの方には、今年度も東門を中心に安全指導をしていただいた。

### <課 題>

- ・学校図書館ボランティア(LAS)の読書活動への支援は非常に大きいのだが、年々人数が少なくなる傾向がある。今後の継承者を探すだけでなく、葛西中学校と併設していることを活かして、本校OBとしての登録も認めていくようにする。
- ・見守り隊の方の高齢化が否めない。地域に向けて人材を募集していきたい。また、ボランティア活動の様子をホームページ等で伝え、協力体制を広げていく。ボランティアの方が気持ちよく活動をしていただけるように、学校でも応援団の方の活動について紹介したり、児童があいさつをしっかりと行えるよう指導を行ったりしていく。

## 5 コーディネーターより

LASの皆さんのおかげで、いつも学校図書館は整備されていて、図書館を利用する児童にとって憩いの場となっているようです。図書室の装飾も四季折々、様々な年中行事を表し、子どもたちに日本の伝統文化をはじめ、諸外国の行事等も感じ取ってもらえるよう工夫されていて感心しています。葛西小学校中学校全児童生徒のために活動していただいていることを心より感謝しております。

子どもたちの交通安全を見守る地域の方々にも大変お世話になっております。下校時に東門から下校する児童の中で交通事故になりそうな危ない事案がありました。下校時に東門を中心に安全な歩行の声掛けを含めた見守りをしていただき、お陰様で事故なく登下校を行うことができています。

葛西小学校応援団として、子どもたちのことを大切に思う気持ちを地域と共に育み、そして努めてまいりますと考えています。どうぞ、ご協力よろしく願いいたします。

## 6 学校長より

今年度も葛西小学校応援団の方々に大変お世話になりました。学校全体の教育活動が滞りなく行われているのも、応援団の方のお力添えのおかげだと感謝しております。

今年度はLASによる「お話集会」が実施できました。子どもたちは、一言も周りの子と話すことなく、夢中になってお話を聴いていました。それだけLASの皆さんの発表が素晴らしかったのだと思います。そのような経験を子どもたちができたことは、学校としてもとても有意義でありました。

様々な場面で学校応援団の方々に力添えをいただき、子どもたちは多くのことを学び、そして身に付けたと思います。今後も、学校と保護者、地域の皆様と互いに良い関係づくりをしながら、葛西小学校の子どもたちを育てていきます。

# 二之江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

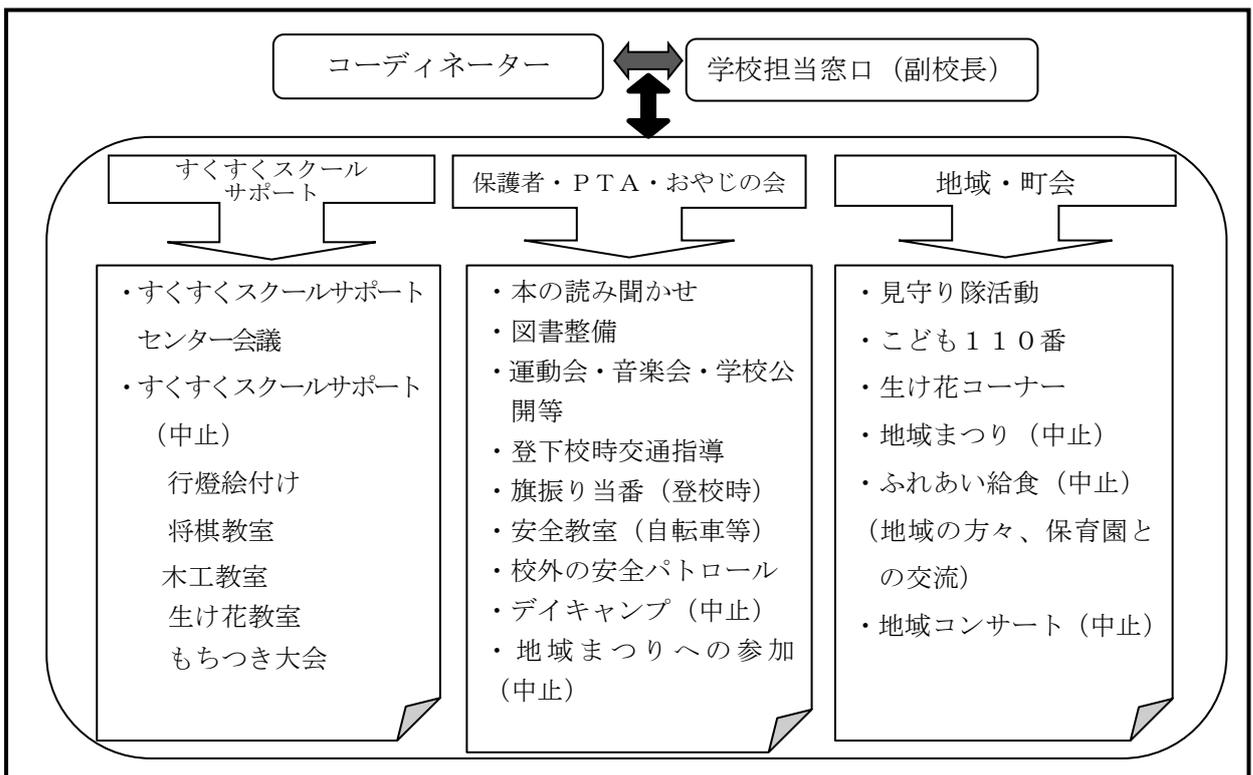
二之江小学校長 大須賀 慎一  
 コーディネーター 須賀 英昭

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	349人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ・お話の木	毎月1回	21人
図書整備	毎月1回	21人
登下校の安全	週5回	327人
環境整備	毎月2回	1人
行事支援・催し	不定期	135人



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- 1 読み聞かせボランティアによる月1回の読み聞かせが10月から再開し、児童が本に親しみ、朝の読書活動が充実した。二之江第三小学校との統合のため、ボランティアの人数も増え、充実した読み聞かせができています。コロナ対応のため、集まれず着席したままでの読み聞かせだが、ビッグブックの数も両校合わせたため増え、子供たちも楽しんでいる。昨年購入した読み聞かせのガイドブックもボランティアの皆さんが活用していて、さらに児童の興味関心を高める結果となった。
- 2 統合により、学区域が広がり登校時の見守りの場所も増えた。地域の方も朝の見守りを行ってくれている。また、PTA校外部の長期休業中のパトロールにより児童の安全が保たれ、防犯の強化が推進された。
- 3 運動会では、校庭が使えず葛西小学校で行ったため、受付や自転車置き場の案内、準備や片づけ等の支援をいただいた。音楽会では、自転車来校禁止の徹底を凶ってもらえた。
- 4 華道の先生が、環境整備ボランティアとして、毎月、児童玄関に季節のお花を生けに来てくださっている。今年度は、コロナ禍のため、児童の授業中に生けに来られ児童と触れ合うことはなかったが、児童は季節の花に興味をもち、情緒が豊かになっている。

### < 課 題 >

- 1 地域やPTAの人材を探す。
- 2 新たな応援団の活動を構築する。

## 5 コーディネーターより

二之江小学校は古川親水公園に隣接し、また、統合した二之江第三小学校も新川が近くに流れ、両校ともにとっても地域に密接した学校です。統合後も学校と地域、保護者が一体となって様々な活動を行う予定でした。これまで、特に歴代のPTAのOB会やおやじの会が中心となり、すくすくスクールの行事や伝統ある地域行事等に取り組んできました。皆、とても協力的です。

今年度は、コロナ禍のため予定していた地域等の行事が中止になってしまいましたが、今後も児童一人一人が楽しめて、参加してよかったと思える催し物をたくさん企画していきたいと思います。そして、児童と大人が古川・新川の自然の中でよりたくさんの思い出を作り、地域を愛する心を育ててもらえたらと思います。二之江小学校のコーディネーターとして皆様のご支援・ご協力を切に願う次第です。

## 6 学校長より

平成22年度から実施された「学校応援団」の取り組みは、学校を応援してくださる様々な方々のご協力をしっかりと意識できるよい機会となっています。地域やPTAのみならず、「おやじの会」の協力も、学校応援団としてとても大きな力となっています。多くの方々が、児童のために学校応援団として活躍してくださることは、とても喜ばしいことです。

今年度は、二之江第三小学校と統合して、新たな二之江小学校、新たな二之江小学校応援団としてのスタートを切りました。コロナ禍ではありましたが、そうした皆様方の心強いご理解とご支援は、本校職員一同が児童や地域のために一層頑張る大きな原動力になっています。

今後も、子供たちのために学校と保護者、地域の皆様が相互の信頼で結ばれ、協力し合える二之江小学校を目指してまいります。今後ともご協力、よろしく願いいたします。

# 二之江第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

二之江第二小学校長 杉山 勇  
コーディネーター 石澤 多恵子

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	14人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
グリーンボランティア	月1回程度 不定期	4人
蓮田愛育会	4月蓮植え 11月蓮堀り	7人
え・ほんの会	読み聞かせ月1～2回 図書整備不定期	35人
むかし遊び	年1回 3学期	15人
飼育ボランティア	連休 長期休業中	10人
俳句指導	5年生 年1回 2学期	2人
金魚の養殖の紹介	4年生 年1回	1人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

本校の学校応援団の活動は、学習支援・環境整備・地域の伝統継承・飼育・読み聞かせなど多岐にわたっている。また、学校応援団の方が活躍されている分野を学習素材とした「金魚の養殖」「俳句指導」の活動も定例化し、本校の教育活動にお力をいただいている。

しかし本年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により、活動の多くについては、見合わせや規模の縮小を余儀なくされてきた。とくに「ゆうほ」の皆様による学習支援については、児童と直接的な関わりが多いため、今年度についてもなかなか再開の目途は立っていない。

そのような状況の中でも、「まずできるところから。」という心強いお声をいただいている。「例年並み」という活動の判断基準を見直し、新型コロナ感染拡大の防止の観点に基づきながら、可能な活動を探っている。

### <課 題>

保護者以外の応援団の方の高齢化が進み、次世代の人材不足が課題としてあげられる。新型コロナ感染拡大防止に関して、特にご高齢の方の活動については、安心して活動していただけるよう、細やかな健康上の配慮が求められる。学校からの一方的なお願いとならないよう、お一人お一人の意思確認をしっかりと行いながら進めてきた。

貢献いただいている方々が固定化されてきていることも課題である。様々な分野の人材を活用していくことが今後の課題となる。PTAを始め、地域の方々に広く呼び掛けて新たな人材確保に努めていきたい。また、ホームページ等を活用して、応援団の活動内容をアピールしたり、人員募集を計ったりすることで、さらに活動を活発にしていきたい。

## 5 コーディネーターより

学習支援ボランティア「ゆうほ」は、約10年前から3年生～6年生までの算数の支援をしています。学習内容が分からなくて戸惑っていたり、自信をもてずにいる子供たちにヒントを与えたりして理解できるようサポートをしてきました。今年度は、昨年度同様に残念ながら新型コロナウイルスの影響から、実質的な活動ができていませんが、その都度状況を確認しながら、活動再開の目途について気にかけている状況です。

グリーンボランティアは、環境の良い学校で子供たちを学ばせてあげたいとの願いから活動が始まり、校庭花壇の整備を行っております。特に、保護者の方が多く来校される行事前に合わせて新しい草花を植えています。

また、「え・ほんの会」では、図書室の整備や子供たちに読み聞かせを行っております。子供たちは、真剣に話を聞いて喜んでくれるので、とても励みになりうれしく思います。

その他、蓮や金魚、俳句など様々な活動を行っており、今後も活動の輪を広げていけたらと思っています。

## 6 学校長より

本校の学校応援団の活動は、平成20年江戸川区のモデル校として始まりました。そのため現在でもとても充実しています。これは、令和元年度より応援団長を引き受けていただいた堀口様をはじめ、石澤コーディネーター様、地域、保護者、PTA及びPTAのOB等多数の方々为一体となり、変わらぬ活動をして下さっているお蔭と思っております。

今年度は昨年度に引き続き、新型コロナ感染拡大のため、多くの活動の見直しや制限を余儀なくされましたが、そのなかでも、児童の支援を始めとし、学習環境の整備、安全安心の推進のために、様々な活動をしていただいております。応援団の方々の「子供たちの笑顔のために・・・」というお気持ちに、感謝を申し上げるばかりです。

児童には、常日頃より地域を見つめる目、地域に感謝する心、地域に貢献する姿勢を育てる努力をしています。これからも、学校と共に児童の健全育成に向けて、ご支援・ご協力をお願いいたします。

# 第二葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第二葛西小学校長 平川 惣一  
 コーディネーター 五十嵐 英男

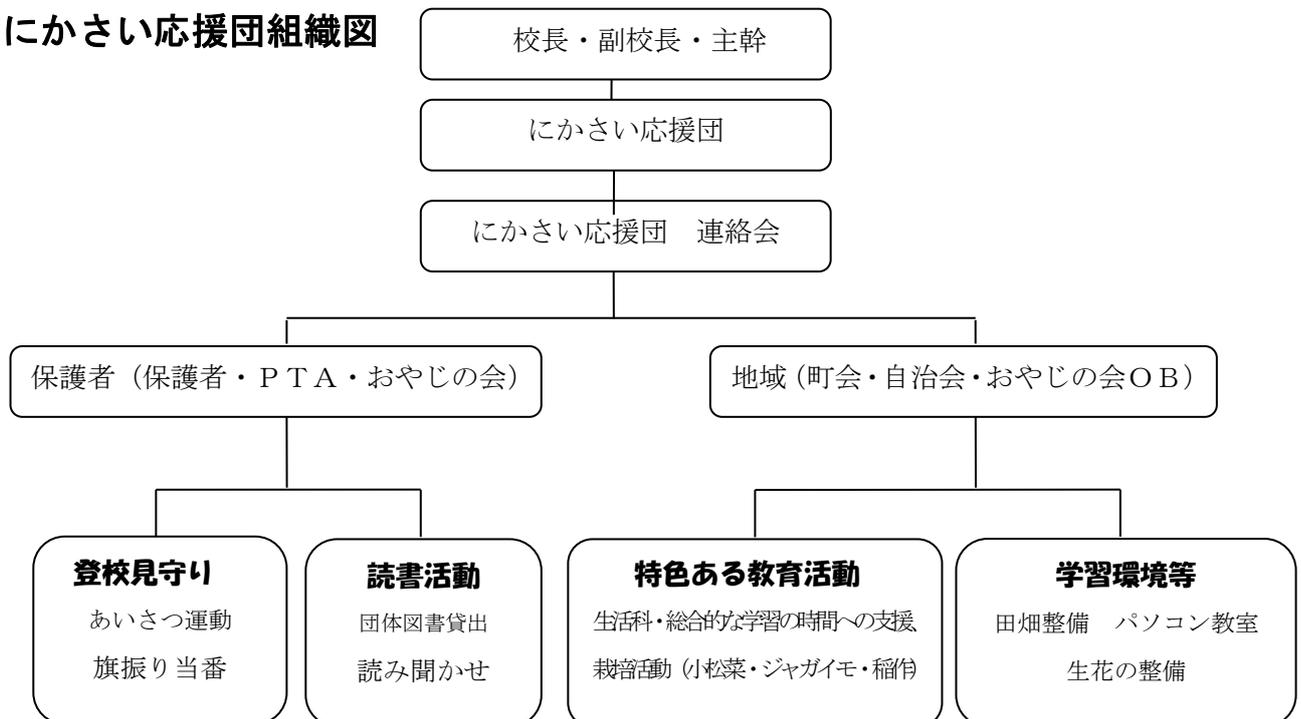
## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	796人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書室整備	毎週金曜日	96人
読み聞かせ	不定期	71回
団体図書貸出	月1回(年10回)	105人
登校見守り	週5日	770人
集団回収	月1回	490人
おやじの会イベント	12月に1回	35人

### にかさい応援団組織図



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度は、コロナ禍ということもありましたが、登校時の見守り（旗振り当番）、東葛西図書館の団体貸出し、図書室整備、集団回収等PTA活動の支援など、日常的な取組を継続していただきました。さらに、11月からは、感染症対策をしながら各教室でボランティアの方による読み聞かせを再開することができました。読み聞かせを聞く児童の顔には笑顔が見られ、改めて交流の大切さを感じました。

登校時の見守りには多くの保護者や土曜授業時には、おやじの会のみなさんが児童の安全を見守ってくださっています。安心な学校生活がたくさんの方に支えられているのだと実感できました。

### <課 題>

今年度は、コロナ感染症対策のため、活動が制限されることが多かった。年度当初から、読み聞かせボランティアを募集登録していただいたが、実際に活動ができたのは11月で、活動を再開することができたのでよかったのですが、それまでの約半年間活動は休止状態でした。図書館ボランティアは例年通り開催することができ、回を重ねるごとに参加者が増え毎週金曜日に図書館の整備や本の修繕を行っていただいた。

学校が主体になっている活動が多いため、来年度はボランティアの方々と相談しながら新しい活動にも取り組んでいきたい。

## 5 コーディネーターより

「にかさい応援団」の活動は、地域の方々とPTA、おやじの会が協力して活動しています。コロナ感染症対策のため、活動が制限されることが多かったのですが、夏から計画を立てていたおやじの会企画のイベントを12月に開催することができました。200名の参加者が集まり、校内をなぞ歩きしながら親子で歩き、ワークショップで体験活動をするなど充実した活動を行うことができました。「にかさい応援団」の活動は、子どもたちのために活動してくださる方が多く、たいへん感謝しております。

今後も活動を続け、さらにその内容を充実させていくことを大切に、これからも「にかさい応援団」の活動を支援していきます。

## 6 学校長より

本校では、平成22年から学校応援団を「にかさい応援団」と名付け10年が経ちました。保護者、地域の皆様と一緒に子どもたちを育てることを目的にしております。

今年度も旗振り当番、図書館整備、読み聞かせなど、様々な取組の中で子どもたちを育てていただきました。校舎内での活動は制限されましたが、集団回収などPTAを中心に保護者の方々が活動してくださる姿をたくさん見ることができました。

また、おやじの会の皆様は、子どもたちが楽しめる企画を立て、用意周到に準備し完成度の高いイベントを実施していただきました。

こうした活動のおかげで、コロナ禍でも子どもたちの顔が笑顔になり、豊かな体験から多くの事を学ぶことができます。未来に向けて子どもたちの可能性を大きく広げるためにも、「にかさい応援団」の活動を今後もより一層充実させてまいります。

# 第三葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第三葛西小学校長 佐々木 恵子

コーディネーター 由良 江美子

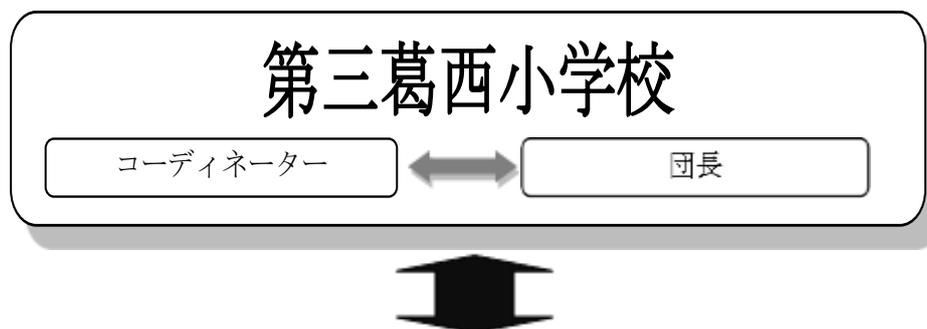
## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	452人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校の見守り	週5日	452人
戦争体験講話	年1回(11月)	3人
夏休み前親子安全見守隊	感染拡大防止のため中止	0人
夏休みパトロール	感染拡大防止のため中止	0人
校外学習安全見守り	感染拡大防止のため中止	0人
図書整備・図書館装飾	週1回(12月より)	12人

### 学校応援団組織図



応援団（町会長、地域の高齢者の方々、学校評議委員、学校現PTA、学校OBなど）

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

保護者による毎朝の旗振り当番の協力により、あいさつと安全の見守りを行っていただいている。登校時の事故が無く安全に登校できている。

戦争体験講話では、昔の学校生活の様子や周辺地域の移り変わりについても学習を深めることができた。これまで全校で実施してきたが、学年を限定したことによって講話の内容と各学年の学習内容との結びつきをより図ることができた。

### <課 題>

登校時、スクールゾーンを自転車が逆走したり、猛スピードで通過したりすることがあり、注意を呼び掛けている。今後も警察等と連携して対応していく。ボランティアの活動内容を工夫し、より多くの人に関わっていただけるようにしていきたい。



## 5 コーディネーターより

より多くの保護者や地域の方々に積極的に参加・協力していただけるような活動や体制づくりを今後も続けていきたい。子どもたちの心身の成長を豊かにする取り組みを学校、保護者、地域が一体となって実践していく。

## 6 学校長より

本年度も、制約の多い中、子どもたちのためにP T A・地域の方々に学校応援団としてご支援をいただいた。できる時にできることを実践していただくことで、子どもたちの安心、安全と学習の充実につながっている。

来年度は、団長、コーディネーターの方を中心に多くのボランティアの皆さんと子どもたちのために協力して教育活動をすすめていきたい。

# 第四葛西小学校 学校応援団 実践報告書



(マスコット ダイヨンくん)

- 1 校長及びコーディネーター氏名  
第四葛西小学校長 永浜 幹朗  
コーディネーター 堤 尚之

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	600人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
さざなみ会	年3回	20人
登校見守り	週5回	580人
図書整備	月2回(今年度自粛中)	
図書お話し会	不定期(今年度自粛中)	
行事支援	月1回	200人
花壇・環境整備	不定期	5人



### 通年

毎朝の登校の見守りを行っていただいています。3年生 自転車教室を行いました。

### 一・二学期

行事支援 運動会の受付  
学校・校庭に入る前の消毒、検温  
等対応を行っていただきました。





二・三学期  
稲刈り体験、  
花壇・環境整備  
学校園の整備と植栽を行っ  
ていただく予定です。

#### 4 今年度の成果と課題

##### (1) 成果

○今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、例年の活動をすべて行うことはできませんでしたが、昨年度に比べると、できることも増えてきました。保護者やPTA、地域の方々の多くのご協力をいただき、様々な活動を体験しています。昨年、今年と開校50周年記念行事に対して、地域やPTAの方にご協力いただきました。第四葛西小の子供たちは、地域に見守られていることを実感し、感謝の気持ちが更に育ってきています。

○葛西さざなみ会さんには、コロナ禍であっても、田植え、稲刈りなど実施していただいています。

##### (2) 課題

○昨年度に続いて、新型コロナウイルス感染症予防のため、やむを得ず実施できなかったものがありましたが、活動できているものもあります。今後も更に、感染予防を行いながら、実施できることを増やしていきます。

○今後の状況を考慮しながら、学校応援団と学校がさらに協力し、計画的に取り組みを充実させていきます。

#### 5 コーディネーターより

○昨年度に引き続き、今年度も、限られた状況の中での活動でしたが、地域の方やPTAのご協力で活動も広がりました。来年度も充実した活動ができるようにしていきます。葛西さざなみ会さんには大変お世話になっております。来年度も充実した活動ができるよう、引き続きよろしく願いいたします。

#### 6 校長より

○多くの方々のご協力の上、制限のある中での活動に取り組んでいただき、感謝申し上げます。本校の伝統を大切に受け継ぎながら、学校応援団の活動を通して、さらに「笑・楽・好（しょう・がっ・こう）」のキャッチフレーズのもと、楽しく学校に通い、子どもたちの笑顔があふれる学校になるよう尽力していきます。

# 第五葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第五葛西小学校長 石渡 靖  
コーディネーター 田中 成治

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	108人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	週5日	43人
読み語り	月1回	31人
図書環境整備	月1回	34人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 「見守り隊」の方々へ学校だよりを配布する際に、下校時間のカレンダーも配布しているが、次月のはじめも周知するようにし、活動を円滑に行えるようにした。
- 「見守り隊」の活動によって安全な登下校を行うことができた。
- 周年で学校図書館のドアや掲示板が新しくなった。読書ボランティアの方が、様々な掲示物を作ってくださり、児童への読書の意欲が高まった。
- 東葛西図書館による学校図書館ボランティアへの講習会も行われた。
- 読み語りの活動は児童も毎月、楽しみにしており、読書活動への興味関心が高まった。

### <課 題>

- 学区域が広がったので、広がった地域を含めたさらなる「見守り隊」の人員も確保していかなければならない。
- 今年度の活動の積み重ねを生かし、さらに充実した活動を行っていく。

## 5 コーディネーターより

- 第五葛西小学校の学区域も変わり、児童がタブレットを1台ずつ持つようになるなど、子供達がいきいきと学ぶ学校づくりが推進されていることに感謝申し上げます。今年は周年もあり、子供達の頑張る様子を目にすることができました。

地域の方々とも協力し、学校応援団の代表として、日々努めてきました。「見守り隊」「学校図書館ボランティア」「読み語り」等、今後の学校応援団の更なる充実を心掛けて取り組んでいきます。

## 6 学校長より

- 子供たちの安全・安心と豊かな学びのため、学校応援団の皆様の日頃の多大なるご協力とご支援に深く感謝申し上げます。

学校は、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大により、新しい生活様式の遂行を与儀なくされました。様々な学校行事等が中止、延期、縮小となる中、地域の方々、PTA会長はじめ保護者の方々との連携をより一層深め、地域、保護者、学校が一体となった教育活動を推進してきました。

「見守り隊」の皆様には、今年度も雨の日も風の日も通学路の安全を欠かさず見守っていただきました。一日、2、3回になることもある下校時刻に合わせて、毎日登下校を見守っていただきました。

また、読み語り、図書環境整備のボランティアの方々の活動により、子供たちが読書に親しみ、読書活動への興味・関心が高まりました。

今後も、地域や保護者の皆様と学校との絆を一層深くし、教育活動のさらなる発展を目指してまいります。これからもよろしく願い申し上げます。

# 第六葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第六葛西小学校長 山本 浩一  
 コーディネーター 関口 光治

## 2 ボランティア数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	213人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
ぶっくまま・ぶっくまサポート	週1回（毎週木曜日）	86人
読み聞かせ	週1回（毎週金曜日）	57人
登下校安全指導	週5日	(500人) ※保護者全員
授業の補助	週1回（毎週水曜日）	1人
安全教室の補助	不定期	30人
行事支援・六雄会	各行事	40人



たこあげ教室（写真は令和元年度のもの）



お薦め本の紹介



自転車運転免許教室（3年生）



朝の読み聞かせ



交通安全教室（1年生）



地域安全マップづくり(6年生)

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 1 今年度もコロナ禍のため、応援団の皆様による活動は、中止や縮小となるものが多かったが、10月の緊急事態宣言解除後より、新型コロナウイルス対策を行った上で、工夫して活動していただいたものもあった。
- 2 子供たちが毎年楽しみにしている「ろくっこクラブ」の活動は、飲食を伴う活動はすべて中止になったが、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いた段階で、1月15日に1・2年生、3～6年生で時間を分けて「たこあげ大会」を企画した。
- 3 読み聞かせ活動は、大型テレビに絵本を映し、マスク着用の上、アクリル板を活用しながら実施していただいた。また、タブレットを活用して、大型テレビに投影する方法も浸透し、子供たちは絵本の世界を大いに楽しむことができた。
- 4 図書室の環境整備を展開していただくことで、子供たちが「本が好きになった」、「本で学びたい」という意識の向上があり、読書への関心が一層高まった。
- 5 安全に関しては、日常的な登下校の見守りに加え、12月1日には「安全・安心パトロール」を実施。保護者も参加・応援していただけるため、交通安全に対する理解・意識を高めることができた。

### <課 題>

- ・ 保護者の関わりが多い応援団は、子供たちが卒業をすることで、人的な確保をどのように進めるかが常に課題である。さらに、コロナ禍において親子で集まるイベントが制限され、特に新入生の保護者をボランティアにお誘いする機会もなくなり、人的な確保が一層難しくなった。

## 5 コーディネーターより

家庭や学校だけでは体験できないことが応援団の皆さんのご努力・ご尽力により体験できることは嬉しい限りです。同時に子供の時の快感体験は成長しても忘れることのない思い出になり、次の世代に引き継いでいこうとする力になると考えます。

今年度もコロナ禍の中、できる活動を工夫して実施しました。これからも学校の活性化とともに地域の活性化にもつながる「応援団の活動」をいっそう広げていくために、代表としてさらに活動を推進したいと考えています。

## 6 学校長より

保護者・地域の方による「応援団活動」は、子供たちが「保護者や地域」の温かい気持ちを感じるいい機会を生み出しています。「うちの地域の子供たち」の意識は、地域安全にもつながります。

今年度もコロナ禍のため、長期にわたる緊急事態宣言が出され、児童と保護者が直接関わり合う活動には大きな制限がありました。しかし、10月の宣言解除後から少しずつできることが増え、子供たちの笑顔も増えていきました。

応援団の皆様には、感染拡大状況を見ながら、できることから始めていただきました。実施できなかったこともたくさんございましたが、「このような活動はどうだろう」「こうすればできそうだ」と子供たちの笑顔のために様々なご提案をいただきました。感謝いたします。

# 第七葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第七葛西小学校長 山崎 美佐子  
コーディネーター 小田原 備一

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	80人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ、パネルシアター	年間3回(読書月間) 年間2回	18
図書環境整備	週1回(火曜日)	13
図書見守り	不定期	9
学習活動支援	不定期(火起こし・凧作り等)	20
七小田んぼ愛育会	不定期(米作り・脱穀等)	15



5年 脱穀体験学習(七小田んぼ愛育会)



図書室環境整備(図書ボランティア)

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・コロナ禍の状況ではあったが、保護者や地域の方々に構成されている「七小田んぼ愛育会」の支援により、5年生の総合的な学習の時間に取り組んでいる稲作活動を充実させることができた。15名の会員で、主に5年生の学習支援を行っている。日常生活では体験できない米作りを、春から秋にかけて体験することができたことは、児童にとって大変有意義であった。特に今年度は、秋に学習発表会があり、愛育会の方々と共に活動した田起こしや田植え、稲刈りの体験を発表会の内容に活かすことができた。
- ・図書ボランティアの方々には「読み聞かせ」・「環境整備」・「見守り」という三本柱の活動を大きな一つの組織の中に位置づけ、読書科の推進のために互いに連携して、充実した活動をしていただいている。パネルシアターの活動について例年は全校児童対象にして行っているが、本年度は昨年度同様、コロナウィルスの感染状況を鑑みながらできることを限定しながら行った。本校の特色ある活動として定着しているパネルシアターの活動であるので、コロナ禍の状況が落ち着いたら全校児童に向けての開催を再開したい。

### <課 題>

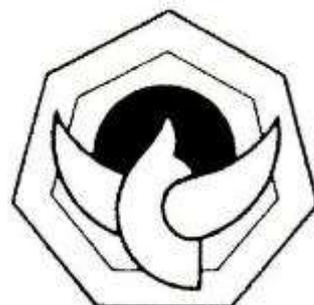
- ・学校や地域の歴史等に精通している方が年々高齢となり、ご協力いただくことが難しくなっている。地域人材の発掘や活用計画を進めること。
- ・PTAのOB・OG、卒業生等幅広い年齢層を確保していくこと。

## 5 コーディネーターより

日頃よりPTA・教職員・学校応援団ボランティア・おやじの会・地域の皆様方のご支援により、充実した教育活動が実践されている第七葛西小学校です。

コロナ禍の状況にやや落ち着きが見られてはきたものの、今年度も様々な活動が中止、縮小されました。その中においても、米作りや図書活動において学校応援団の活動を進められたことをうれしく思います。

今後も学校応援団ボランティア・地域の皆様と連携して、子どもたちの教育活動の一助になればと思っております。子どもが立派に成長していく姿を楽しみに、学校づくりに携わっていきたくと思います。



## 6 学校長より

学びがい、働きがい、通わせがいのある学校にするために、何よりも心強い味方が学校応援団の皆様方です。感染症対策をしながらの活動にはなりますが、子どもたちのためにご支援・ご協力をお願いいたします。

今後も、学校教育のさらなる充実のために、『協力・共働・共育』のもと連携を深めて参りたいと思います。

# 南葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西小学校長            鶴田 麗子  
コーディネーター        伊藤 雄文

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	113人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	週2～3回	16人
読み聞かせボランティア	月1回	20人
安全見守りボランティア	毎日	20人
学習支援ボランティア	不定期	31人
生け花ボランティア	月1～2回	1人
行事支援	不定期	25人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、活動に制限が多くありました。その中で、「おはなし届け隊」の皆様には月に1度の読み聞かせを実施していただきました。9月からは「図書ボランティア」の方々の活動を再開し、学校図書館の整備を行っていただきました。

今年度も登下校の見守りの方々ののおかげで、児童は大きな事故に遭うことなく、安全に登下校することができました。また、家庭科のミシンを使う学習でも見守りをして子どもたちの作品作りを支援していただきました。

富士公園の花を植えるボランティアに、5年生の子どもたちが参加しました。また、「葛西さざなみ会」のご協力で、田植え体験や稲刈り体験をすることができました。自分たちが地域の一員であることを自覚したり、もっと住みやすい地域にするためには何ができるかを考えたりするよい機会になりました。

「生け花ボランティア」の方には、月に1～2度、職員室前の廊下に季節のお花を活けていただきました。自然の移ろいや花の華麗さ、儂さに触れることができました。

### <課 題>

読み聞かせは、実施日に都合がつかない方もいて、月に一度、奇数学年と偶数学年に分けて実施する形となりました。今後も引き続き保護者会やお便りなどを通して、参加の協力を呼び掛けていきたいと考えています。

## 5 コーディネーターより

今年度もコロナ禍の中でしたが、そのような中でも多くの方に南葛西小学校学校応援団を支援していただきましてありがとうございました。

これまでも「おはなし届け隊」「図書ボランティア」「安全見守りボランティア」「学習支援ボランティア」の活動を軸として、すくすくスクール、地域と連携してまいりました。昨年度実施ができなかった、南小おたのしみ会は規模を縮小して実施することができました。地域と取り組む「南葛西町会盆踊り」は残念ながら実施することができませんでしたが、来年度は実施ができるような状況になっていることを願います。

これからも、学校応援団と学校が一致協力し、町会や自治会をはじめとして、地域とのかかわりを密にして取り組んでまいります。

## 6 学校長より

日頃より本校の学習活動、教育環境、健全育成において、保護者、PTA、町会、地域の皆様から多くのご支援をいただくことができ、心より感謝申し上げます。

今年度も新型コロナウイルスの影響のため、南葛西町会の方々ととの教育活動が実施できなかったことは大変残念です。そのような中でも、保護者、PTAの皆様の安全見守り活動や、図書ボランティア、おはなし届け隊、生け花ボランティアの方々の活動により子どもたちが安心して登校し、生活することができました。心より感謝申し上げます。

今後も、学校応援団の皆様のお力添えをいただきながら、「何でも挑戦、笑顔いっぱい南小」の子どもたちの育成に努めて、教育活動をさらに充実したものにしていきたいと考えております。

# 南葛西第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西第二小学校長 安田 真理  
コーディネーター 藤野 尚志

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	51人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	週1回(毎週金曜日)	15人
図書室整備	週1回(毎週木曜日)	6人
田植え	不定期	10人
登下校の見守り	週5回	10人
スクバンお手伝い	活動期間月曜から金曜(水曜除く)	10名



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

コロナ禍の中、様々な活動が制限されましたが、本校においては、できる範囲での活動を行ってきました。1学期には、地域の方々の協力の下、5年生が5月に田植え、9月に稲刈りを行うことができました。児童が田んぼの中に素足を入れ、苗の植え方や田んぼの歩き方等を教わりました。

また、図書ボランティアにおいては、緊急事態宣言、蔓延防止等の期間においては、活動を停止していただきましたが、10月より募集を行い、図書室整備、読み聞かせをお願いすることができました。読み聞かせについては、ボランティアの方の読み聞かせを録画し、金曜日の読書の時間に流すといった今までにない取組を行いました。新しい取組を通して活動を継続することができています。

### <課 題>

学校応援団の方々は、学校に来て活動したいがコロナが心配でどうなんだろうといった不安が頭をよぎるそうです。そうした中での活動となり、状況を常に気にしながら従来の活動に制限が入るのは仕方がないことかと思えます。それでも、たくさんの方のお力が学校に寄せられています。学校としてもどうすればそうした思いを形にできるかを模索し、吟味し、少しでも多くの時間、地域の方の触れ合える場面を設定できたらと思っています。感染防止の観点を忘れず、地域とのかかわりを深め、活動を続けていけたらと考えます。

## 5 コーディネーターより

日頃より本校児童を温かく見守ってくださり、厚く御礼申し上げます。

今年も昨年に引き続きコロナ禍によりいろいろな経験の機会が損なわれる中、本校児童はおかげさまでハツラツと過ごしております。PTAとしても、児童の経験や楽しい思い出の創出ができるよういろいろな画策はしておりますが、感染症拡大防止を第一としておりますので、なかなか思うように活動できておりません。

この状況が落ち着きましたら、すぐにでも活動できるよう検討をしているところでございます。保護者の皆様をはじめ、本校を応援いただいている皆様のご協力が大きな力になりますので、引き続き本校児童を応援いただきますよう、お願い申し上げます。

## 6 学校長より

コロナ禍の中にあっても、昨年度はストップしていた活動が少しずつ再開でき、感謝しています。○学校近くの田んぼで田植えや稲刈りが体験できたことは、本校の特色ある教育活動の一つともいえ、地域の皆様のご協力あつてのことでした。

○読み聞かせボランティアの取り組みは、ipadなどICT機器を活用して録画をとり、校内放送での読み聞かせにしたことで、かかわってくださる方の負担軽減や朝読書以外での読書タイムでの活用などを図ることができました。コロナ禍後にも活かせる方法かと思えます。

○学校近くの横断歩道に14年間、朝登校の見守りをしてくださっている方がいます。

○緊急事態宣言明けから、スクールバンドの活動も始まりましたが、感染対策として使用教室の消毒などにご協力いただき、教員の業務負担を軽減していただきました。

# 南葛西第三小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西第三小学校長      宮脇 隆  
コーディネーター      森 友希

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	468人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館整備	図書館の本の修理・書架の整備等 児童への読み聞かせ (毎月1回程度)	6
登下校見守り	通学路での登下校安全見守り・横断歩 道での旗振り	415
安全教室（自転車）補助	自転車の安全な乗り方の指導支援	15
行事支援	学校公開時の受付・会場設営	17
生活科・総合的な学習の 時間支援	校外学習時の往復時の安全確保等	15



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・今年度も引き続きコロナ対応のため、授業及び行事の公開に制約をかけることになった。しかしながら、PTAを主体とする学校ボランティアの方々の協力を得て、スムーズに実施することができた。また、図書ボランティアによる読み聞かせを行うことができなかったが、東葛西図書館の方と協力して、読み聞かせ講習を行うなど、昨年度のブランクを徐々に埋めるような活動ができた。月1回のペースで本の整理を行ったり、各学期末に図書館の集中整備を行ったりすることは継続して行うことができた。
- ・本校の地域の特色を生かした葛西臨海公園をフィールドワークする「葛西臨海探検隊」や、「カヌー・スラロームセンター見学会」にボランティアとして往復時の児童の安全確保に協力くださり、児童・保護者共に実りある時間を設定することができた。
- ・持久走記録会では、器具の設置や安全確保など学校と協力して開催することができた。
- ・地域の熟年者の方々から下校時の安全見守りの協力を得ることができた。安全見守りのみにとどまらず、地域の方々と児童との交流が生まれている。

### <課 題>

- ・昨年度に比べ、実施できる内容が増えた。今年度、実施したノウハウを記録に残し、次年度へ確実に引き継ぐことが大切である。
- ・活動内容によっては、ボランティアをしていただける方の確保が難しいときがある。
- ・人とのつながりが、単発で終わってしまわないよう人材の確保については、人材リストを作成したり、人材バンクや地域の専門学校等と連携をしたりして、安定化を図る。

## 5 コーディネーターより

今年度は、新型コロナウイルスの影響を引きずりつつも、徐々に学校教育活動が拡大することができたと思います。しかしながら、学校職員は、さぞ大変だったことでしょう。子供たちと保護者の安全・安心を第1に考え、学校ボランティア・PTAと連携して実施できることを検討し、教育の充実のため、縮小したとはいえ、活動できたことを嬉しく思います。

ふるさと江戸川・葛西への愛着を深める一環として行った「葛西臨海探検隊」の活動では、水辺の生物の調査を支援してくださりました。また、今夏は「オリンピック・パラリンピック観戦」を実施できませんでしたが、11月の末には「カヌー・スラロームセンター見学会」の引率にも協力させていただきました。また、合唱を除いた「音楽会」や「持久走記録会」では、PTA本部役員や運営委員を中心に多くのボランティアが準備や片付けを手伝っていただきました。地域の高齢者クラブ「日の出クラブ」の皆さんによる下校見守りも進めることができました。今後も、地域や保護者の方々にさらに働きかけて、さまざまな専門分野の方に協力していただき、児童と地域の方々のつながりがたくさんできるようにしていきたいと思います。

## 6 学校長より

昨年度と比べ感染症対策を講じながら実施できることをPTA、地域の方々と今年度は行った。コロナ以前と同様にはできないが、本年度は実施可能な取組を学校や近隣校とも相談しながら実施してきた。今後も子供たちの安全・安心を第一に考えて取り組めるサポートを引き続きお願いしたい。

# 西葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西葛西小学校長            鈴木    陽一  
コーディネーター        北見    達朗

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	210人
	学生ボランティア	人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書整備ボランティア	毎週火曜日	10
ビオトープ管理	毎週水曜日	4
うさぎの世話	長期休み期間	10

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度は、図書整備ボランティアを毎週の活動に増やした。昨年度TRCの方や図書館司書の方に図書館環境を整備していただいたことにより、よりよい環境を維持して行こう、という応援団の気概を感じることができた。毎週 10 人前後の方によって本の修理や整備、ポスター作製等の活動を行っており、児童らの読書環境が年間を通じて整っていた。

ビオトープの管理は、例年通り行っていただいた。四季を感じられる昆虫や動植物が常に生息していることにより、単純に自然を感じるだけでなく生命に対する価値や尊さについて学ぶことができた。

老朽化していたウサギ小屋を解体し、新しいウサギ小屋とウサギが遊べるスペースを増設した。これまで、長期休みのウサギの世話は家庭でお願いをしていたが、環境の整備により学校で世話をお願いすることができた。

### <課 題>

長引くコロナの影響により、本校の学校応援団の大きな活動である「鳥の巣箱づくり」が実践できていない。地域の人と触れ合うことに意味がある応援団の活動も、子供と一緒にできることが少ないのは、残念で仕方がない。コロナ対策の面で応援団の活用を考えていけるとよかった。

## 5 コーディネーターより

コロナの影響により、学校に訪れることもままならない状況が続いています。子供たちのために、できることは行っていきたいと思いますが、3 密を避けるとなると、どうしても敷地内に大勢の大人が入ることに躊躇してしまいました。それでも、学校図書館の整備は回数を増やし、精力的に活動できたのではないかと考えています。今後も学校生活の環境の変化を受け入れ、間接的にでも子供たちのために活動できることを願っています。

## 6 学校長より

新型コロナウイルスの感染が懸念される中、子供、保護者、地域、教職員の笑顔があふれ、安全・安心で心の行き届いた学校づくりを進める上で、学校応援団の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

様々な制限が強られる中、学校応援団の皆様には多方面にわたりご協力いただきました。さらに西葛西小学校の教育活動を充実させるため、ご協力よろしく願いいたします。

# 新田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

新田小学校長 大石 吉郎  
コーディネーター 座間 久美子

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	約60人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全見守り支援	各学期の始め	20人
学習支援	今年度は実施できず。	10人
環境整備支援	不定期	10人
学校地域行事支援	今年度は実施できず	20人



環境整備で畑を整備していただき、学校の学習環境の支援やすくすくすくスクールの活動支援を行っています。

## 4 今年度の成果と今後の課題

### <成果>

- 環境整備の中の学校農園部門では、学級園の整備やすすくスクールとの連携を図り、「お野菜クラブ」として活動を行っている。主に収穫等で、すすくスクールの児童が参加している。今年度は新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、自然とふれあい、収穫する喜びを実感することができた。
- 今年度は、小松菜農家である小原農園の方に来校いただき、小松菜の育て方について、講義いただいた。

### <課題>

- 今年度、学校応援団のボランティア活動のうち、校庭や外で行う行事は感染対策を講じ、活動方法を見直して実施できたものもあるが、校内で行う読み聞かせや学習支援等は実施を見送った。実践を伴う引継ぎができていない。そのため、書面の引継ぎをしっかりとしながらも、新しい形での実施を検討していく。
- 活動内容について、今年度は特に活動自体が少なく、保護者や地域の方に周知できていないことも課題である。ホームページや学校だよりなどを活用して、広報活動にも力をいれていく。

## 5 代表より

新田小学校学校応援団は、今まで子供たちのために行ってきたいろいろな活動をより計画的に組織的に行うものです。今年度は、校庭や畑で行う活動については、一部再開できたものの、新型コロナウイルス感染防止対策のため、まだ実施できない活動があり残念でした。しかし、それまでは、すすくサポートセンターや保護者・地域の皆様、PTA、お父さん会、新田町会、公社新田住宅自治会の皆様のご協力で、充実した活動が継続的に行われていました。少しずつ活動の再開ができていますので、「私は、子供たちのために、こんな協力ができます。こんなお手伝いができます」という方は活動ができるようになったら、進んで参加していただきたいと思っています。これからも、「たくさんの皆様で見守り、たくさんの手で助け合い、よりよい学校づくりをお手伝いしていきましょう。」と呼びかけていきます。

## 6 学校長より

本校は、今までも応援団の方々には授業でのゲストティーチャーや読み聞かせボランティアなど保護者・地域の皆様から様々な教育活動に支援をしていただいていた。子供たちのために、保護者・地域の皆様、PTA、お父さん会、新田町会、新田住宅自治会の皆様の熱心な協力と支援があつてこそ新田小学校学校応援団です。今年度再開できた活動もありますが、残念ながら実施できなかった活動は今後検討するとし、これからもよろしく願いいたします。

# 宇喜田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

宇喜田小学校長 池田 朋光  
コーディネーター 大内 喜代二

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	47人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館環境整備	週1回(毎週金曜日) (今年は新型コロナウイルス感染症予防対応で 11月より再開実施)	13人
図書選定	月1回 (今年は新型コロナウイルス感染症予防対応で 6月より実施)	20人
登下校の安全見守り	週5回	7人
花壇・三段池環境整備	不定期 (今年は新型コロナウイルス感染症予防対応で 募集せず)	7人
行事支援	不定期 (今年は新型コロナウイルス感染症予防対応で 募集せず)	0人

学校図書館整備



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・毎月、用務主事が学校だよりを届ける際にいっしょにその月の下校時刻も配布し、下校の安全見守りの応援団の方々にご協力をいただいた。今年度も、登下校時の安全をやさしく見守っていただいた。あいさつや声かけなど交流を進めながら、地域を愛する児童を今後も育成していく。
- ・学校図書館整備の応援団の方々には、6月より葛西図書館での選書、11月より学校図書館環境整備の活動を再開していただいた。朝読書の時間に読む本を選択する機会が増え、毎月の団体貸し出しを子供たちも楽しみにしている。読み聞かせは、今年度も実施しなかった。
- ・環境整備の応援団の方々には、新型コロナウイルス感染症予防のため例年行っているジャガイモ掘りやサツマイモ・小松菜栽培についての支援をお願いしなかった。学校が休みの日に草取りなどをおこなっていただき、栽培活動を行う上で助かった。

### <課 題>

- ・昨年度から新型コロナウイルス感染症予防のためお願いできないものが多い。学校の人員も変化しているので、例年行っていた活動を維持できるように活動内容や連絡先などを記録し、引き継げるようにする。

## 5 コーディネーターより

新型コロナウイルス感染症予防のため昨年度から例年のような活動ができなかったことは残念でした。状況が変わりましたら、子供たちのために少しでも協力して行きたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

お忙しい中、また、新型コロナウイルス感染症が心配される中、宇喜田小学校の子供たちのためにご支援いただきありがとうございます。少しずつではありますが、図書関係のボランティアなどを再開することができました。見守り応援団の方には、登下校時などの見守りに心より感謝しております。例年のような活動がまだ十分に行えていませんが、新型コロナウイルス感染症が落ち着きましたら、無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。

# 清新第一小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

清新第一小学校長 石橋 悟  
コーディネーター 浦田 佳代子

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	75人
--------------	----------	-----

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	実施見合わせ	2
登校時見守り	不定期	2
ラクロス	実施見合わせ	1
どうぶつしょうぎ	実施見合わせ	2
土曜日の工作教室	実施見合わせ	2
影絵（PTAと協力）	実施見合わせ	16
盆踊りレッスン	実施見合わせ	10
夏休み工作教室（PTAと協力）	実施見合わせ	12
わくわく広場（PTAと協力）	実施見合わせ	20
フラダンス	実施見合わせ	3
PC教室	実施見合わせ	2
親子の絵手紙教室	実施見合わせ	1
日本舞踊教室	実施見合わせ	1
夏休みラジオ教室	実施見合わせ	1
花壇の整備	年1回	3



例年の活動風景  
(令和3年度は実施見合わせ  
となりました)



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

活発なPTAボランティア活動が卒業後のOB・OGにつながっていくスムーズなボランティアシステムです。例年、コーディネーターを中心に学校応援団の輪が広がり、現在は70名以上が登録をし、子供たちのために様々な企画を実施しています。しかし、今年度は昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、児童の安全・安心を最優先に考え、外部との長時間の接触となる応援団の活動は見合わせるようになりました。ただし、児童の登校時の見守り活動や花壇の整備については、実施することができました。

### <課 題>

児童数が1000人を超え、区内で一番多い学校であり、ここ数年はその状況は変わりません。通学路にある大きな交差点は、ほとんどの児童が通過します。そのため登校時の見守りも続けていきたいところではありますが、人手不足は否めません。今後も新しく応援団に参加していただき、継続した活動につなげていきたいと思えます。新型コロナウイルス感染症の収束した時に備え、卒業生の保護者向けにお知らせとして「学校応援団協力をお願い」を配布していきます。

## 5 コーディネーターより

PTA本部と応援団の連携が大変よく、お互いできるところを上手に支え合っております。相変わらずのコロナ禍ではありますが、登校時警備だけは、都合のつくメンバーが交差点に立ち、子供たちの見守りを続けてくれました。来年度には万全の対策を講じながら、また受け入れ側の学校とも相談しながら、少しずつ活動が再開できるように準備を始めたいと思えます。これからも、活動ができなかった数年の間に状況が変化したことも勘定し、さらにより良い方向性を目指していきます。

## 6 学校長より

本校は、PTAボランティア制度が大変充実しています。そして、PTAボランティアがそのまま学校応援団という形になって本校の学校応援団はスタートしました。そして、そのPTAボランティアの方々が卒業して、OB・OGとなり、地域の方となって、学校応援団に参加してくださる形もできてまいりました。

昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、例年通りの多くの活動が実施を見合わせる事となり、たいへん残念に思います。しかし、その中でも児童の登校を見守る活動や花壇の整備など陰日向なく応援いただき、ありがとうございます。来年度の活動再開を期待しつつ、その準備を継続してくれている多くの学校応援団の皆様へ感謝いたします。

# 清新ふたば小学校 学校応援団 実践報告書



## 1 校長及びコーディネーター氏名

清新ふたば小学校長 清澤 好美  
コーディネーター 宮本 道子

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	40人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読書応援団 おはなしクローバー	毎週金曜日	30人
読書応援団 こびとの本屋さん	毎週第一火曜日（活動なし）	
学習応援団	不定期（活動なし）	
友達プロジェクト	不定期	10人
環境整備隊	不定期（活動なし）	

### 主な活動内容（今年度は活動なし）

- ・ 読書応援団（おはなしクローバー）  
本の読み聞かせ、学期に1～2回程度のスペシャル企画を行う。
- ・ 読書応援団（こびとの本屋さん）  
SSSと連携し、学校図書館等の掲示等を工夫するなど3の環境整備を季節ごとに行う。
- ・ 学習応援団  
保護者に家庭科のミシンを扱う学習などのサポートを行う。
- ・ 環境整備隊  
学校敷地内の環境整備活動を主事や飼育栽培委員会の子供たちと一緒にやる。
- ・ 学習応援団  
保護者に家庭科のミシンを扱う学習などのサポートを行う。
- ・ 友達プロジェクト  
外国籍の保護者が安心して子供を学校へ送り出せるために交流を行う。

※学校応援団本部会議を定期的に行い、今年度の方針等を精査し、共通理解を図る。

おはなしくローバー 読み聞かせ動画



花壇の環境整備



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

新型コロナ感染症予防のために、外部の方を校内に入れることが難しかったため、ほとんどの活動ができなかった。そんな中、年度初めに友達プロジェクトとして、外国籍の保護者に対して、提出書類の書き方等について交流を行った。活動が制限される中でも内容の工夫をし、活動ができた。本の読み聞かせについても、今後の感染状況を鑑み活動を続けていきたい。

### <課 題>

今年度は、社会情勢により、学校行事も地域行事もなく、限られた活動しかできなかった。来年度は、これまでに課題として挙げられていた、広報活動についても取り組み、更に活動が充実させていけるようにする。卒業生や学生ボランティア及び地域の人材を積極的に導入し、活動の幅を広げることができるようにする。

## 5 コーディネーターより

開校6年目を迎え、活動も徐々に広がってきたところではあったが、新型コロナウイルス感染予防のために、活動に制限がかかってしまった。校舎内での活動はほぼできず、友達プロジェクト等、密を回避しながら活動を行った。来年度は、これまでも課題となっていた、各グループの活動の年間計画をつくり、時間を設定するなど誰でも参加しやすい体制を構築していくなど、少しでも清新ふたば小学校の教育活動の支援ができればと思います。

## 6 学校長より

開校6年目となる清新ふたば小学校。教育活動も日に日に充実してまいりました。これも、開校より、子供たちのためにご尽力していただいております、学校応援団団長・副団長を始め、各代表の方々そして多くのふたば小応援団の方々の支えがあってこそです。本当にありがとうございます。

今年度も新型コロナウイルス感染予防のために、活動が制限されてしまいました。そんな中でも学校応援団の皆様の声かけが大きな力になりました。今後も学校応援団の皆様のお力をお借りしながら、教育活動を推進してまいります。皆様の活動がますます充実していき、その輪が広がっていきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

# 臨海小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

臨海小学校長            西澤 盛和  
コーディネーター        高原 賢一

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	20人
	学生ボランティア	5人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月1回	20人
図書館整備	月2回	10人
登下校見守り	週5日	多数
安全教室	年1回	多数
環境整備	不定期	10人
挨拶運動	不定期	10人
校外学習の同行	不定期	10人



登下校の見守り



読み聞かせ

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・読み聞かせが定着してきた。読み聞かせで使用した本を児童自身が読んだり、自分で好きな本を探したりなど、読書に対する意欲は高まってきた。
- ・図書館整備で定期的に大人の手が入り、使いやすい図書室が保たれている。また、月ごとに季節のイベントが分かるような飾り付けをしている。
- ・児童の登下校時の安全確保のため、PTA とともに地域のボランティアが登下校の見守りをしている。

### <課 題>

- ・呼びかけてはいるが、学校応援団の保護者が児童の卒業とともに減っている。
- ・ボランティアに参加できる人員確保が難しい。学校応援団という組織の周知について、より一層考える必要がある。
- ・ボランティアに対する意識のハードルを下げ、誰にでも気軽にすることができる環境づくりを考える必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症予防の関係で、例年できていた活動が廃止又は縮小している。コロナで制限されている状況下で、継続できる活動を考えることがなかなか難しい。

## 5 コーディネーターより

令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防の関係で、多くの諸活動が中止に追い込まれた。令和3年度も、緊急事態宣言やまん延防止措置の関係で、多くの諸活動が中止になった。緊急事態宣言が解除されてからは、少しずつ活動ができるようになったが、以前のように諸活動はできなかった。新型コロナウイルス感染症対策をしながら、PTA の諸活動や学校教育をどのように進めていったらよいのか、迷いながら進めているが、来年度も PTA と学校応援団との連携を密にしつつ、頑張っていきたいと考えています。

## 6 学校長より

児童の登下校時の見守りや校外学習の同行等、児童の安全のためにご協力いただき、また、児童が安心して学習できる環境づくりにもご配慮いただき、ありがとうございます。学校応援団の方々を始め、日頃から学校の教育活動のために様々な支援をしてくださっている保護者・地域の皆様に改めて感謝いたします。

今年度も、昨年度同様、新型コロナウイルスで様々な制限がある関係で、なかなか活動ができませんでした。この状況下でどのような活動ができるか考え、学校応援団コーディネーターのご支援をいただきながら、臨海小学校のために、頑張っていこうと考えております。

# 東葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

東葛西小学校長            吉丸 清昭  
コーディネーター        徳廣 誠

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	15人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
環境整備（校庭の芝刈り）	不定期	30人
環境整備（屋上の花壇）	不定期	30人
カヌーの洗浄等	不定期	20人

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

○本校では、数年前より校庭の安全対策の観点から芝生を移植している。毎年少しずつその芝生の範囲を広げ、東門近くのピオトープのある自然環境から、遊具や鉄棒の下に敷き詰めクッション効果をもたらしている。芝生の整備は学校としては行き届かない部分なので、夏季休業日から秋にかけて、定期的に少人数単位による芝刈りと芝植えを実施した。

また、春、夏、秋にかけて屋上にある既に使用しなくなって数年経つ花壇の撤去作業を実施し、土嚢に土等の残骸を詰めて屋上にまとめた。次年度から実施予定の屋上防水工事へ大きな助けとなった。

### <課 題>

○今年度は新型コロナウイルス予防のための緊急事態宣言により、外部関係者の来校やPTAやおやじの会主催の行事が全て中止となった。

そのため、一昨年より続いていた図書ボランティアは中止せざるをえなかった。また、PTAやおやじの会主催の親子キャンプ等の児童と保護者、地域交流のイベントは全くできなかった。

## 5 コーディネーターより

これまで同様に東葛西小学校の教育目標である「やさしい子、やりぬく子、元気な子」に則し、これを支えるべく我々は学校応援団として活動していきたいと思っています。

学校応援団はPTA、おやじの会、図書ボランティアなど直接学校に関係している組織だけでなく、近隣の企業、町会や自治会、公共団体などにも協力を得て成り立っています。活動形態も団体による特色を生かして、一年を通していろいろな場面で「学校と地域を愛する子どもたち」を育てるために活動を目指しています。今年度は、新型コロナウイルス予防のための緊急事態宣言により、多くの人が同時に集まるような目立った活動はできませんでした。昨年度同様にできることを考え、環境整備を協力し合い継続して実施することで、学校設備に役立てたことが成果であると思っています。

今後も社会や学校の状況を鑑みつつ、継続する活動に工夫・改善を加え、できることを模索していきます。これからも子どもたちの小学校生活の楽しい思い出や体験の機会をつくることで、生きる力や豊かな心を育てていけるよう努力していきます。

## 6 学校長より

本校は平成14年に開校した新設校ですが、次年度に20周年を迎えます。学校応援団の方々には、経営方針である「心を一つにして」をスローガンに、学校・地域・保護者が一体となって、子どもたちの健やかな成長のため様々な活動をしていただいています。

今年度は、緊急事態宣言が長引き、感染症予防の観点から活動の制限に加えてこれまで同様に外部の方の来校を極力ご遠慮いただきました。学校公開の中止や運動会等の学校行事の内容縮小に伴い、参観者の交代制などをせざるを得なく、PTAやおやじの会主催の行事が全て中止となりました。そのような中でも、できることを継続して環境整備をしていただき感謝しております。屋上は今年度春から太陽光発電システムが復活し、次年度に屋上防水を実施する上で、使用しなくなった屋上庭園の始末は大きな助けとなりました。中にはボランティアとして父親と参加していた卒業生もいて、成人後も「こころのふるさと 東葛西小学校」と母校や地域への参画をしていただきたいと思います。

今後も、一層の学校応援団の方々と協働やより良い連携を通して、地域と結びつき、共に学び、共に育つ教育活動を行いたいと考えております。

# 瑞江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

瑞江小学校長 望月 早苗  
コーディネーター 花輪 牧子

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	83人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
旗振り(朝の交通安全見守り)	登校時の安全見守り	15
下校時安全見守り	すくすくスクール下校時の安全見守り	10
花ボランティア	校内畑・花壇の整備、畑での学習支援	11
読み聞かせ	朝学習時、全学級での本の読み聞かせ	(23)
図書室整備	本の修理や書架の整頓、図書室の整備	(12)
学習支援	個別の支援が必要な児童への学習補助	2
瑞小まつり	模擬店(焼きそば)の出店	
豆まき大会	冬の風物詩、 伝統行事「豆まき」の体験	(12)
ネオホッケー	青少年育成委員会行事に参加	



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 学校応援団が瑞江小学校に正式に発足して以来、多くの方々のお力添えやご協力により、順調に進めることができました。
- 畑や花壇の管理を担当する花ボランティアは、主に畑の整備・管理を行っています。児童の学習用に植えた作物の管理のほか、季節に合わせた花や野菜の整備を行いました。植え付けや収穫の際には作物に関する話や作業の仕方の説明などを行い、学習支援においても活躍しました。瑞江の園ではコキア（ほうき草）を育て、収穫してほうきを作りました。さらに、藤棚の剪定も行い、より多くの花が咲くよう整備しています。
- 運動会や芸術的行事、学校公開での安全管理や交通整理、朝の交通安全旗振り活動など、児童が安心して学習できるよう全保護者で取り組んでいます。
- 「読み聞かせ」は、読み聞かせした本を毎回ノートに記録し、読書科担当教諭と情報共有をしています。また、「図書館整備」は、実際の図書館と同様の分類にするとともに、児童が図書に親しみやすく使いやすいよう整備しています。さらに、学年ごとにお勧めの本を選んで定期的に学級ごとに配布し、教室で読めるよう工夫しています。各学級担任ともノートを共有し、情報交換を行っています。
- 町会を中心とした地域の皆様には、朝のあいさつなど見守り隊として児童の安全確保、健全育成に協力していただいています。見守り隊をはじめ、花ボランティアを中心に、小松菜畑見学、各種事業所見学等にも、朝会・地域の方々の協力をいただいています。今後も、これらの活動をますます充実させていきたいと考えています。

### <課 題>

- 「読み聞かせ」活動は、OB・OGの方の協力なしにはできない状況です。今年度は5名のOGの方々がご協力くださっていました。また、「見守り隊」についても、西瑞江三丁目朝会の参加者が減少傾向のため今井町会へも参加者の募集を行ってくださっています。新しく学校応援団ボランティアになってくださる方が少ないところが課題です。
- 花ボランティアは継続して活動していくことができるようリーダーの設定と、安定した連絡手段の確保をしていく必要があります。

## 5 コーディネーターより

- 登校時の旗振りやあいさつ運動、すすくすくスクールの下校時の安全見守りの活動を通して、子どもたちの安心安全な学校生活を支えることができました。
- 有志のお父さんで構成したグループ「ダディーズ」の中には、OBの方もいらっしゃいます。参加メンバーが明確になっていないので取りまとめをしてくださっているお父さんと相談し、名簿を作成していきます。OBの方も安心して活動いただけるよう保険加入を進めていきます。
- 花ボランティアでは、地域の方を中心に子どもたちの学習の場である畑や花壇の整備をしていただきました。継続して活動いただけるよう町会とも連携し、計画を立てていきます。

## 6 学校長より

今年度は100周年記念式典・祝賀会がありました。花ボランティアの皆さんが南門を入った正面が華やかになるようにと整備を行っていただきました。教員や児童だけでは管理しきれず育ちの悪かった作物が生き生きと生長するようになり、収穫の際には目を輝かせて話を聞く児童の姿が見られました。本校の特色のひとつ、すすくすくスクールからの下校時見守りをはじめ、朝のあいさつ、ほうき草（コキア）の栽培やほうきの製作など数えればきりがなほどの協力をいただき、子どもたちの健全育成に力を注いでいただいています。本校を愛する熱い思いに、感謝しかありません。学校応援団の皆さんの思いにも応えられるよう、学校も日々の教育活動に努めてまいります。

# 春江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

春江小学校長 井上こずえ

学校応援団長 芦田 孝二      コーディネーター 佐藤 恵美子

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	130人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読書活動支援	月4回(毎月隔週 水・金曜日)	35人
学習活動支援	学期に5回程度(必要に応じて)	20人
安全安心支援	毎朝の登校時	40人
栽培活動支援	不定期(必要に応じて)	15人
漢字検定支援	年1回検定会場運営・学習資料提供	20人



読書活動支援 環境整備



学校図書館 本の分類・整理

## 4 今年度の成果と課題

### 今年度の成果と今後の課題

#### <成果>

- ・制限がだいぶ緩和されたため、読書活動支援（読み聞かせ・校内環境整備）や学校農園整備、登下校時の見守り支援などの活動を計画的に進めることができた。
- ・活動支援ごとにリーダーが中心となって積極的な活動を行うことができた。また学校連絡メールを用いて活動について保護者に周知することができた。
- ・活動内容については学校ホームページに掲載するなどして情報発信を行った。「できる時にできる人が、できることを」を合い言葉に、見える活動、積極的な活動を心がけた。
- ・予算を有効に活用し、学校農園整備や学校図書館整備の作業を進めることができた。
- ・活動の様子を保護者に参観していただくことで、支援参加者の増加につなげることができた。

#### <課題>

- ・コロナウイルス感染症対策のため、時期によって制限があったため、通常の活動ができないことがあった。
- ・支援に積極的に参加してくださる方や各リーダーが固定化の傾向があり、経験のない方にも気軽に支援に参加していただけるような情報の発信、活動時間の設定など見直しを図っていく。

## 5 応援団長より 芦田 孝二

「だれでも参加できる応援団」をめざして、全ての地域の方・保護者にも分かりやすい活動を目指して取り組んできました。

「できる時にできる人が、できることを。安全で元気で楽しい学校生活を子供たちのために」の精神は確実に春江小学校の学校応援団のポリシーとして根付いてきました。

今年度も、コロナウイルス感染症への対策からスポーツ支援や学習支援などが実施できませんでしたが、読書支援や学校農園整備、漢字検定実施など、できる範囲の中で活動を進めてきました。

今後の状況を鑑みながら、更に春江小学校学校応援団が充実していけるよう心掛けていきます。

## 6 学校長より 井上こずえ

学校応援団の皆様には、1年を通じてたくさんお力添えをいただき、深く感謝しております。本当にありがとうございます。今年度も、コロナウイルス感染症対策により活動が限られましたが、登下校時の見守り、読み聞かせ、校内掲示等、皆様のおかげで子供たちの学校生活が安全で楽しく豊かなものになりました。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

# 新堀小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

新堀小学校長 黒澤 義和  
コーディネーター 笠井 雅世

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	80人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全見守り隊	不定期(毎日)	8人
校外学習の安全の見守り	校外学習時に要請	40人
マラソン大会 安全見守り	年1回	20人
周年行事 学習発表会 運動会行事ボランティア	年3回	20人
読み語りボランティア	年3回	20人
学校図書館整備ボランティア	月2回	15人
ふれあいガーデン作り手伝い	年1回	2人
さつきのさし芽指導	年1回	4人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度も昨年度同様、コロナ禍により、様々な活動を制限しないといけない状況であった。しかしながら、できる範囲で運動会や校外学習、周年行事、学習発表会といった学校行事を実施した。大変な状況ではあったが、安全対策を十分に考え、快くボランティアを引き受けてくださった方々のおかげで滞りなく実施することができた。

周年行事では、お客様を迎えるにあたり、花いっぱいでお迎えしたいという思いのもと、環境委員会の児童とたくさんの花を植えることができた。また、「学校に来てお手伝いはできないけれど、お祝いの気持ちを持ってきました。」と言って、今まで花植えのボランティアに参加していた方が、家で寄せ植えを作って持ってきてくださるなど、今できる形でボランティアを行ってくださった。

39年継続してきた「さつきのさし芽」の指導も、その歴史を途絶えさせることなく40年目を迎えることができた。

コロナ禍ではあったが、地域の方々のご協力と様々な工夫をすることで少しずつ子供たちの活動を取り戻せたのは成果であった。

しかし、地域との行事においては中止せざる得ない状況が多く、避難所開設訓練や学校応援団としての大きな活動であった「もちつきフェスティバル～防災を考えよう～」が実施できなかったのは残念であった。

### <課 題>

コロナ禍の中、できるようになった活動とそうでない活動があった。全く同じように活動をしていくのではなく、子供たちの育成のために何が必要か再考し、新しい学校応援団の取組を考えなければいけない。

## 5 コーディネーターより

今年度はコロナ禍ではありましたが、40周年をお祝いするために学校を花でいっぱいにすることができました。今まで継続してきた「ふれあいガーデン作り」の取組が子供たちの中に根付いていて、こうした状況でも引き継がれたことは嬉しいことでした。しかしながら学校応援団の大きな活動の一つであった「もちつきフェスティバル～防災を考えよう～」は、昨年度に引き続き実施することができませんでした。防災意識を高めることは、とても大切なことなので、必要に応じて形を変えてでも実施していきたいと思っています。

## 6 学校長より

長引くコロナ禍により、感染状況を見ながら活動を工夫しての実施となった。特に、これまで継続してきた「ふれあいガーデン作り」が、開校40周年をお祝いし感謝する気持ちを表す活動として充実して行えたことは、よかったことである。今後は、東京オリンピック・パラリンピックアワード校として行った子供たちの意識調査から明らかになった課題、「高齢者・障害者理解」、「ボランティアマインド育成」の解決に学校応援団活動を活用していきたい。

# 下鎌田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下鎌田小学校長            奥村 孝史  
 コーディネーター        宇佐美 慎一

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	44人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全な土作り隊	理科・生活科の栽培サポート (毎週水曜日を中心に適宜)	5人
子供に本読ませ隊	図書室整備及び図書整理 (月2回程度)	12人
子供に本読ませ隊	読み聞かせ活動(年間6回程度)	12人
チームパパ	運動会・スポーツテストの補助	20人
交通安全見守り隊	登下校の見守り(毎日)	7人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・コロナ対策のため保護者の来校は控えていただいたが、学校ボランティア活動は再開したことにより、在校生の親の参加が高まった。特に、スポーツテストでは、チームパパに協力を要請しチームパパの会員登録者が増えた。多くのチームパパの活躍で、スポーツテストを計画通りに終了することができた。
- ・「読み聞かせ活動」も再開し、児童の読書に親しむ機会が増えた。また、コロナ対策のため児童の清掃活動を中止している中で定期的に図書室の環境整備をしていただいている。子供たちは、よりよい環境と季節感のある装飾の中で、読書活動を楽しむことができている。
- ・「安全な土作り隊」は、参加者の少ない中で生活科、理科のサブ教材の栽培活動を行い、豊かな実りを体験しながら学習を深めることができた。
- ・「交通安全見守り隊」の方が要所要所に立ち登下校の見守りをいただいているので、子供たちは、交通事故や不審者に遭遇することなく安心安全に登下校ができている。さらに、登校班に遅れた児童には付き添い、学校まで送り届けてくださるので、不登校や登校を渋る児童がいない。

### <課 題>

- ・コロナ対策のために保護者が来校できないため、保護者が「学校応援団」の活動を目にする機会がなく、どのボランティアも新たに参加する方がなく、固定化していることが大きな課題である。裾野を広げ、活動できるメンバーを増やしていくことが子供たちへの大きな支援となるので、呼びかけや告知を工夫していきたい。
- ・令和5年度の統合に向けて、新設校での「学校応援団」の在り方を双方の応援団員で検討が必要である。

## 5 コーディネーターより

・私も本校PTA会長をしていたころ、チームパパの活動の中心メンバーとして携わっておりました。今年はコロナ対策で制約のある活動ではあるものの、学校をこれまで以上にサポートできました。統合のため、来年度で一端活動が終了します。新設校でも、学校応援団による活動の輪が広がっていくことを願っています。

## 6 学校長より

・今年度も様々な取り組みにおいて学校応援団の力をお借りすることができ、児童の教育活動に大きく貢献していただきました。年々、協力していただく方が固定されていくように感じていますが、今年度は「チームパパ」に登録するお父さんが増え学校行事に協力いただいたことは、今後の発展に期待が持てます。応援団と学校が互いにプラスとなるような活動を目指し、コーディネーターを中心に、情報を共有しながら次年度も取り組みを進めていきます。

# 下鎌田東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下鎌田東小学校長 松塚 智加子  
コーディネーター 棚橋 義隆

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	269人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
クリーンボランティア	週2回	104人
図書整備ボランティア	月1回	8人
学校行事支援	不定期	133人
お父さんの会(行事支援)	不定期	10人
一人一鉢菊づくり支援 (5年生)	不定期	14人

### ◇活動の様子から



[一人一鉢菊づくり]



[クリーンボランティア]



[学校行事支援]

- ・本校の特色ある教育活動を理解いただき、協力を得て取り組んでいます。
- ・不定期な取組もありますが、何年も継続して協力を得ています。

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、様々な活動に制約がありましたが、今年度は、本校の開校50周年にあたるため、周年記念行事に合わせて5年生が一人一鉢の菊づくりに取り組みました。菊づくりがうまくいくように、鉢上げから、水やり、輪台づくり、そして、周年式典での菊観賞の準備まで、菊ボランティアの方々にご協力をいただきました。その結果、周年式典当日は、立派に育った菊を披露し、来賓の方々に菊を観賞していただくことができました。
- PTA役員をはじめ、クリーンボランティアの方々の協力により各教室の消毒をしっかりとできました。子供たちが、健康で安全・安心な学校生活を送ることができました。
- 図書ボランティアの方々が、学校図書館スーパーバイザーと共に丁寧に図書整備を行ってくださり、図書館がさらに活用しやすくなりました。

### <課 題>

- ボランティアの方が固定化する傾向にあります。また、活動内容によっては、ボランティアをしていただける方の確保が難しいこともあるので、より多くの方に関わっていただけるように働きかけていきます。
- 菊づくりでは、半年以上継続した支援が必要なので、菊づくりボランティアの方々に負担をかけている面もあります。改善に取り組んでいますが、さらに活動時期や時間についても改善が必要です。

## 5 コーディネーターより

- 本校は、地域からの大きな力添えをいただきながら、地域とともに歩んできております。町会や地域の各施設の方々、PTA役員、お父さんの会、菊づくりボランティアなど、様々な組織が学校の教育活動を支援しています。今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校や地域での活動など様々な活動に制約がありましたが、その中でも知恵をしぼり、できることには積極的に取り組んでまいりました。今後も、状況をみながら課題の解決を図り、学校、PTA、地域が連携して、子供たちのためにできることに取り組んでまいります。多くの皆様のご支援をよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

- いつも本校の子供たちのために、お力添えをいただき感謝申し上げます。町会や地域の施設の方々をはじめ、PTA役員、お父さんの会、菊づくりやクリーンボランティアなど、実に多くの皆様に教育活動を支援していただいております。本年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校応援団の活動が縮小されたところもございましたが、その中でも年間を通して本校の教育活動を様々に支えていただきました。おかげさまで、子供たちは、明るくたくましく育っております。今後も皆様のお力をお借りしながら、学校の教育活動をより一層充実させてまいります。引き続き、ご支援とご協力をよろしく願いいたします。

# 下鎌田西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及び学校応援団長氏名

下鎌田西小学校長 小野塚 良朋  
 学校応援団長 石田 裕

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

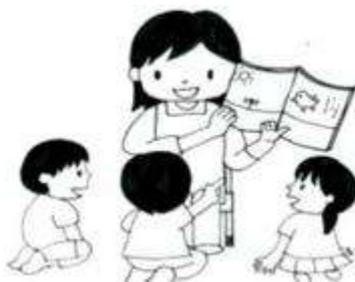
学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	28人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

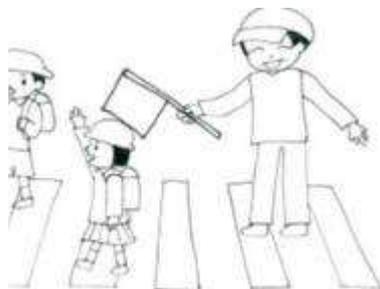
応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月2回（本年度のみ休止中）	12人
図書整備	週1回（本年度のみ月1回）	13人
図書室装飾	週1回（本年度のみ月1回）	12人
ガーデニング	週1回	14人
樹木プレート作り	週1回（本年度のみ休止中）	4人
安全見守り	毎日	8人

※それぞれの活動を兼ねて登録されている方もいますので、上記のボランティア数になっています。

### 《図書》



### 《安全》



### 《ガーデニング》



## 4 今年度の成果と課題

### ＜成 果＞

- ・(図書)月2回の読み聞かせ(本年度休止)、週1回(本年度月1回程度)の図書整備や装飾活動を継続的に行っている。区の読み聞かせ講座を利用したり、東部図書館との交流や情報交換の場を設けたりして活動の改善を図っている。今年度も購入希望の図書を挙げて先生方と協力し、選書に携った。図書の廃棄作業等も実施した。
- ・(栽培)今年度も充実した花壇整備活動を中心に、学校の環境整備に貢献することができた。水やり花、球根の植え付けは栽培委員会の子ども達が主となり一緒に行った。(共同作業は本年度中止)除草作業、植え替えはメンバーで協力して行った。樹木プレート製作活動では、作品はみずえの森公園や校庭の樹木プレートとして地域、学校を彩っている。(本年度中止)
- ・(安全)地域の区画整理に伴い自動車の交通量が増えたが、今年も地域の方を中心に、登校時の安全見守りを継続することができた。天候にかかわらず、児童の安全を見守ることができた。

### ＜課 題＞

- ・(図書)今年度はコロナ禍により読み聞かせを行うことができなかった。児童と直接かわることが難しい状況の中で、できることを見極めながら進めていきたい。今後も学校との連携と引き継ぎ、参加メンバーの確保を進めていきたい。
- ・(栽培)花壇の活動も、樹木プレート製作の活動も参加人数が少ない。人員を確保していきたい。
- ・(安全)校舎前の道路が相互通行となった影響で車の交通量が増えた。今後も学校の方針、通学路の状況に応じて対応できる体制を整えたい。

## 5 学校応援団長より

学校・家庭・地域が三位一体となって、子どもと共に学び育む「共育」を推進し、子どもと共に生きていく思いを大切に運営してきました。これまでの学校応援団をより充実させるために、図書・栽培・安全の3部門を設けて連携を図りました。ただ今年度もコロナ禍が続いているため、以前までのような読み聞かせ活動、栽培活動が制限されています。安全活動は学校・家庭・地域と協力しながら無理のない範囲内で子どもたちの安全見守り活動を継続して行っています。

来年度に向けて、実績を踏まえて一から「できるときに、できるひとが、できることを」の精神で各活動のサポートをしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

今年度も、世界的なコロナ禍の中、学校応援団の皆様には学校運営について最大限のお手伝いをいただきました。

毎日、登校時の児童の安全の見守り、学校図書館の整備、児童と連携しての育苗や花壇の整備など、制限も多い中でしたが、いつも子どもたちのことを考えて前向きに活動してくださった応援団の皆様へ、感謝の気持ちは尽きません。

今後も、応援団の方々と協力しながら、西っ子たちが伸び伸びと学校生活を送れるよう教育活動を進めてまいります。

# 江戸川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川小学校長 鈴木 薫  
 コーディネーター 三田 栄一郎

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	24人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館整備ボランティア	図書館整備・充実（第1・第3木曜日）	11人
読み聞かせボランティア	児童向けの読み聞かせ（月2～3日）	7人
下校見守り支援	下校時の児童の安全確認、指導（毎日）	2人
学習支援	ミシンの使い方の指導補助（不定期）	2人
藤棚整備	藤棚の剪定（年2回）	1人
学校施設の修繕・充実	学校施設の修繕、什器・備品の制作、樹木の剪定、（週2～3日）	1人



学校図書館整備ボランティア



読み聞かせボランティア



オンデマンドグループ



下校見守り隊



藤棚剪定



学校施設の修繕・充実

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・学校の取組だけで安全な登下校を実現することは難しい現状があります。その中で、特に下校中の見守り隊の方々が活動を続けてこられたのは、学校と家庭、地域の三者の連携によるものです。本校が掲げる「地域と共に」を実現するつながりを感じます。
- ・昨年度からの学校図書館整備ボランティアに加え、5年ぶりに読み聞かせボランティアを募集し、3学期からの活動再開を実現しました。感染症対策を徹底しながら、ボランティアの方々が生き生きと楽しそうに取り組まれている姿は、私たち教職員の励みになるだけでなく、子どもたちの学びと笑顔をもたらしてくださっています。

### <課 題>

- ・コロナ禍による影響の他、年々児童数が減少していく中において、これまでの活動を継続することが困難になってきています。そのため、安定的に人材の確保をしていくことが最大の課題といえます。
- ・今年度も、できる限り学校ホームページに学校応援団（本校では江戸小サポーターズクラブと称しています。）の活動や取組を紹介しました。今後は、保護者の方々はもとより、地域からも幅広くサポーターを増やしていきたいと考えています。

## 5 コーディネーターより

「江戸小サポーターズクラブ (ESC)」と名称を改めて、2年目の活動となりました。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が続き、感染防止策が求められる中での活動となりました学校図書館整備ボランティアでは、学校と協力・連携した活動を進められました。三学期から始まった読み聞かせボランティアの取組も順調に進んでいます。これからも、子どもたちがより良い環境で過ごせる学校をつくっていききたいと思えます。

結びに、学校応援団の取組について、ご理解とご支援を賜りました皆様方に心より感謝申し上げます。

## 6 学校長より

本校は、令和元年より「江戸川区立江戸川小学校グランドデザイン」に基づいた計画のもと、教育活動を推進しています。児童にとって職員自身が最大の教育環境であることは言うまでもありませんが、児童が学習意欲を高められる環境を整えることも大切な視点であると考えます。

江戸小サポーターズクラブは、学校と学校の教育活動を支援される皆様方が協働で取り組む事業です。関係者の皆様方の貴重な時間を本校の教育活動を支えていただくことに深く感謝しています。これまでの取組を生かしつつ、児童の学習環境を整える取組として何が必要なのかを、サポーターズクラブの皆様方と連携・協働して推進していきたいと思えます。

# 一之江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

一之江小学校長 伊藤 秀一  
コーディネーター 牧島 孝行

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	50人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
本よみ隊！	月2回	15人
登下校見守り	週5回	全保護者
ゲストティーチャー	不定期	5人程度
図書室整備	全6回	20人
吹奏楽部交流	今年度は実施なし	
書初め練習	年1回	10人

## 4 今年度の成果と課題

### <成果>

「本よみ隊！」

#### 1学期

- 読み聞かせ動画の撮影  
「ろくろくびのおかあさん」  
「さんまいのおふだ」  
「まないたにりょうりをあげないこと」  
「教室はまちがうところだ」  
など

募集で集まったお父さんお母さんも合流し作成しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、1学期は教室での読み聞かせができないため、作成した動画ファイルを共有フォルダに入れ、朝の読書・読書活動の時間に各教室で活用しました。

- 掲示物作成

「トリックアートの本」「夏の虫の本」を紹介しました。



## 2 学期

○緊急事態宣言が明けたことにより、読み聞かせを再開

1 0 月 読み聞かせ再開

全校を3回に分け、実施。(本よみ隊!のみ)

1 1 月 読み聞かせ

読み手さんボランティアを募集

連絡調整し

下学年・上学年に分けて実施

1 2 月 読み聞かせ

読み手さんボランティアを募集

連絡調整し

下学年・上学年に分けて実施

1, 2月についても計画中

(感染症の状況を見つつ、変更有)

○掲示物の作成

・詩の掲示

十二支の紹介

などにより、いろいろな言葉、芸術に触れる機会をたくさん作ってくれています。

「図書室整備(本の分類を中心に)」

○ボランティアを募集し、図書館スーパーバイザーと連携して、定期的に行いました。

使いやすい、本に親しみやすい、環境をみんなで作りました。それぞれの案などで改良をしてくださって、児童も図書室を喜んで使っていました。

○図書の分類・シールの貼り替え

「登下校見守り」

○毎日たくさんの保護者様が来てくださり、児童の安全が確保されました。

「書初め練習」

○すくすくスクールの時間に講師の先生を中心にサポートセンター・保護者の方にも参加いただき、子供たちが、熱心に取り組みました。

## <課 題>

今年度は、読み聞かせも図書室整備もお手伝いを呼びかけ、賛同を得て、初めて参加した方もあった。参加後の感想は、「楽しかった」と、役立つことを喜んでくださる言葉が、たくさんいただけた。しかし、人材の確保は何年も続いている大きな課題である。卒業生OBが多数活動してくださっている一方で、現在、お子さんが在学中の保護者の方のさらなる参加を促進していくことが、今後の学校応援団の充実につながる。

「いつでも、できるときに、できる人で」のボランティアとして、活動に協力できる方を募り、気軽に学校応援団に参加してもらえよう、今後も工夫が必要である。

## 5 コーディネーターより

今年度は、感染症予防対策をとりながら、学校応援団の活動も少しずつ、以前の活気を取り戻した1年でした。子供たちの笑顔を大切に、学校応援団としてできることをこれからも考え、コミュニケーション力を高めるためにお役に立てばうれしく存じます。健全な子供たちの成長をめざし、地域の学校としての一之江小学校を支えていくことに力を尽くしていきます。

## 6 学校長より

学校応援団の皆様の温かいご支援により、子供たちの成長が見守られ、心豊かに育っていることに感謝申し上げます。皆様それぞれの思いと努力が子供たちの大きな支えとなっていることも確かです。今後も学校応援団の皆様のお力をお借りして、さらに地域に誇れるよりよい学校づくりに励んでまいります。



# 一之江第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

一之江第二小学校長 木野 治喜  
コーディネーター 溝口 泰志



## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	100人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
金魚会 (子供活動応援団) すくすくスクール	(コロナのため、活動見合わせ)	
ぐりぐら会(環境応援団)	毎月の整備 ・図書整備 本の分類・整理、修復等の実施 ・図書室の装飾、特設コーナーの設置	15人
いち・にの・くれよん♪ (読書活動応援団)	読み聞かせ 11月より毎月1回	25人
見守り隊 (安全・安心応援団)	登下校時の安全の見守り 週5回	28人



学校図書館の季節装飾（12月）

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・引き続きコロナ禍により、例年行われている活動が制限されてしまった。特に、金魚会（子供活動応援団）の行事は、感染症拡大防止の観点により全く行うことができなかった。
- ・昨年同様、学校図書館の整備は、活動制限の影響を受けにくく、計画的・定期的に環境整備を進めることができ、児童が図書館を利用するにあたり、有意義に機能していたと言える。
- ・緊急事態宣言の解除により、読み聞かせは11月より再開できたため、児童は大喜びである。読書活動の活性化の一端を担うことができた。

### <課 題>

- ・予算の運用について、次年度へ繰り越すことができれば、より有意義な使い方ができるという声がある。

## 5 コーディネーターより

学校応援団は、学校と地域、そして保護者が協力して子供たちにとってよりよい環境づくりを推進するということを大切に、運営してきました。しかし、引き続きコロナ禍において安全を最優先し、感染症拡大防止の観点により、本事業を全面実施することは困難な令和3年度でした。これからも子供たちのために保護者や地域と協力して、二小応援団の活動内容を可能な形で、充実したものにしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

学校応援団の取組は、学校を応援してくださる皆様のご理解とご支援のもと、コロナ禍において実施可能な範囲で、展開されています。地域安全「見守り隊」の皆様による児童下校時の見守り、「いち・にの・くれよん♪」の皆様による読み聞かせ、「ぐりぐら会」の皆様による図書室整備等、活動できるスタイルを工夫しながら、活動して頂いています。今後も「人の和」を大切にしながら「笑顔あふれる一之江第二小学校」を目指してまいります。

# 鹿本小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鹿本小学校長 太巻 美青  
コーディネーター 飯沼 倭雄

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	75人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
<b>☆ 学習ボランティア ☆</b>		
会議室の整理・整頓	10月 1回	3名
他の活動については新型コロナウイルス感染症予防のため行わず		
<b>☆ 図書ボランティア（おはなしバンビの会） ☆</b>		
読み語り〈全学級にて〉 図書館《本の整理、環境（装飾）づくり》	10月から（隔週） 10月から（不定期）	6名
<b>☆ おやじの会 ☆</b>		
ドッジビー大会（全学年）	11月13日（土）	17名
他の活動については新型コロナウイルス感染症予防のため行わず		
<b>☆ 子供見守り隊 ☆</b>		
登下校時、通学路での児童の見守り	週 5回	14名
他の活動については新型コロナウイルス感染症予防のため行わず		

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

#### [学習ボランティア]

- ・今年度も新型コロナウイルス感染症予防対策のため実質的な活動は行えなかった。
- ・ボランティア活動を行う際に、会議室を利用しているため、活動が再開した時のことを考え、室内の整理や整頓を行った。

#### [図書ボランティア（おはなしバンビの会）]

- ・新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が解除されたため、10月から活動が行えるようになった。
- ・児童の読み聞かせは、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、教室での活動は行わず、ICT機器を利用し校内放送で行った。

#### [おやじの会]

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策のために、様々な学校の行事が無くなってしまったため、おやじの会が思い出作りのために、各学年対おやじの会でドッジボール大会を11月に行った。児童からは、「またやりたい。」等の言葉が多く聞かれた。

#### [子供見守り隊]

- ・集団登校が新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から今年度も行われなかったが、児童の安全のために、地域に立っていただき安全を見守っていただいた。

### <課 題>

- ・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言は解除されたものの、ボランティアさんにはご高齢の方も多くいらっしゃるために、未だ学校への登校を控えているため、ほとんど活動が行えていない。状況が改善されていけば、今後活動を再開していきたい。

## 5 コーディネーターより

コーディネーター 飯 沼 倭 雄

今年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策のために、学校に出向くことができず学習ボランティアの活動は全くできなかった。活動ができないことでメンバーの気力が無くなることの心配や、現在の1、2年生は学習ボランティアとの関わりが無いことから、再開した際に上手に関われるかが心配である。

## 6 学校長より

校 長 太 卷 美 青

本校は多くのボランティアの方に助けられ教育活動を行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症のために多くの活動ができず、とても残念に思っています。その中で、新型コロナウイルス感染症の状況が良くなると、学校に連絡をいただき、「活動できますか。」と尋ねていただけることにとっても感謝しております。今後も、ボランティアの方のお力をお借りし、地域に根ざした学校づくりを行っていきたく思っております。

# 鹿骨小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鹿骨小学校長 高橋 徹  
コーディネーター 進藤 康之



## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	57人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
放課後オンライン教室	週1回	2人
見守りボランティア	週1回	2人
花と緑のボランティア	年3回	15人程度
学習の支援(校外学習等)	不定期	20人程度
英会話教室ボランティア	月2回	8人
漢検・数検・英検ボランティア	年3回	10人程度
運動会やマラソン大会での安全確保等	年2回	20人程度

放課後オンライン教室



漢字検定



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- 2年度から、本校のパソコンルームで「放課後オンライン学習」を始めた。そこで、児童たちは江戸川区が推奨している「eライブラリアドバンス」の学習問題に取り組んでいる。3年度は、各自、学習タブレットを配布されたので一人一人が家庭で取組可能ではある。しかし、児童の様子を見ていると「友達と一緒に学習することが楽しい」と感じているようである。開催回数は週1回に削減したが、相変わらず放課後オンライン学習は盛況である。見守りボランティアの方にも学習を見守っていただいたことで、学習の場を確保し、家庭学習の定着度向上のきっかけにもなっている。
- 本年度は、緊急事態宣言を受けての臨時休校で行うことができなかったが、花と緑のボランティアは、年2回、季節ごとに花の植え替えを行っている。
- 学習支援として、交通安全教室や社会科地域探検等で、児童の安全確保や引率補助をしていただいた。教員が児童への指導に専念でき、より効果的な指導ができた。
- 1月実施のマラソン大会は、土手で開催するため、予告は主管課に許可を得て開催する。また、数日前から大会開催の予告を土手に掲示した上で開催するが、当日は、一般歩行者・自転車との事故防止や、児童の安全確保、準備や片付けをしていただいた。おかげで、晴天の下、安全かつ円滑に実施することができた。
- 漢検・数検・英検（低学年）では、監督補助者や監督者として活動していただいた。ボランティアとして関わっていただいたことで、より多くの学習の機会を児童に与えることができた。「学力保障」を標榜する本校にとって、なくてはならない存在となっている。
- 低学年を対象にした「放課後英会話教室」は、参加児童の保護者達が主体的に運営するようになった。指導内容も地域の英会話スクール講師の指導を仰ぎながら、運営保護者間で相談して決め、参加児童に指導している。参加児童の保護者が運営することで、わが子等の学習に関心をもち高めるとともに、下校時等の安全を確保することができている。

### < 課 題 >

- 現在、屋上にある「庭園」が放置され、雑草がたくさん生い茂っている。この庭園を「菜園」として活用し、ボランティアの「ガーデンマスター」として地域や保護者から募集し、主体的に運営されるようにすることが課題となっている。幸い、小松菜農家の方が、顧問となることを快諾され、地域の数名に声を掛けている。今後の発展が楽しみである。このことをきっかけに、学校と地域との理解・協力体制が、より一層深まることを期待している。

## 5 コーディネーター（学校応援団長）より

- 在校児童の保護者を中心にボランティアへの参加を積極的に募っているが、思ったよりなかなか集まらない。「応援団員になるとこれからいろいろなことに参加しなくてはいけなくなる」などの気持ちがあるのか、壁は高いようである。義務のようなものではなく、「できるときにできることだけ」でよいことをこれからも発信していくとともに、学校とも連絡を密にして、気軽に参加できるボランティア環境を構築していきたい。

## 6 学校長より

- 本校の教育目標は「自立と貢献」です。児童には、本校での学校教育の中で地域の方々との関わりを深め、ゆくゆくは自らの地域の魅力を高める人材となることを切望しています。そのためには、学校へ魅力的な地域人材を受け入れ、児童にその活躍を伝えていくことが重要と考えています。今後も、学校応援団の方々とともに、魅力ある学校・地域づくりを進めて参ります。

# 鹿骨東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及び学校応援団代表氏名

学校長 中田 伸代  
 代表 小谷 勝彦

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	74人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全安心・学校見守り隊	週5回	21
読書活動(図書整備) 図書ボランティア	週1回(毎週木曜日)	12
読書活動(読み語り) 図書ボランティア	月1回(毎週火曜日)	
グリーンボランティア	不定期	7
環境整備(おやじの会)	不定期	34



### 《おやじの会 環境整備》

毎年、雨が続くようになる前の時期に、おやじの会の皆さんが大勢集まってくださり、側溝に溜まった泥の掃除を行ってくださいます。

集まった泥は、2トラック2台ほどになる事もあります。



### 《グリーンボランティア 稲作》

稲作体験を5年生が行っています。グリーンボランティアの皆さんは、田植えから脱穀までお手伝いしてくださっています。



### 《ふるさと学習 江戸扇子作り》

一昨年度より始まった江戸扇子作り。今年度もお願いしました。

運動会で自分の作ったこの扇子で御神楽を舞います。



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・鹿骨東小学校「ふるさと学習」として各学年で、地域を学ぶ学習、地域の人から学ぶ学習を計画し、実践してきた。地域の人材を講師として、自然や伝統文化について体験を通して学ぶことができた。
- ・稲作の準備や取り入れた米の脱穀、地域での朝顔の栽培や手入れなど、グリーンボランティアの方が児童に分かりやすく話していただき、地域理解、ふるさと鹿骨を愛する気持ちを育てることができた。
- ・例年だと読み語りや図書室環境作りなど、ボランティア組織として保護者同士の協力体制がとれている。本年度は、新型コロナウイルスの影響により、図書室の環境作りを中心に行っていただいた。
- ・おやじの会には学校の側溝清掃や稲作のすずめ除けの網の設置など今年も支援していただいた。
- ・毎朝の登校の見守りをしてくださる地域の応援団が大変協力的である。今年から町会全体で見守ってくださる場所も開始された。挨拶についても指導、声掛けをしていただき、児童のあいさつの習慣作りができた。

### <課 題>

- ・保護者以外の応援団の方の高齢化が進んでいる。また、次世代の人材不足が課題としてあげられる。PTAを始め、地域の方々に広く呼び掛けて新たな人材確保に努めていきたい。
- ・ふるさと学習として学ぶ内容とそれにあった人材発掘を引き続きしていく。またこれまでの活動の記録や指導していただいたことの内容も、次の学年に引き継ぎをしていく。
- ・地域から学ぶことは、自分が地域で生きることにつながる。地域の方々との結びつきを大事にして、感謝して学べるようにしたい。

## 5 応援団代表より

平成三十一年度から学校応援団の代表を務めさせていただいています。最初はどのようにしていけばいいか分からなかったのですが、朝町角に立ち、一人一人の子供と顔を合わせ、笑顔であいさつする姿をみると嬉しくなりました。この気持ちは、どの見守り隊の仲間も同じ気持ちだと思います。また、学校からの要望を受け田植えや脱穀の手伝いなども行いました。子供たちのそばにいとこの成長を見ることができます。これからも鹿骨東小学校の子供たちが、心身ともに健やかに成長してくれるようお願い、学校、先生、子供たちを応援していきたいと思っています。このコロナ渦の中でも教師方々が創意工夫をなさって、子供たちの活躍する姿を私達や保護者に見せて頂きました。教師方々のご奮闘に敬意を表したいです。

## 6 学校長より

地域に在住している大勢の方が、学校教育に理解を示してくださり、「鹿骨東小学校ふるさと学習」や図書ボランティア・グリーンボランティア、毎日の登校の見守りなどで、ご尽力いただいています。

学校応援団の方が、学校の方針をよく理解してくださり、学校と一体となって子供たちを育てることができる信頼関係が築けていることは大変嬉しく思います。

現在は、新型コロナウイルスの拡大という未曾有の事態となっていますが、学校応援団の皆様は今までと変わらず学校の様々な教育活動に対してご協力いただいています。本校の児童がより充実した教育を受けられるのも学校応援団の皆様のお蔭と感謝しています。これからもそのお気持ちにこたえる意味も込めて、ふるさとを愛する児童を育てていきたいと思っています。よろしくお祈りします。

# 松本小学校 学校応援団 実践報告書

実のなる木活動



## 1 校長及びコーディネーター氏名

松本小学校長 高瀬 雄二  
 コーディネーター 二村 寿三

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	15人
--------------	----------	-----

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
グリーン ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校農園「みどりの園」や校庭果樹の管理 [通年]</li> <li>・学年ごとの果樹・作物の栽培、収穫の指導と補助 [通年、季節ごと]</li> <li>○みかん（1年）</li> <li>○さつまいも（2年）※学校農園(みどりの園)</li> <li>○小松菜（3年）</li> <li>○梨（4年）</li> <li>○稲、ミニ田んぼ作り（5年）</li> <li>○サクランボ、びわ、柿（6年）</li> <li>・校庭の芝生の管理[通年]</li> </ul>	7
「心のごはん」活動 ・図書ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学級での読み聞かせ [毎月1回]</li> <li>・学校図書館環境整備（書架整理、図書館飾りつけ）[毎月1回]</li> </ul>	6
安全・安心の見守り活動 朝の挨拶運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、当校時の安全見守り（通学路の交差点、横断歩道等で）</li> <li>・毎朝、正門・東門での登校時の安全見守り、挨拶の言葉かけ</li> </ul>	207 (全家庭の保護者と応援団)
花壇活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭花壇、プランター、バス通りの花壇の管理と補助 [不定期]</li> </ul>	2

さつまいもの収穫



花壇の整備



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 今年度も新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、活動に制限がある中、例年実施している実のなる木の受粉や摘果、稲（米）や小松菜の栽培では、学校応援団の方が主になり、たくさんの支援をいただいた。その結果、多くの実りを得ることができただけでなく、児童に貴重な体験活動をさせたり、自分たちで採った果実を給食で食べたりする体験もできた。
- 学校応援団の方々の継続的な「あいさつ運動」により、コロナ禍においても児童のあいさつに対する意識が高まるよう、毎日声を掛けていただいた。児童は代表委員会のあいさつ運動も、担当の教員と児童と一緒に取り組むことで、学校全体で児童が元気よくあいさつをする気風が高まった。

### <課 題>

- 例年は書架の整理や図書室の掲示物作りなどの読書環境を整えたり、心のごはん（読み聞かせ）活動を行ったりしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、前半は実施できなかった。2学期後半になり、コロナ禍が落ち着き実施できた。今後も継続できるよう学校も協力したい。
- 「心のごはん」活動などでは、子どもの卒業とともに抜けてしまうメンバーが多い。活動の見学の機会を作り、新たな募集を行うことで人数を増やし、卒業生の保護者も「応援団」として定着していく方法をより工夫していきたい。

## 5 コーディネーターより

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大予防の中、「松小の子どものために活動しよう」「できることから始めよう」「続けていこう」の三本柱をモットーにして、日々地道な活動を行ってきました。今年はさくらんぼの花壇の整備に取り組みました。「自分の子どもが卒業した学校に、再び関われるようになって、子どもたちのために何かできることがしたい。」「ずっとこの町に住んでいますが、学校のお役に立てることがあればと思い、活動に参加してみました。」などの話を聞くと、学校を通した《地域のつながり》という大きな役割を担っていることを私たち『学校応援団』は実感しています。

子どもたちから「ありがとう」と言われること、子どもたちの満面の笑みが、我々の次の活動への活力になります。今後も元気な松小の子どもたちのために、様々な人との関わり合いを大切にして活動していきます。今年度の活動へのたくさんのご支援・ご協力をありがとうございました。

## 6 学校長より

今年度も本校伝統の「実のなる木活動」や様々な活動を学校応援団の方々にご協力いただきました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大予防の中での活動となりましたが、予防に気を付けていただきながら、「実のなる木活動」の他にも、「朝のあいさつ運動」「農園や花壇の整備」などに、多くの方々のお力添えをいただき、ありがとうございました。

3年生では「小松菜の栽培」で種まきから収穫、4年生では「梨の栽培」で受粉から収穫、5年生では「稲の栽培」に取り組む際、ミニ田んぼを耕す・水の管理・田植え・収穫・精米等の支援、6年生ではさくらんぼの収穫等していただきました。また、学校の裏庭で収穫された果実を給食で喫食し、コロナ禍の中でも自然や環境、食の大切さを児童が実感できるよう、豊かな心を育てていただきました。

今後も、学校と家庭・地域の方々との「共育」「協働」を大事に、関わりを一層強くし、本校の教育活動の充実に努めてまいります。今年度も、子どもたちの健やかな成長のためにご尽力いただいた「松小学校応援団」の皆様方に、心より感謝申し上げます。

# 本一色小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

本一色小学校長      和田 敏郎  
コーディネーター    吉野 誠司

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	15人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月2回(隔週水曜日)	13人
図書館壁面装飾	月1回(第1木曜日)	8人
農園整備	今年度はコロナウイルス感染症の影響のため、活動中止。	1人



整備していただいた学校園



図書ボランティアによる図書館整備



図書館壁面装飾ボランティア作成の装飾



読み聞かせボランティアの活動

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響のなか、感染症対策を講じながら、活動を行った。
- ・月2回、水曜日の朝の時間に保護者の方が本の読み聞かせをしてくださっている。読み聞かせを通して子どもたちは本に親しみをもつようになっている。
- ・図書館装飾ボランティアの方々は、季節に合った装飾で、図書館を居心地のよい空間にしてくださっている。また、使いやすい図書館を目指し、図書の本の整理にも取り組んでくださった。そのため、図書館は活用しやすくなっている。
- ・地域の方から貸していただいている学校園での活動は実施できなかった。しかし、区が防草シートを張る工事を施工していただいたおかげで、除草や畝作りなどの作業は行わずに済んでいる。

### <課 題>

- ・学校応援団の取り組み活動内容を保護者や地域の方に周知しているがメンバーが集まりにくいことが課題である。学校便りやホームページ等で広くその活動内容を知らせ、関心をもってもらいたい。
- ・学校応援団メンバーを増やしていくために、参加しやすい組織作りや運営方法などを改めて考えていく。

## 5 コーディネーターより

今年度も地域の皆様、保護者の皆様にご協力いただき、学校応援団の活動が行われました。子供たちの健やかな成長を支えるため、感染症対策に取り組みながらの活動となりました。

今後は、多くの方に学校応援団の仕組みや活動について、協力していただくことが必要です。地域・保護者・学校が協力して関わっていくことが大切であると思っております。

今後も、PTA・学校と連携を深め、学校の活動に協力できるような充実した活動が展開できるようにしてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

今年度も昨年度に引き続き、感染症の影響が大きい年になってしまいました。それでも、学校応援団の皆様は、読み聞かせや学校図書館整備など、子供たちの健全育成のために活躍して下さいました。また、ゲストティーチャーや動画で授業に協力して頂いた方も多くいらっしゃいました。子供たちにとって地域や保護者の方との学習は、自分の生活に結びついた学習になるので、学習意欲の向上につながります。ご多用の中、今年度も本校の教育活動にご支援、ご協力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。

# 篠崎小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎小学校長 林田 篤志  
コーディネーター 佐々木 堂至

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	57人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	隔週火曜日	10人
図書整備ボランティア	不定期（月3回程度）	14人
農園栽培ボランティア	不定期	33人



図書室内の掲示の様子

読み聞かせの様子



サツマイモのつる切りの様子



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度は、コロナ禍だけでなく仮設校舎でのスタートとなった篠崎小学校であったが、「できることを少しずつ」をテーマに、ボランティアの方々と感染症対策を話し合いながら活動を進めることができた。

#### ○読み聞かせボランティア

感染症対策を講じながら、コロナの感染者数が少し落ち着きだした10月19日より再開した。ここまで10回行っているが、実物投影機を活用したり季節や行事に合わせた本を選択したりして読み聞かせを行ってくれることで、学年問わず集中して楽しんで本の世界を味わっている。ボランティアの方も楽しんでやってくれるので、それが子供たちにも伝わっており、身を乗り出して朝から聞き入っている児童がいるクラスも見受けられた。

#### ○図書整備ボランティア

8月31日より図書室の利用がない給食の時間に2～7名程度で集まって図書室の整備や図書室の飾りつけ等を行ってくださっている。長期休業明けには、消毒後全て片付けて整理したり、本の修繕をしたり、また日々の掃除まで行ってくださることで、日常的に児童が図書室を活用する機会も増えてきた。

○低学年の「サツマイモづくり」では、子供では大変時間もかかるつる切りを保護者に手伝ってもらった。片付けまでさっとやったださり、児童の活動が大変スムーズに進めることができた。

### <課 題>

#### ○読み聞かせボランティア

年度途中からの呼びかけであったため、ボランティア長がメンバーを集めることに苦労されていた。継続的にできることがある程度見えてくると、年度初めに募集をかけることが必要であると感じた。

#### ○図書整備ボランティア

毎日気持ちよく整備作業に取り組んでくださった。図書担当との打ち合わせの時間を調整・確認することが課題として残った。

## 5 コーディネーターより

いつもたくさんボランティアの方が協力してくださることで、篠崎小学校の児童は大変気持ちよく学校生活を送れているのではないのでしょうか。子供たちがこの篠崎小をもっと好きになってくれるよう、これからも活動をいろいろと工夫していければと思っています。学校、保護者、地域を少しでもつなげていけるきっかけになればうれしいです。

## 6 学校長より

今年もコロナ禍での様々な制約がかかる中ではありましたが、学校応援団ボランティアの皆様の協力のもと、少しずつですが活動を再開することができました。子供たちの健全育成のためには、学校だけでなく、地域・保護者とのかかわりが大変重要であります。

引き続き、学校を応援してくださる皆様のご支援とご協力をお願いするとともに、子供たちのために「篠小応援団」の充実を目指していきます。

# 篠崎第二小学校 学校応援団 実践報告書



## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第二小学校長 中村 隆之      コーディネーター 佐々木 仁

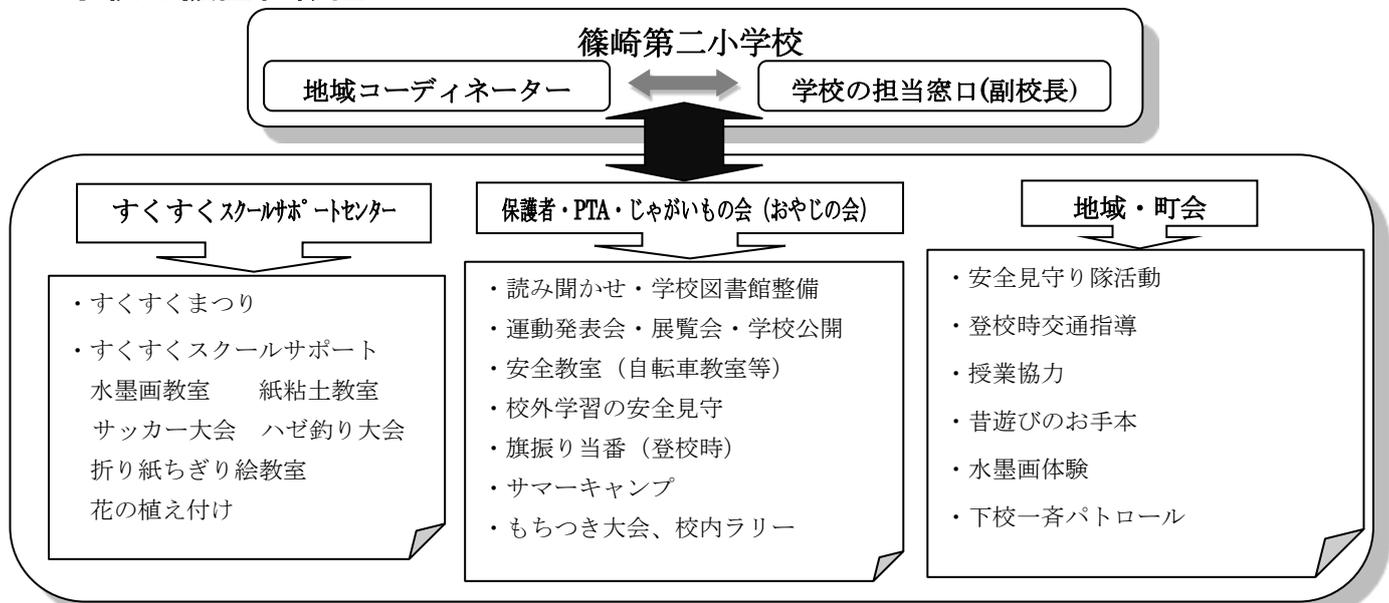
## 2 ボランティア登録数（令和4年1月現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	64人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動内容

応援団の名称	活動内容
旗振り	○登校時の安全を見守る。(毎朝) 25人
登下校パトロール	○通学路で登下校の安全を見守る。 8人(一斉下校パトロール時)
安全教室	○自転車教室等でのお手伝い。 10人程度
校外学習の引率補助	○校外学習を実施する際の安全支援 随時募集(今年度はなし)
学校行事の際のパトロール	○会場及び周辺の安全確認パトロール 随時募集(今年度はなし)
学校行事の際の受付対応	○学校公開、運動発表会等の受付 10人程度
町たんけん支援	○判別行動の付き添い 随時募集(今年度はなし)
*令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため以下の活動はありませんでした。	
昔遊びお手本	○昔遊びの支援をして、一緒に楽しむ。 随時募集
ミシン学習支援	○安全を見守り技術指導の支援をする。 4人
調理実習支援	○安全を見守り技術指導の支援をする。 5人
図工学習支援	○安全を見守り技術指導の支援をする。 随時募集
小松菜栽培支援	○小松菜栽培の指導や体験の支援 3人
水墨画指導	○総合的な学習での水墨画の指導 1名
図書館整備	○本の修理や本の整頓を行う。 随時募集
読み聞かせ	○学級に入って本の読み聞かせをする。 8人

## 4 学校応援団組織図



## 5 今年度の成果と今後の課題

### <成果>

令和3年度も、緊急事態宣言が長く続き、新型コロナウイルス対応のなか、「学校応援団」としての活動はほとんど出来ませんでした。しかしながら、昨年に引き続き毎朝の登下校時の旗振りと登下校時のパトロールは継続していただきました。校内でのコロナ対策も PTA やおやじの会などからのご協力をいただき、消毒等の徹底はより進み、そのような対策のもと、今年度は運動発表会、学校公開、展覧会等の発表を行うことができ、保護者受付や誘導などもご協力をいただき、スムーズな運営ができました。「読み聞かせ活動」も緊急事態宣言が終わり、コロナの感染状況が小康状態になった 12 月に『健康観察カードの提出、マスク着用、座席移動なし』などの対策のもとで、また ICT など活用しながら各学級で「読み聞かせ」を行うことができました。様子を見ながら 2 月にも行う予定です。



ちぎり絵

水墨画



読み聞かせ

### <課題>

開校当時から続く「応援団」の魂が受け継がれ、現在、「篠崎第二小学校学校応援団」として教育活動のサポートをいただいています。今年度も、新型コロナウイルス対応のため中断されている活動が多々あります。来年度には感染症との折り合いを見ながら地域の皆様のお力をお借りしできることを考え、学校応援団の活動を充実させていくことが課題です。また登下校の見守りや読み聞かせ活動、学校行事へのご協力などは引き続き応援団の皆様にお力をお借りさせていただきます。

## 6 コーディネーターより

地域には篠崎第二小学校の卒業生の方も多くお住まいになっています。社会人となり母校のために何か協力ができないかと思っっている方は多いと思います。コーディネーターとしてそのような方々の「気持ち」と学校からの「要望」をつなぎ合わせて、篠崎第二小学校が地域の学校として、地域の子供たちのための教育がより一層充実することを目指していきたいと考えています。

## 7 学校長より

本年度も、新型コロナウイルス感染症対策、緊急事態宣言のために、過去に培ってきた様々な場面での活動や実績を見送らざるを得ませんでした。しかし、これからも状況を見ながら子供たちの安全と学びの向上のために、保護者、地域の方々に支えていただけたらと願っています。そしてこの活動が「地域ふるさと」を知る『教材』となるよう、つながりを大切にして活動していけるように考えていけたらと思っています。今後とも、子供たちが健やかに育つ学びの場としての学校を応援団の方々と一緒につくっていきたくと考えています。

# 篠崎第三小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第三小学校長 佐藤 敬一  
 コーディネーター 関口 晃

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	40人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館整備・読み聞かせ ・ウエズレーの会	毎週木曜日	30人
学校行事・PTA活動支援・ サンクラブ	不定期	15人
安全・安心見守り隊	毎日の登下校時	3人
学習支援	不定期	8人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 学校応援団の方々が毎日登下校を見守り、児童が安全に登下校できた。
- 書き初め大会で学習支援を行い、大会が円滑に進行できた。
- 定期的に本の読み聞かせやお話会を行い、読書活動が充実し、児童が本を好きになった。
- 定期的に本の修理や、本の整理を行い、学校図書館がきれいになり使いやすくなった。
- 連絡メールを活用することによって、学校応援団を活用する時の連絡が円滑になった。

### <課 題>

- 感染症防止対策のために、様々な学校行事の開催形態が変わったことで、学校応援団の方々による支援の機会が減少したので、今後できることを検討し、実践していく。
- 学校応援団の活動を児童や保護者に今以上に周知するために、活動の紹介などの啓発活動を行っていく。
- 学校応援団と教員との打ち合わせ時間を確保し、より充実した活動となるようにする。

## 5 コーディネーターより

学校応援団コーディネーター 関口 晃

新型コロナウイルス感染症防止対策により、学校行事等が制限され、学校応援団としての活動も十分にできなかったことが残念でした。しかしながら、児童の登下校見守りや読み聞かせ等の読書活動、各種行事や開校50周年記念行事での支援活動ができたことが大きな成果となりました。

感染症を心配しないで済む状況であれば、授業支援や行事支援等の活動を通して、篠崎第三小学校の子供たちと関わる機会をもち、先生方とも交流することができたのですが、子供たちの安全・安心を第一と考え、活動を制限してきました。

また、毎年新1年生の保護者の方にも応援団登録していただいております、継続して応援団の活動をすることができます。しかし、多くの方に登録いただけていない状況もあります。今後も多くの会員の方をお迎えできるよう学校応援団として情報交換を密にしていく考えです。

今後も、学校応援団の一員として積極的に関わっていきたいと思いますので、メンバーの皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

毎年たくさんの方のお力をお借りして学校の教育活動を進められていることに感謝申し上げます。

今年度は、昨年度に比べ、実施できる学校行事も増えてきました。今年度、本校は開校50周年の記念すべき年にあたり、制限の残る中でしたが、子供たちとともに記念行事、記念式典を行うことができました。このような大きな行事を成功させるためには、学校応援団の方々をはじめ、PTA、地域の皆様のお力がなくてはならないということを改めて実感しました。様々な場面でご支援をいただいたおかげで、記憶に残る素晴らしい年にすることができました。

子供は、「地域の宝」と言われます。子供たちは誰からも愛され、たくさんの地域の方々にかわいがっていただいていることを、とても有難く思います。子供たちにも自分たちの周りで力を貸して下さっている方がたくさんいることを伝えていきます。今後も学校応援団の方々、地域の皆様に助けていただきながら、子供たちを健やかに育ててまいります。引き続き、本校の教育活動にご支援、ご協力をお願いいたします。

# 篠崎第四小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第四小学校長 国分 靖  
コーディネーター 風間 春彦

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	40人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書整備	月4回（毎週火曜日）	21人
読み聞かせ	不定期	16人
登下校見守り	月1回	40人
防災部	不定期	3人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・校長の学校経営方針に基づき、ボランティア組織（ブックマム・おはなし隊・防災部）と連携をとり、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、学校応援団の活動を継続させることができた。
- ・図書室の整備では、本に親しむ環境を整え、読書好きな児童を育てる手助けをしている。また、録画による読み聞かせを行うことができた。
- ・町会と連携し、避難所開設についても共に考え、準備を進めることができています。
- ・登下校の安全についても、地域と連携をとり見守ることができた。
- ・花の苗植えなど、学校環境美化についても協力できた。

### <課 題>

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年のような活動をする事難しかった。今後、活動を続けるために新たな取り組み方を考えていく必要がある。
- ・学校応援団の活動を、あまり知らない保護者の方が、いまだ少なくないのでHPなどで発信し、地域みんなで児童のためにより学校を創っていくよう努力を続ける。
- ・登校見守りについて、人数を増やしていけるとよいので今後も啓発、アピールを続けていきたい。
- ・今後も「共育・協働」をさらに進め、本校児童の心豊かな「育ち」と確かな「学び」のために地域の資源・人材をより積極的に活用していく。

## 5 コーディネーターより

篠崎第四小学校は、学校・保護者・地域が一体となり、全校児童が、安全で安心して楽しく学校生活を送れるように取り組んでいます。「学校応援団」の活動とその継続にあたり、その活動を少しでもお手伝いができるものと考え、本年度も活動を推進してきました。

今後も、応援団のスローガンにある「できるときに、できる人が、できることを」を合言葉に、保護者と地域の方の協力のもと、様々な学校への支援活動をしていきたいと思っております。

## 6 学校長より

篠崎第四小学校は、全校児童が安全で安心して楽しく学校生活を送れるように、保護者・地域のお力添えを得て、活動に取り組んでいます。既存団体をはじめ、ボランティアの方々の協力で、子供たちのために良い環境を作ることができています。子供たちの主体的・対話的で深い学びを実現するためにも、学校応援団の方の力を貸していただきたいと思っております。今後も、子供たちの伸びや高まりを目指すとともに、本校の「共育・協働」をさらに一層進めていきます。

# 篠崎第五小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第五小学校長 山田 勇一郎  
コーディネーター 山崎 進

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	21人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書室整理	月1回	20人
読み聞かせ	学期2回程度	10人
農園整備	月1回程度	7人
環境美化（ゴミ拾い）	不定期	2人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・ 図書整備

今年度は区の施策で1年間司書が配置され、毎週火曜日、司書の業務に合わせて、10人前後の図書ボランティアが来校した。司書と連携し、蔵書の管理や本棚の整理、ページが破れてしまった本の修理など、積極的に活動し支援して下さった。

また、コロナ禍で見合わせていた読み聞かせも、12月から再開され、魅力的な本を子供たちに紹介して下さった。感染症予防のため、読み聞かせボランティアがMicrosoft Teamsを活用して、図書室から各教室の児童へ向けて絵本の読み聞かせを行った。低学年向けと高学年向けに分けて発達段階に応じた絵本を選定し、それぞれの読書タイムに読み聞かせた。事前に教員のアドバイスをもとに、絵本の見せ方や読み方の練習を行い、当日も見やすく聞きやすい効果的な読み聞かせが実現した。子供たちは、各教室のテレビ画面に集中して本の世界を楽しむことができた。これらの活動により、児童の本に対する興味もさらに湧いてきている。

- ・ 困難に負けない農園活動

新型コロナウイルス感染症対策による活動自粛や真夏の猛暑等、学校農園での計画・作業にも影響があったが、農園コーディネーターと農園ボランティア、用務主事の尽力により、田んぼの代かきや田植え、水やり、防虫ネットの設置、小松菜やヘチマ等、各学年の作物の育成を行えたことが成果である。田んぼの稲刈りや脱穀は5年生の児童も関わることができ、収穫の喜びを「御神楽」という舞で、体育発表会の場で表現することができた。

### <課 題>

- ・ ボランティアの人集め

昨年度から引き続き、感染症対策のため来校する人数や機会が制限され、ボランティア全体の人員を確保することが難しかった。特に、農園ボランティアが増えなかった。新たな、人員を集めていくことが課題である。

## 5 コーディネーターより

図書ボランティア活動では、学校の図書担当教員や今年度配置の司書と打ち合わせを進め、学校図書館の蔵書の管理や本棚の整理、本の修理等ができたことがよかった。今後も児童が本と一緒に時間が増えることを望みつつ、図書ボランティアの発展を図っていきたい。

農園活動では、ボランティアが集まらず、作業に時間がかかることが多かった。児童が怪我をしないよう、また目的の学習成果が得られるように、準備や作業を行ってきた。教職員ともできる限り連携をとるようにしてきた。次年度は教職員と連携し年度当初に農園計画を立て、ボランティア同士で周知し、早めに準備していきたい。

## 6 学校長より

今年度もコロナ禍で制限の多い中、学校応援団の皆様による、学校教育の充実を図ることができた。今後も、学校と学校応援団の方と連携をとっていきながら、充実した教育活動を展開していく。

# 南篠崎小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南篠崎小学校長 豊澤 みどり  
 コーディネーター 神子 雅史

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	12人
	学生ボランティア	人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
畑の整備と運営補助	不定期	20人
図書室本の整理・装飾等	週1回（基本毎週金曜日）	3人
読み聞かせ	今年度は自粛中	0人
登下校見守り	週5回	402人

### 農園ボランティア



2年生が生活科の小麦の栽培活動の一環として、脱穀機を利用しての小麦の脱穀体験と「とうみ」を使い、麦の穂先から殻を取り除く様子や、小麦の実を石臼で小麦を粉にする様子の見学を行いました。

### 図書ボランティア



図書ボランティアの方々と学校司書が連携し、図書室の装飾や書庫の整理等行いました。図書が整理されたことで、調べ学習などの時に活用しやすくなりました。

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 教育活動計画のもと、農園ボランティアさんの専門的な知識や技能を活用させていただき、特に生活科では、栽培活動を通して、ものづくりのよさや大変さ、昔の人々の知恵や努力を体感することができ、栽培への意欲と関心が高まった。
- 農園ボランティアさんによる農園の運営・管理を計画的に進めていただき、必要に応じた学習活動を展開することができた。また、教員と連携をとり、具体的な学習活動を教員からボランティアの方々へ伝えることができ、より質の高い学習活動を行うことができた。
- 図書室の整備について急務を要していたが、学校図書館司書と連携し、書庫の整理や廃棄本の選定など効率的に進めることができた。それにより、調べ学習等必要に応じた学校図書館の機能の充実につながった。

### <課 題>

- 新型コロナウイルス感染症対策のため、学校応援団会議を開くことができなかった。活動内容の確認や予算の配分など、年間の計画を確認し、各ボランティアに周知する必要がある。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため例年行っていた学校応援団の協力による活動ができないものが多かった。今後も活動内容の制限が考えられるが、できる限り活動の実現を目指し、工夫した活動内容を学校が主体となって考え、ボランティアと連携し協力して取り組む必要がある。
- お話会など、新型コロナウイルス感染予防のため昨年度から実施できておらず、お話会のボランティアさんの引継ぎや、新たなメンバーの確保等の不安がある。

## 5 コーディネーターより

- 昨年度に引き続き、例年行っている活動が中止になることが多く、学校応援団の活動ができないものも多かった。次年度は、感染予防対策を講じながら、各ボランティアの代表の方と連携し、子供たちが今年できなかったことを実施できるよう工夫し、維持継続できるものを考え、学校に協力していく。

## 6 学校長より

- 今年度も、新型コロナウイルス感染症のため、保護者の方が校舎内に入る機会を極力控えてきました。また、密になることのないようにボランティアの方にも協力していただく機会を相談し、必要最低限の人数で行ったり、活動自体を中止せざるえないものがあったりしました。そんな中、農園ボランティアの方の協力で例年に近い活動ができたことに感謝しております。  
地域の東部地域祭や江戸川区音楽祭なども中止となりましたが、来年度以降、子供たちの活躍の機会があればご協力いただきたいと思います。

# 鎌田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鎌田小学校長                      鈴木 孝一  
コーディネーター                鷲尾 斎

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	36人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
朝の交通見守り	週5回	各日9人
花壇	年2回	6人
算数	不定期	5人
金管	不定期	3人
読み聞かせ	年7回	15人
図書	不定期	7人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

「一緒に手を携えて」「できるときにできることを」のスローガンのもと、地域・保護者の皆様にご支援、ご協力をいただきました。今年度は、昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、なかなか活動ができない状況でしたが、感染者が減少する中で、活動を少しずつ再開することができました。

読み聞かせボランティアは、7回。図書ボランティアは、図書館の職員の方から、図書の本の直し方を教えていただき、本の修繕を行っていただきました。花壇ボランティアは11月に一度行い、卒業式までに花壇の整備を行います。算数ボランティアは、机間巡視をし、個別に助言を行っていただきました。金管ボランティアは、朝練に来ていただき、個別に指導・助言していただきました。また、保護者の方々には、登校時の安全指導を行っていただきました。地域の方々には、学校経営への助言ご協力をしていただきました。

今年度も例年通りにはいきませんでした。さまざまな教育活動を有意義に行うことができました。

### <課 題>

今後もコロナ禍の中、活動が制限されることがあるかもしれませんが、より良い活動ができるように、担当者と連絡を密にしていくことが大切だと感じています。今後も、学校応援団の活動がさらに発展していくように、企画・立案していきます。

## 5 コーディネーターより

「一緒に手を携えて」のもと、保護者や地域の方々の協力により、ボランティア活動がスムーズに行われました。子どもたちの健やかな成長のために、お手伝いできたことが良かったと思っています。今後も、子どもたちのために、地域の方々や保護者の方の力をお借りして、より良い学校応援団活動を進めていきたいと思っています。

## 6 学校長より

令和3年度もコロナ禍にあったものの保護者、地域の皆様との「かかわり」「共育・協働」を大事にし、心と心の絆を深めながら、鎌田小学校の学校応援団の充実を図ることができたと受け止めています。今後も◆図書ボランティア◆読み聞かせボランティア◆算数ボランティア◆金管ボランティア◆花壇ボランティアの5つの柱を中核にして、学校と家庭と地域とが一緒に手を携えて、鎌田小の教育活動や教育環境の充実を図って参りたいと思います。

次年度もさらに多くの方々との「かかわり」「共育・協働」のもと、これまで以上により良い学校応援団を築き上げていきたいと思っています。

# 小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

小岩小学校長 小松 広宣  
コーディネーター 城谷 敬之

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	323人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書整備	月2回(水曜日)	20名
読み聞かせ	月1回(水曜日)	20名
子ども見守り隊(登下校時)	年2回	100名
子ども見守り隊(校外学習)	年1回	10名
登校あいさつ隊	毎日	200名
教育活動の充実	不定期	5名
小岩小サポーター候補の育成	年1回	15名

## 学校応援団組織図



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を見守りながら、学校応援団の活動回数、活動内容を考えていく一年となりました。そのような中でも、「子ども見守り隊」では、保護者や町会の防犯部の皆様を中心に、たくさんの方に児童の安全を支えていただきました。そして、本校図書ボランティアによる図書室整備や本の修理等を月 2 回、読み聞かせも数回、感染予防をしながら行っていただきました。そのため、コロナ禍でも、児童が多くの本を手にとることができ、読書活動が充実したものとなりました。藍染体験では、コロナ禍で講師の方々から直接指導は受けられませんでした。指導を受けた教員によって、運動発表会で着用する衣装づくりをすることができました。同窓会の活動では、次代の小岩小のサポーターの育成に大きな力を発揮していただいています。

### <課 題>

地域の人材を更に発掘し、様々な側面から支援していただけるよう計画的に活動を進め、学生等のボランティアを増やしていきたいと考えています。

## 5 コーディネーターより

今年度は、新型コロナウイルスの感染状況により、時期や内容を学校と相談しながら、図書整備や読み聞かせ、見守り隊など、可能な範囲での活動に取り組みました。今後もこうした活動が継続・発展し、小岩小の特色ある活動として定着していくようにサポートしていく予定です。地域にあいさつの輪が広がるよう、保護者や地域、同窓会の組織と学校が一体となり、相互に理解と協調をもった温かい小岩小らしい学校応援団の活動を推進していきたいと思っています。

## 6 学校長より

小岩小学校では、令和 4 年度新校舎落成となる開校 140 周年を目指し、小岩小の伝統やよさを活かしながら、バージョンアップした小岩スタイルづくりを進めています。今年度も昨年度に引き続き、コロナ禍や仮設校舎により活動の縮小や制限等がありました。そのような中でも、保護者や地域の方々には多くの支援をいただきながら、教育活動を進めることができました。今後も、保護者、地域の皆様により信頼のある学校となるよう努力していきます。

# 東小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

東小岩小学校校長 牧岡 優美子  
コーディネーター 阿部 幸一

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	35 人
	学生ボランティア	0 人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学習支援ボランティア	不定期（今年度は自粛中）	人
図書ボランティア	月1回（今年度は自粛中）	人
図書選書ボランティア	月1回（今年度は自粛中）	人
読み聞かせボランティア	週1回（今年度は自粛中）	人
安全指導ボランティア	不定期	20人
農園活動ボランティア	不定期	15人
校外活動ボランティア	不定期（今年度は自粛中）	人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・「農園活動ボランティア」では、地域の農園を学校に貸していただいている。今年度は、感染症対策のため、児童の活動が限定されたが、収穫の体験を行うことができた。学校応援団の方々に準備や日々の管理等を丁寧に行っていただき、児童の活動を充実させることができた。
- ・「安全指導ボランティア」では、5回の土曜授業の際に、毎日の登校見守りに加え、ボランティアの保護者が参加しての旗振り当番を実施していただき、交通事故0を継続することができた。

### <課 題>

- ・年間学習活動計画と連動させ、保護者・地域の方々にお知らせすることによって、さらに多くの人材確保や依頼の準備を徹底していくことが必要である。
- ・感染症対策のため、活動を自粛していただいた応援団が複数あった。感染状況が落ち着いた後も新しい生活様式の下、直接児童と触れ合う場面が少なくなっていくことも視野に入れながら、活動内容の変更を考えていく必要がある。教育活動の充実のために改善していきたい。

## 5 コーディネーターより

PTAや東小会（PTAのOB会）、5町会が連携・協力して、児童の安全や健全育成に取り組み、21年度より学校応援団活動として統合しました。残念ながら今年度も活動を自粛している応援団がありますが、開校69年目を迎え、その「連携の伝統」を今年度も築くことができたと思います。保護者の協力により「子どもたちが安全に活動できた」とか、地域の方々の協力で「学校農園活動が今年も無事にできました」等を学校関係者や保護者より耳にして嬉しく思いました。今後も学校・保護者・地域が一体となって、さらに発展した活動を行ってまいります。

（コーディネーター 阿部 幸一）

## 6 学校長より

農園活動を行っている「ふき農園」は、平成13年に元PTA会長から学校に寄付していただいた農園で、奥様のお名前（婦喜さん）から「ふき農園」と名付けました。この学習には、地域の方が「学校応援団」として協力してくださっています。例年であれば、子どもたちと学校応援団の方々が一緒に種まきをするところです。今年度も新型コロナウイルス感染症のため活動は限られましたが、子どもたちは、学校応援団の方々のお力を借りて、トウモロコシやさつまいもの収穫を体験することができました。学校応援団の皆様が、日頃から草むしりや柵の補強などのお世話を続けてくださったお陰で、とてもありがたく感じています。

今後も「連携の伝統」を築ける組織を作り、学校応援団の皆様のお力添えをいただきながら、地域とともに地域に貢献できる子どもたちを育ててまいります。よろしくお願いたします。

（校長 牧岡 優美子）

# 下小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下小岩小学校長 有谷 敏行  
学校応援団代表 神谷 知幸  
コーディネーター 戸田 健 井上 幸男

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	45 人
	学生ボランティア	0 人

## 3 今年度の活動状況

※例年、以下のような取り組みを実施しておりますが、今年度は新型コロナウイルス拡大防止のため実施できませんでした。ただし3学期に図書ボランティアによる「お話の会」を予定しています。

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数(実人数)
読み聞かせ	月1回(第2水曜日及び学校公開時)	12人
図書整備	月1回(第2水曜日)	6人
	不定期	1人
登下校見守り	毎日	3人
学習活動補助	不定期	12人
ヤゴ救出・ヤゴトープ	年2回	15人
地域の名人に学ぶ	年4回	7人
早朝相撲	年3回(各回1週間ずつ)	1人
校内相撲大会	年1回	4人



おはなしの会



ヤゴ救出大作戦



九九に挑戦!

#### 4 今年度の成果と課題

「社会に開かれた教育課程」実現のため、地域の方に並々ならぬご協力をいただいています。

琴や太鼓などを指導していただいた際には、日本の伝統芸能に興味をもち、以来、詩吟教室に通っている児童もいます。

教職員だけでは体験できない取り組みを行うことができていましたが、今年度も昨年度に引き続き、感染症対策を最優先とし、学校応援団の皆様への依頼を控えてきました。しかし、11月からはコロナ禍も小康状態となり、卒業生のために図書ボランティアの皆様が「おはなしの会」をしてくださる予定です。

#### 5 コーディネーターより

2021年もコロナ禍により、学校応援団として十分な活動ができなかったことは大変残念でなりません。

今最も気がかりなのは、永い間続けてきたさまざまな活動が中断されたまま、忘れ去られてしまうのではないかということです。

新しい2022年が、ごくごく普通のことが当たり前のよう活動できる日々に戻ることを心から願っています。

#### 6 学校長より

コロナ禍の対応や制約が求められる中、いろいろな活動や取り組みを中止せざるを得なくなりましたが、コーディネーターをはじめボランティアの皆様からは、本校の教育活動や取り組みに、温かいご理解とお気持ちをいただくことができました。子どもたちを皆で育てていこうという思いや、子どもたちの喜ぶ姿が見られればよいというお気持ちが伝わってきました。心より感謝しております。ありがとうございました。

# 下小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下小岩第二小学校長 篠原 一  
コーディネーター 伊佐 康暢

## 2 ボランティア数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	75人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月1回(休止中)	20人
図書整備	不定期	10人
環境整備 ・花壇整備	不定期	10人
・登校時旗振り	毎日	10人
授業の補助 ・昔遊び ・花壇の作物栽培支援 ・家庭科学習支援	不定期	25人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 登下校時、安全面の見守りなどをしていただけることで子供たちが安心して活動することができた。
- 花壇の手入れや自動散水機の設置、校内施設の整備など、教職員だけでは手の届かないところに支援をいただき、より好ましい教育環境をつくることができた。
- 図書室整備や本の紹介など、読書活動の充実に支援をいただき、読書に親しむ子が増えた。
- 協力と同時に学校の取り組みに率直な意見をいただけることで学校の現状や課題を広い視野で考察することができた。

### <課 題>

- 一昨年度より、学習支援ボランティアとして算数等の授業中につまずいている児童の見守りに入っていただいた。また、補習の時間には練習プリントのまるつけ等の協力をいただくことで、教員は個別指導にまわることができた。こうした取り組みが、感染症拡大防止のため、本年度も実施できなかった。本年度は学校応援団にかわり、学生ボランティア1名にこうした役割をお願いしたが一昨年度、つまずきがちな児童が、楽しんで自信をもって学習に取り組めた場を共有できた学校応援団メンバーから、早く学習支援ボランティアを再開して欲しいとの要望をたくさんいただいている。学校応援団学習支援ボランティアメンバーがご高齢の方が多いことから、感染症対策がしっかりとでき次第の再開を計画しているが、再開の見通しが今のところたっていない。

## 5 コーディネーターより

今年は感染症の対策のため、今までに積み上げてきた活動のうちのいくつかは実施することができませんでした。学校応援団メンバーからも、早く学校のお手伝いをしたい、子供たちに関わりたいたいという声があがっています。この状況が落ち着いて、また、様々な場面で学校に協力していくことのできる日が早くもどってきてほしいものです。

今後も、下小岩第二小学校の恵まれた地域環境も生かしながら、子供たちのより良い成長を願って、学校やPTA、地域との連携を深めてまいりたいと思います。ご理解とご協力をよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

いつも子供たちの安全とよりよい学びのために、学校応援団の皆様のご協力をいただきありがとうございます。教職員の少ない本校では、皆様の協力なしでは実施できません。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、様々な活動や行事が中止いたしました。それでも子供たちの安全見守りや学習活動では、陰になり日向になり支えていただきました。来年度も子供たちのために教育活動の充実を図っていきたいと思います。どうか宜しく願いいたします。

# 上小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

上小岩小学校長            高島 一広  
 コーディネーター        石川 きよ子

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	110人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	毎日	97
菊サポーター	不定期（春～秋は、ほぼ毎日）	3
図書ボランティア	不定期（週1回程度）	10
学習支援（手作り味噌）	不定期（3学期）            中止	0
学習支援（金管バンド）	不定期（年間通して）        中止	0



図書ボランティア（令和2年度様子）



手作り味噌（令和3年度中止）



菊サポーター



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

○地域の見守り隊の皆様には、保護者の見守り隊とともに交通安全や生活安全の支援をいただき、児童は事故及び事件に遭わずに過ごせました。学校改築が進む中、登下校門が変更となり、通学路の変更が生じましたが、混乱なく、安心して生活することができました。

○菊サポーターの皆様には、学校の伝統である菊栽培の作業や学習の支援（一人一鉢）及び菊観賞会に向けての様々な準備の支援等をいただきました。菊づくりにおいても学校改築のために栽培活動の途中で施設が移設され、従来の勝手とは違う環境となりましたが、今までの経験や反省を生かしていただき、児童が菊の花を見事に咲かせ、立派な観賞会を開催することができました。児童に生命の尊さ、学校や郷土を愛する心情や態度を育むことができました。

○図書ボランティアの皆様には、学校図書館（図書室）の環境整備や書架整理（毎週）を中心に活動していただきました。今年度配置された学校司書と連携・協力し、書架整理には大変な尽力をいただきました。

○手作り味噌のボランティアの皆様には、学校の味噌作りの歴史についての話や、味噌作りの前日の作業や当日の作業の準備、当日の味噌作りの作業について指導や支援をいただく予定でしたが、コロナ禍での活動は昨年度に引き続き、中止させていただきました。

○金管バンドボランティアの皆様には、楽器の扱い方や音の出し方などの楽器の楽しさや基本の奏法、演奏の合わせ方など、丁寧に指導していただく予定でした。毎年、一人一人が運動会や上小岩コンサート、地域まつりでの演奏やパレードに自信をもって取り組むことができ、大きな成果を上げておりましたが、コロナ禍での活動は昨年度に引き続き、中止させていただきました。

### <課 題>

○今年度もコロナ禍における活動制限が多かったです。新しい生活様式での活動を模索します。

○保護者への呼びかけを行い、多くの参加者・支援者を募り、学校応援団の充実を図ります。

## 5 コーディネーターより

「学校応援団」の代表として、上小岩小学校の子供たちの健やかな成長と安全で安心できる生活を願い、学校の教育活動を支援しております。保護者、地域の皆様からは多くご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。今後も一層充実した応援体制をとってまいります。

## 6 校長より

本年度も、地域の皆様、PTAの皆様は学校応援団としてご支援ご協力をいただき、充実した教育活動が行われました。多くの方が上小岩小学校の児童の心身の健やかな成長を願い、コロナ禍においても学校を支援していただいたことに深く感謝申し上げます。

地域の皆様、見守り隊の皆様の温かい眼差しや言葉かけのおかげで、安全で安心な登下校を行うことができました。3・4年生の菊づくりでは、菊の鉢上げから菊観賞会まで支援していただきました。目をかけ手をかけ心をかけてくださる菊サポーターの心の温かさが児童に伝わり、今年度も命を大切に育てることができました。図書ボランティアの皆様には、図書室の環境整備（毎週1回）を行っていただきました。児童が図書の時間を本当に楽しみにできました。

皆様の学校への気持ちを受けとめ、一層連携を深め、皆様と共に歩む学校をつくってまいります。

# 上小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

上小岩第二小学校長      落合 由美子  
コーディネーター      新澤 和子

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	55人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書館整備	本の修理・整理整頓・室内装飾(毎週水曜日)7月より活動	6名
読み聞かせ	朝の読み聞かせ(6月より活動)	18名
地域安全パトロール(朝)	今年度は中止	22名
地域安全パトロール(夕)	今年度は中止	18名
空き缶つぶし	今年度は中止	61名
交通安全教室	交通安全教室は行ったが、応援はなし	15名



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- 今年度も新型コロナウイルス感染症のために活動が制限されました。
- 図書ボランティアについては、年度当初から新型コロナウイルス感染症対策を行いながら可能な範囲で実施してきました。緊急事態宣言発令中の時期を除き、6月より毎週水曜日を活動日とし、図書館の本の整理や修理、室内の飾りつけ等を行ってきました。また、本の出し入れをしやすくしたり、選びやすくしたりするために、本の入れ替え作業を行いました。
- 読み聞かせボランティアについては、児童との距離が近くなるため活動を控えてきましたが、6月から通常通り月に1回（朝8時30分～8時40分）行うことができました。しばらく活動が止まっていたため、再開が始まって子どもたちは待ちわびていたように毎回楽しみにしていました。
- 例年、朝の旗振り、地域安全パトロール活動は、登校時（学期初めの1週間）や長期休業中一定期間、夕方の時間帯に行ってきましたが、今年も年度初めに体制作りができなかったため、活動はPTA役員さんを中心にできる範囲での活動となりました。
- その他、回収した空き缶つぶしの活動や交通安全教室のお手伝いに関しても体制作りができなかったり、来校者を制限したりしたことで、活動は行いませんでした。

### < 課 題 >

- 今後も新型コロナウイルス感染症の状況を判断しながらの対応となります。感染対策をしっかりと行った上で、可能な範囲での実施（手洗い、手指消毒、3密回避等）をしていきます。  
PTAが中心になって活動を行っていますが、図書ボランティアや読み聞かせボランティア等の活動に対しできる範囲で、できる事を計画し、PTAの負担軽減を視野に入れながら、協力体制を築いていくことが課題です。

## 5 コーディネーターより

日頃から先生方、保護者の皆様、地域の皆様のご協力により子供たちがより良い学校生活が送れるようたくさんのご支援をいただいていることに、心より御礼申し上げます。

今年度も新型コロナウイルス感染症のために、思うような活動ができませんでした。人との接触を控えざるを得なかったことが大きな理由でありましたが、少しでも活動を継続したいとの思いがあり、図書ボランティアの活動ができたことは救いでした。

感染症が1日も早く終息することを願うとともに、子供たちが豊かな学校生活が送れるよう、一同力を合わせて頑張らせて参ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されましたが、それでも、子どもたちのため、学校のために活動していただいたボランティアの方々に厚くお礼申し上げます。

本校の学校応援団は、学校行事全般についてもきめ細やかに子供たちの安心安全と健やかな成長のために活動して頂いています。

感染症の終息を願いつつ、今後も子供たちの笑顔あふれる学校づくりのためにご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。

# 西小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西小岩小学校長 大野 知子  
コーディネーター 植草 誠

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	60人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
花壇ボランティア	花壇の花の植え替え・整備（不定期）	15名程度
図書ボランティア	学校図書館の環境整備（不定期）	15名程度
登校安全ボランティア	登校時の見守り（毎日）	30名程度



花壇ボランティアの活動の様子

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 通常の個人登校時、各学期始めの登校班登校週間ともに、保護者による登校の付き添いのお陰で、事故なく登校ができた。
- 花壇ボランティアのお陰で、学校を訪問される方をきれいな花でお迎えすることができた。

### <課 題>

- 新型コロナウイルス感染防止対策のため、十分な活動を図ることができなかった。
- ボランティア活動をしてくださる方々への感謝の気持ちをもたせたり、伝えさせたりする中で、子供たちのボランティア精神を高めたりする一助としていきたい。
- 朝の登校時の見守りのほか、下校時の見守りについても、学校監査や学校評議員会で話題にあがっている。PTA や近隣町会等とも連携し、子供たちの安全につながる活動を進めていく必要がある。
- これまで学校応援団の活動にご協力いただいていた方が、子供の卒業や転居、その他の事情等で継続が難しくなっている現状がある。多くの方々にボランティア活動に興味をもっていただけるような広報活動を行ったり、参加しやすい環境を整えたりしていく必要がある。

## 5 コーディネーターより

コロナ禍の中、「なんとか子供たちのためにできることはないのだろうか。」と、今年度も可能な範囲で登校の見守りや学校花壇の整備などを行いました。

登校時は、多くの保護者の方々が子供たちの登校に連れ添い、安全を見守ってくださいました。子供たちの登校風景に触れ、登校ボランティアの必要性を改めて感じたことでしょう。

また、正門の花壇は、花壇ボランティアの皆様のお陰で季節に合った綺麗な花が咲いています。

これからも学校応援団の活動の輪が広がり、学校・PTA・地域がチームとなって、子供たちのよりよい成長のためにみんなで力を合わせていきましょう。

## 6 学校長より

本校では、学校応援団が設立する前より、保護者や地域の皆様のご協力をいただき、学校ボランティアの支援体制が整っていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な中、積極的な活動をしていただくことが難しいのも現状です。そんな中でも、できる範囲で登校の見守りや学校花壇の整備などをしていただきました。そのおかげで、子供たちも事故なく安心して登校することができ、きれいな花が学校を訪れる方を迎えてくれました。ありがとうございました。次年度は、学校の新しい生活様式の下、学校応援団の方々と協力をして、充実した学校教育活動を進めていきたいと思っております。

# 上一色南小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

上一色南小学校長 平田 鐘明  
コーディネーター 吉田 貴之

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	84人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月2回(火曜日)	31人
図書館整備	不定期	31人
登校見守り	毎日	4人×日数

図書ボランティア(読み聞かせ)



旗振りボランティア(登校見守り)



図書ボランティア(図書館整備)



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

○4月から10月までは、新型コロナウイルス感染予防のため、読み聞かせ活動もビデオ配信となっていたが、11月になり対面での読み聞かせが実現できた。また、子供たちが楽しく図書に親しめるようにと、図書室の掲示物や図書の整備などの活動が充実し、子供たちの読書に親しむ機会が増えている。

○登校見守りでは、地域の協力を得て進められている。無理のない範囲で、出来るときに、できるだけ呼びかけにより、子供たちの安全を見守っていただいている。

### <課 題>

○読み聞かせにおいては、ビデオ配信により実施してきたが、コロナ対策として対面での読み聞かせも含め、実施の仕方について工夫をしていかなければならない。

○ボランティアの方々の活動時間と教員の勤務時間とが合わないことも多く、教員の勤務時間外での打ち合わせもある。また、学校が週休日であるときの活動場所の確保などに困難さがある。

## 5 コーディネーターより

興宮町、本一色、上一色。子供たちが通うこの地域は、人情味に溢れ、古き伝統が根付いた地域です。そのような暖かい町で本校は、未来ある子供たちの育成を主とし、運動会・盆踊り、サークル活動など地域活動の拠点として、地域コミュニティの場としての役割も果たしてきました。親・子・孫が同じ小学校を卒業し、学校を中心に話題を共有する。これからもこの関係は変わらないものだと思っています。子供たちの安全・安心、そして健やかな成長のため、学校と力を合わせ、多くの方の御協力をいただきながら活動しておりますが、更なる支援の輪を広げるべく、皆様のお力をお貸しいただければ幸いです。

PTA 会長 吉田 貴之

## 6 学校長より

上一色南小学校は、保護者や地域の方々から「読み聞かせ」「登校見守り」「昔遊び」「運動会」「しめ縄作り」などの指導に御協力していただき、教育活動を行っています。

日々の教育活動が充実したものになっているのも、学校・家庭・地域の連携があつてこそと、感謝しています。これらのことは、今後も子供の安全を守り、心と体を育てていく極めて大切なことであると考えます。

今後も三者の連携のもと、学校応援団としての組織の充実と、幅広い協力体制を確立していきたいと思っています。そして「たくましく、やさしい」上南の子を育てていきます。

上一色南小学校 校長 平田 鐘明

# 南小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南小岩小学校長 森 進一  
コーディネーター 島田 雅人

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	70人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	月1回 第2金曜日	20
図書ボランティア	図書整備 不定期	20
旗振り 登校見守り	毎日	10
OYAJI の会	行事の会場設営・運営補助 不定期	20



読み聞かせボランティアによる読み聞かせ

## 4 今年度の成果と課題

### ＜成 果＞

読み聞かせボランティアは、保護者・地域の方々で構成されており、毎月1回各学級での読み聞かせを実施している。ボランティアの参加が多く、子どもたちは年間を通して様々な方から読み聞かせをしていただいている。子どもたちは、毎月の読み聞かせをとっても楽しみにしており、読んでいただいた本を更に自分で読み返したり、同じ作者の作品を探して読み進めたりする姿が見られる。読み聞かせは、子どもたちが地域の方と共に学ぶ大切な機会であり、地域に愛着をもつ子どもの育成につながっている。

また、図書ボランティアは、おすすめの本の選書、本の修理、図書館の環境整備などを実施している。図書担当教員との打ち合わせを行い、ボランティアの専門知識を活かして活動している。そのため、図書ボランティアの活動は、年々充実している。

登校見守りボランティアは、人数が増加している。学区域の多くの場所で子どもたちの安全を見守っていただいている。どの活動も組織的に行われており、安定した活動が進められている。心強い応援団によって、教職員も校務負担の軽減を感じている。

### ＜課 題＞

令和3年度より本校は校舎改築である。子どもたちへの支援を増やすためにも、教員を志す学生による学習支援を行うために人材を集めたい。そのためには、魅力ある応援団の活動を、ホームページ等を活用して広報していくことが必要である。また、人員募集を行ったり、人材を発掘したりして応援団組織の層を厚くし、活動を活性化したい。

## 5 コーディネーターより

南小岩小学校の子どもたちを伸び伸びと成長させたいという願いで始まった学校応援団。読み聞かせボランティア、図書ボランティア、OYAJIの会等の組織を通じて南小岩小学校の教育活動を支え、保護者や地域の皆様と協力し合い、活動を広めたいと常に考えてきました。様々な情報交換をして、更に支援を図りたいと考えています。登下校の見守りや、すくすくスクールとの連携も引き続き必要です。三自治会（一南、司、扇子田）とは、様々な地域行事に協力させていただき、参加することで親交を深めてきました。これらを基盤としてさらに、南小岩小学校の学校応援団が活発に活動していけたらと考えています。

## 6 学校長より

「安心・安全・人権」を合言葉に、地域や保護者の期待に応え「明日の登校が待ち遠しい学校」に向けて、日々の教育活動を行っています。今年度は、コロナ禍ではありましたが、毎朝の登校の見守り活動、読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、図書ボランティアによる図書館環境整備など、保護者・地域の皆様には、感染症予防に取り組みながらご協力いただき感謝しております。

今後も、「地域とともに創る学校」として、子どもたちが「南小岩小学校に通って良かった」と実感できるように学校環境を整備していくとともに、学力向上・体力向上・豊かな心の育成を図ってまいります。地域や保護者に信頼される学校となるよう全力を尽くしてまいりますので、今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

# 南小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

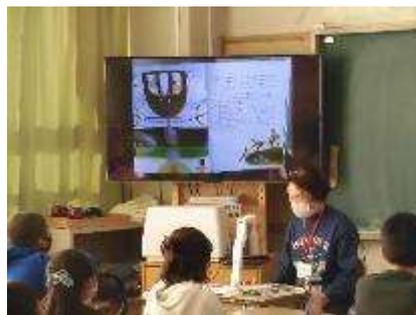
南小岩第二小学校長 土上 智子  
コーディネーター 苅部 隆之

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	56人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	毎週木曜日	21人
図書室整備ボランティア	毎月第一水曜日	15人
父子会(ちゃんこ会)	不定期	15人
交通安全見守り	週5回	5人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・交通安全見守り活動は、PTA交通当番と連動し、児童の登校の安全安心と、挨拶の促進の啓発につながる活動となっている。
- ・子供たちに合わせて選んでくださった本の読み聞かせは子供たちが大変楽しみにしており、子供たちが読書に親しむ大きなきっかけとなっている。また、毎週来ていただくことで、子供たちがボランティアの方の存在を身近に感じ、感謝の気持ちをもつことにもつながっている。
- ・図書室整備は、毎月定期的に行っていただくことで、図書室の整備が確実に進んでいる。本年度配置の学校司書と区の図書館アドバイザーからの指導のもとラベリングなどを行っていただき、アドバイザーからも「毎月同じ来てくださるので作業効率があがり、とてもよいシステムだ」との言葉をいただいている。
- ・父子会は、昨年度に続いてイベントが行えない状況が続いているが、本年度2月のイベント開催に向けて打ち合わせを重ねてくださっている。

### <課 題>

- ・ボランティアに関わっていただく方を増やすため、ホームページ等を通じて活動状況を広く伝えていく必要がある。

## 5 コーディネーターより

今年度は、コロナ禍が落ち着いてきてはいるものの、令和元年度までどおりにはいかず、活動の一部を休止し、交通当番と読み聞かせ活動のみの活動に加え、図書室整備ボランティアを行うことができました。また、昨年度同様 PTA 本部との連携のもと、密にならないよう工夫した父子会を実施予定です。児童が学ぶ中で見せる真剣な顔つきや、元気のいい挨拶をする姿が多く見られ、学校応援団としても充実感と達成感を味わうことができました。読み聞かせや図書室整備については、学校図書館司書やアドバイザーにも指導をいただきながら、さらにスキルアップを図っていき、児童の読書活動の推進に貢献していきたいと考えています。

今後は、読み聞かせの他、一昨年度まで行っていた、学習支援・学級園等の環境整備等の活動が、いつでも再開できるよう準備をすすめていく予定です。また、学校行事や地域行事などで保護者等との親睦をはかり、学校応援団の活動に気軽に参加できるようにしていきたいと思っております。これからもどうぞよろしく願い申し上げます。

## 6 学校長より

学校応援団の皆様には、日頃より本校の教育活動にご協力をいただき感謝しております。コーディネーターの荻部さんはじめ、交通当番の皆様、読み聞かせサークル「ずんずん」の皆様には、今年度も大変お世話になりました。図書室整備ボランティアが可能になったことによる、図書室の環境改善は、児童の読書意欲を高めることのできる大きな成果でした。

コロナ禍でもできる有意義な活動をさらに工夫し、児童の健やかな成長へとつながる、学校応援団活動となればと考えています。

# 中小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

中小岩小学校長 倉田 克彦

コーディネーター 内田 泰雄

## 2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	163人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
子ども見守り隊	週5回	30人
図書整備・装飾	月1～2回	19人
学習支援	不定期	80人
環境整備	年2回	14人
トトロの会 (子供のための企画)	不定期 (今年度はなし)	10人
読み聞かせ	今年度はなし	10人

図書ボランティアの皆様



子ども見守り隊



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 「子ども見守り隊」として、毎日の登下校時には、多くの方々に交通安全などの見守りに協力していただいた。また、毎日のあいさつや声掛けをしてふれあうことは、児童が地域の方々と関わるとてもいい機会となっている。児童の様子や情報を見守り隊の方々から得ることもあり、連携して育てていくことができ、大切なことだと感じている。
- 読み聞かせはできなかったが図書室の環境整備に力をいれいただき、さらによい図書室になった。そのおかげで児童の読書への意欲・関心を高めることができた。図書ボランティアの方を中心に、本の整備・修繕、季節に合わせた図書館の装飾や特設コーナーに設置等をしていただいております、児童が心地よい図書館となっている。

### <課 題>

- 図書ボランティア、花壇整備等、年々、人員の確保が難しくなっている。卒業生の保護者の中に申し出てくださる方もいて助かっているが、次年度も、様々な機会を通じて呼びかけ、新しい学校応援団の人員を増やしていく必要がある。
- 子ども見守り隊の方々の高齢化が進んでいる。PTA に協力いただき見守りを続けているが、次の世代への引継ぎが困難であることが課題となっている。
- 図書ボランティアの負担にならない程度で、学校と連携しながら、活動日を増やしたり内容を充実させたりしていきたい。コロナ禍で通常行っている児童への読み聞かせができていないがそれ以外でも児童が興味関心をもてるような取り組みを学校として考えていきたい。

## 5 コーディネーターより

子ども見守り隊の活動として、毎朝、子供たちが元気にあいさつをして登校していく姿や日々の生活の中で成長していく姿を見守ることができうれしく感じています。今年度はコロナ禍ということもあり、いつも行っている地域学習の支援、職場体験、図書ボランティア、環境整備、子供のための企画「トトロの会」の活動等が思うようにできず残念でした。しかし限られた中ではありますが、子供のために学校と連携を取り、現状できる限りの応援活動をするにはできたと思います。

今後も子供たちが心豊かに成長してくれることを願って、地域や保護者の方々と連携・協力しながら、学校を応援する様々な活動を続けて参ります。

## 6 学校長より

中小岩小学校は、地域に根ざした開かれた学校として、「地域で学ぶ（地域は教室）」「地域を学ぶ（地域は教材）」「地域の人から学ぶ（地域は先生）」学習を推進しております。

コロナ禍の中、現在は活動が制限されていますが、その中でも登校の見守り・花壇整備・図書室整備など、積極的にご協力をいただいております。学校に関わる人や地域のよさを、児童は実感することができていると考えています。

学校応援団の方々には、感染症が心配される困難な状況の中ですが、いつも笑顔でご協力をいただきました。ご尽力に心より感謝申し上げます。今後もより良い教育活動に励んで参ります。皆様の応援をよろしくお願いいたします。

# 北小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

北小岩小学校長 藤島 寿晴  
コーディネーター 國居 寿美恵

## 2 ボランティア数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	13人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館の装飾・整理	不定期	8人
花壇の整備	不定期	7人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

新型コロナウイルス感染症対策があり、活動内容は限られましたが今年度も活動を継続することができました。数多く学校を訪問して活動することはできませんでしたが、限られた時間を利用しての花壇作り、学校図書館整備をボランティアの皆さんと実施することができました。

### <課 題>

依然としてボランティアの方の人数を確保することが難しい状況です。また、新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながらの活動方法・内容等を今一度考えることが必要な時期に来ています。コーディネーターの後継者探しも、併せて課題として考えていかないとはいけません。

## 5 コーディネーターより

学校図書館と花壇の整備、どちらも地道に活動しています。花壇は定期的に飾り付けを変え、子供たちはもちろん、学校を訪れる方に楽しんでもらえるよう、工夫しています。今後も活動内容の周知を徹底し、ボランティアの皆さんが加入しやすい雰囲気作りを心がけ、活動の継続を進めていきたいと考えております。



## 6 学校長より

今年度も昨年度に引き続き、コロナ禍の中、学校応援団の皆様の活動そのものが難しい状況が続きました。そのような中でも、様々な場面で本校の教育活動を支え、常に子供たちのために活動して下さる学校応援団の皆様は学校にとって本当に貴重な存在です。

「挨拶・笑顔・感謝」をモットーに毎朝、校門に立つ私と元気よく挨拶を交わし、季節を感じる花壇の横を通って昇降口に向かう子供たち。いつも整えられ季節を感じさせる草花に溢れている花壇を見るたびに嬉しく思い、学校応援団の皆様に感謝の気持ちでいっぱいになります。学校図書館は常に本の修正や整理がされています。また、季節ごとの掲示物の工夫は、図書室に足を運ぶ子供たちを増やし、子供たちの本に親しむ気持ちを後押ししてくれています。

今後も学校応援団の皆様と協力して、子供たちの笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思っております。